

第675号土坑（第267図）

N-30グリッドで検出された。

規模は、長軸227cm、短軸127cm、深さが48cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-87°-Wであった。

底面には炭化物と灰が堆積しており、覆土には焼土塊を多く含んでいた。また、壁面の立ち上がりが赤く被熱していたことから、土師器を焼成した土坑である可能性が考えられる。

遺物は、土師器破片が少量出土したのみである。

第676号土坑 欠番

第677号土坑（第267図）

K・L-29グリッドにかけて検出され、第680号溝跡と重複していた。

規模は、長軸139cm、短軸108cm、深さが38cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

出土遺物は、第280図6に図示した。須恵器の壺で、底部に回転糸切りを残している。

第678号土坑（第267図）

N-29グリッドで検出され、第703号溝跡と重複していた。土師器焼成土坑の可能性がある第675号土坑と隣接していた。

規模は、長軸178cm、短軸101cm、深さが41cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-74°-Wであった。

本土坑も第675号土坑同様に、底面に炭化物が薄く堆積しており、覆土中には焼土塊を多量に含んでいた。壁面は立ち上がりが赤く焼け、底面は被熱していないかった。覆土中に骨片が検出されていないことから、墓である可能性は低く、本土坑も土師器を焼成した土坑である可能性が高いと考えられる。

遺物は、底部に糸切りを残す須恵器壺の破片が出土しているが、図示することはできなかった。

第679号土坑（第268図）

O-29・30グリッドにかけて検出された。第19号方形周溝墓と重複しており、本土坑が新しかった。

規模は、長軸154cm、短軸97cm、深さが9cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-9°-Eであった。

遺物は、北武藏型の土師器壺片が出土している。

第680号土坑（第268図）

M-29グリッドで検出された。規模は、長軸237cm、短軸98cm、深さが10cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-89°-Eであった。

長辺に沿って小ピットが9本掘り込まれていた。

遺物は、土師器の壺片などが少量出土している。

第681号土坑 欠番

第682号土坑（第268図）

M-30グリッドで検出された。第12号方形周溝墓と重複しており、本遺構の方が新しかった。

規模は、長軸82cm、短軸65cm、深さが8cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-52°-Eであった。

遺物は、土師器の甕片などが少量出土している。

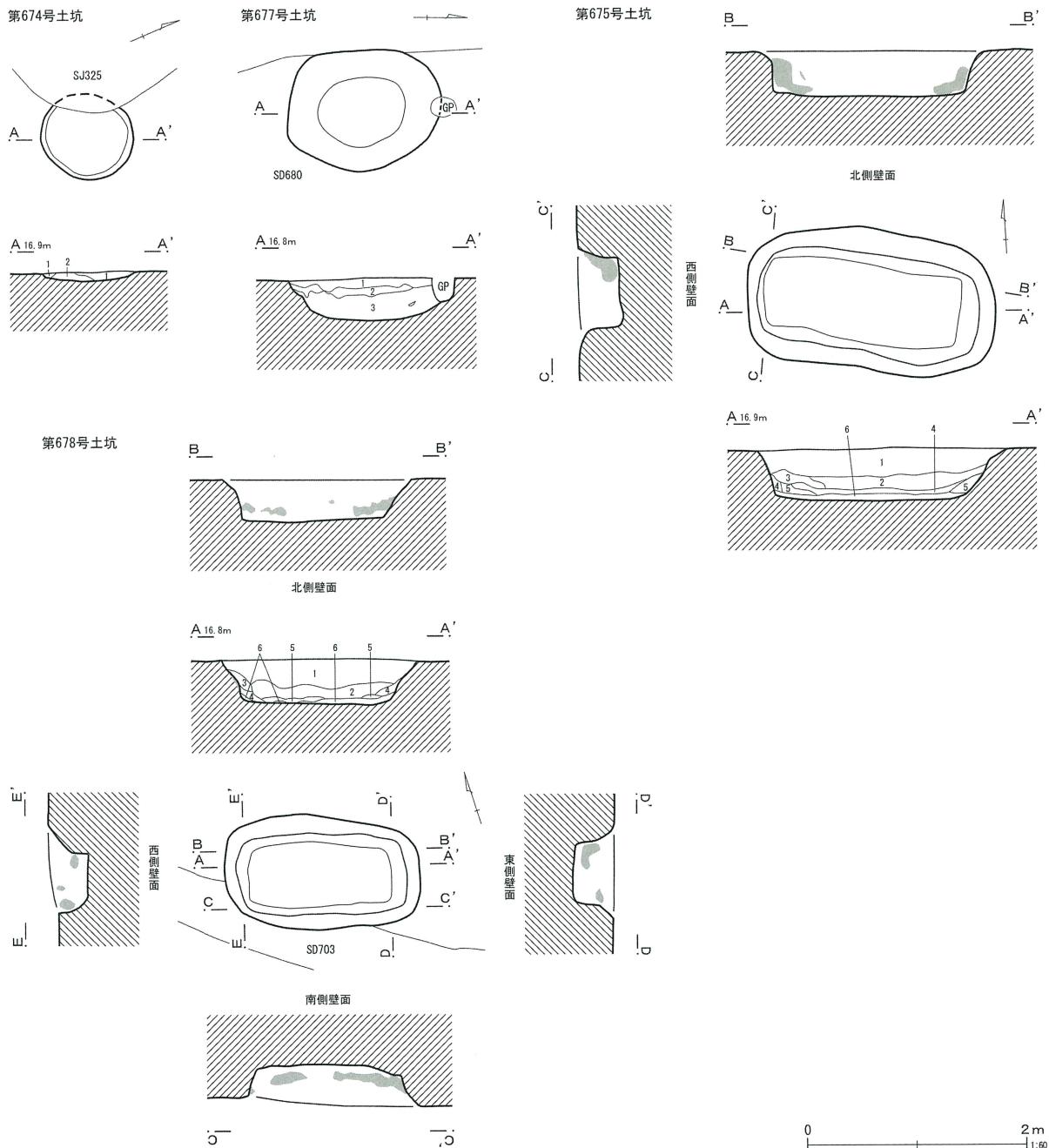
第683号土坑（第268図）

N-30グリッドで検出された。第12号方形周溝墓と重複しており、本遺構の方が新しかった。

規模は、長軸182cm、短軸115cm、深さが37cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-49°-Wであった。

底面には炭化物が薄く堆積しており、覆土には焼土塊を多量に含んでいた。土師器焼成土坑と考えられる第675・678号土坑と形態・長軸方向もほぼ一致することから、同じ性格の遺構と考えられる。

遺物は、第280図7に図示した土師器壺と、覆土3層中からは馬歯が出土している。



第674号土坑

1	黒褐色土	10YR3/2	ローム粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 少量 しまり・粘性あり
2	灰黄褐色土	10YR4/2	ローム粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 多量 しまり・粘性あり

第675号土坑

1	灰黄褐色土	10YR4/2	ローム粒子 ($\phi 1\sim3mm$) ・炭化物粒子 ($\phi 1\sim5mm$) 多量 焼土塊微量 しまり・粘性あり
2	褐灰色土	10YR4/1	ローム粒子 ($\phi 1\sim3mm$) 少量 炭化物ブロック ($\phi 1\sim10mm$) 多量 焼土塊少量 しまり・粘性あり
3	褐灰色土	10YR4/1	ローム粒子 ($\phi 1\sim3mm$) 少量 炭化物ブロック ($\phi 1\sim20mm$) 多量 焼土粒子 ($\phi 1\sim3mm$) ・焼土塊微量 しまり弱い 粘性あり
4	褐灰色土	10YR4/1	炭化物ブロック ($\phi 1\sim10mm$) ・焼土粒子 ($\phi 1\sim5mm$) ・焼土塊少量 しまり弱い 粘性あり
5	褐灰色土	10YR4/1	炭化物ブロック ($\phi 1\sim10mm$) ・焼土塊多量 しまり弱い 粘性あり
6	黒色土	10YR1.7/1	炭化物主体 しまりなし 粘性弱い

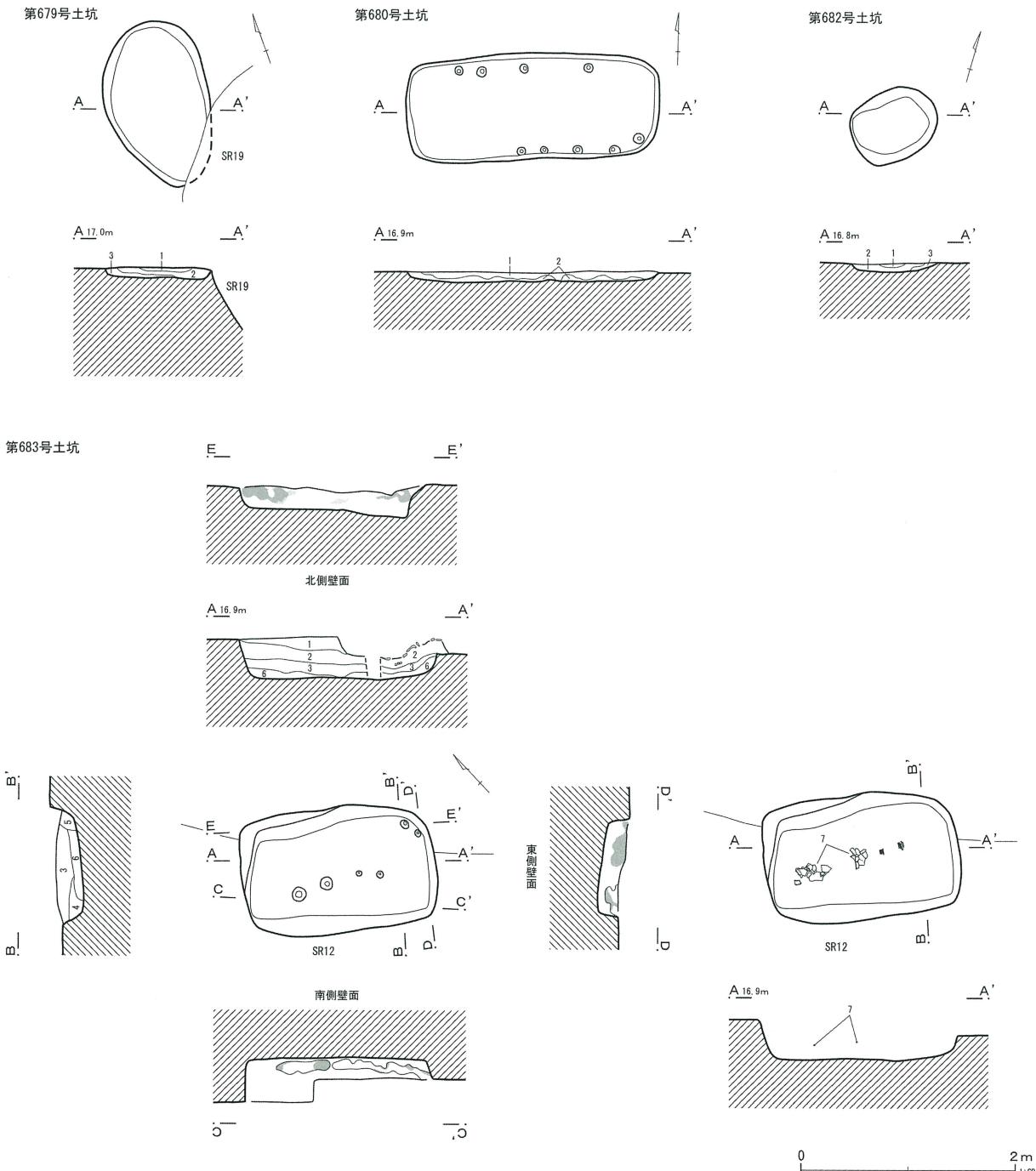
第677号土坑

1	灰色土	N4/0	粘性のある灰色土主体 灰色土ブロック ($\phi 10mm$) 少量 しまりややあり 粘性あり
---	-----	------	---

第678号土坑

2	灰色土	N4/0	粘性のある灰色土主体 黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim15mm$) 多量 しまりなし 粘性あり
3	暗灰色土	N3/0	灰色粘質土と黒っぽい灰色粘質土の混じったもの 褐色土ブロック ($\phi 5\sim10mm$) 少量 しまりややあり 粘性あり
1	灰黄褐色土	10YR4/2	ローム・炭化物粒子 ($\phi 1\sim5mm$) 多量 烧土塊下層に微量 しまり・粘性あり
2	褐灰色土	10YR4/1	ローム粒子 ($\phi 1\sim3mm$) ・ロームブロック 少量 炭化物ブロック ($\phi 1\sim10mm$) ・焼土粒子 ($\phi 1\sim3mm$) ・焼土塊多量 しまり・粘性あり
3	褐灰色土	10YR4/1	ロームブロック ・焼土粒子 ・炭化物粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 少量 しまり・粘性あり
4	褐灰色土	10YR4/1	炭化物ブロック ($\phi 1\sim10mm$) ・焼土塊多量 しまり弱い 粘性あり
5	灰黄色土	2.5Y6/2	ロームブロック 主体 2層土充填 しまり弱い 粘性あり 炭化物純層 しまり・粘性なし
6	黑色土	N1.5/0	

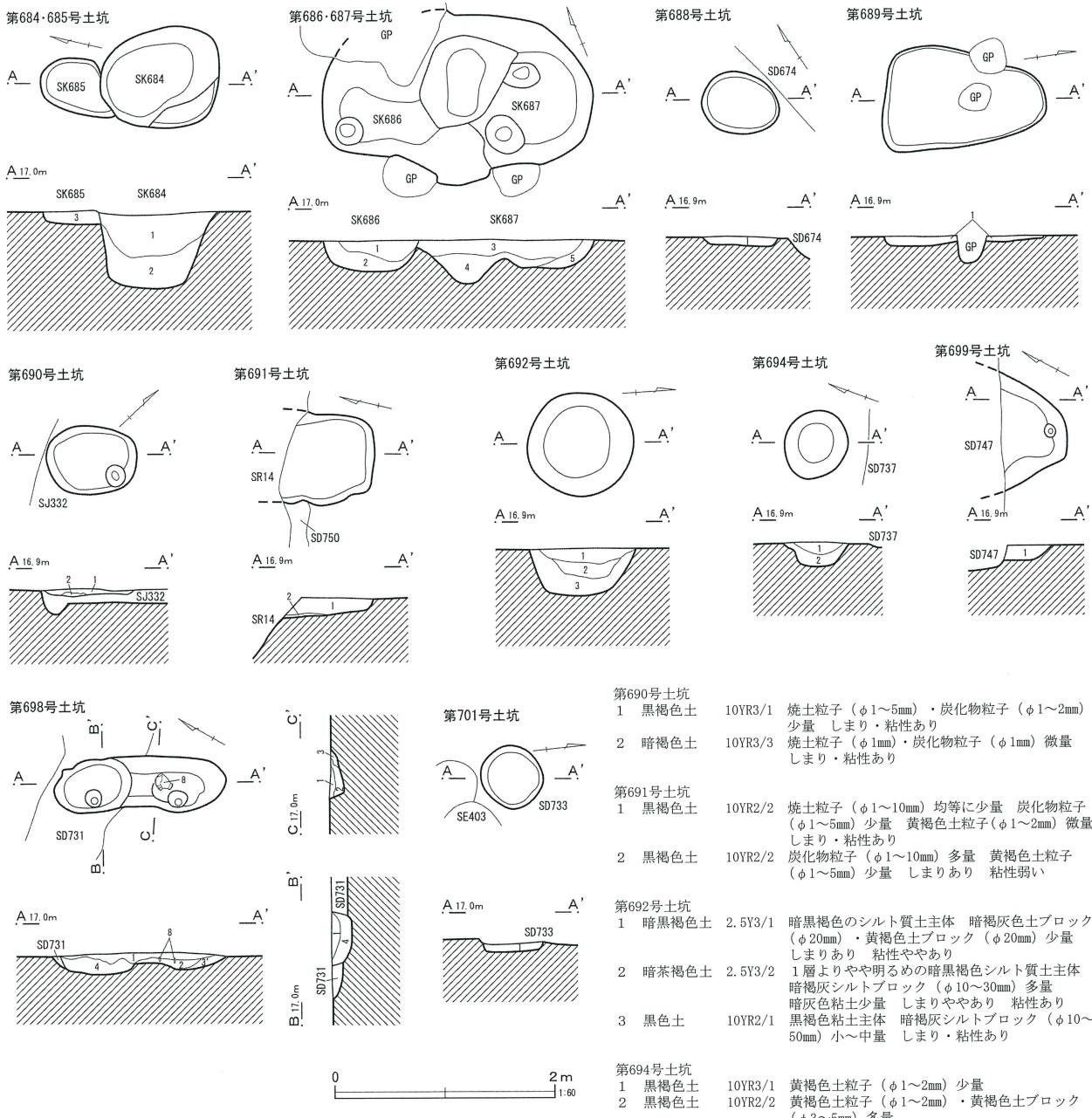
第267図 土坑 (3)



第679号土坑		
1 黒褐色土	10YR3/2	ローム粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 少量 焼土粒子・炭化物粒子 ($\phi 1mm$) 微量 しまりあり 粘性ややあり
2 黒褐色土	10YR3/1	炭化物および灰主体 烧土粒子 ($\phi 1\sim5mm$) ・焼土ブロック多量 しまり弱い 粘性ややあり
3 暗褐色土	10YR3/3	ローム粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 多量 しまり・粘性あり
第680号土坑		
1 褐灰色土	10YR4/1	黄褐色粘土ブロック ($\phi 10mm$) 含む (埋戻しか)
2 明黄褐色土	10YR7/6	黄褐色粘土主体 暗褐色土微量
第682号土坑		
1 黒色土	10YR1.7/1	炭化物主体 ローム粒子 ($\phi 1\sim3mm$) 多量 烧土粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 少量 しまり弱い 粘性ややあり
2 黒色土	10YR1.7/1	炭化物主体 ローム粒子 ($\phi 1\sim5mm$) 少量 烧土粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 微量 しまりなし 粘性ややあり

3 黒褐色土	10YR3/1	ローム粒子 ($\phi 1\sim5mm$) 少量 炭化物粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 多量 烧土粒子 ($\phi 1mm$) 微量 しまり・粘性ややあり
第683号土坑		
1 褐灰色土	10YR5/1	ローム粒子 ($\phi 3\sim5mm$) 少量 烧土粒子 ($\phi 3\sim5mm$) ・炭化物斑 しまり・粘性あり
2 褐灰色土	10YR4/1	ロームブロック ($\phi 5\sim8mm$) 少量 烧土粒子 ($\phi 2\sim3mm$) ・炭化物斑 しまりなし 粘性あり
3 褐灰色土	10YR4/1	ローム粒子 ($\phi 1\sim2mm$) ・焼土粒子 ($\phi 1\sim5mm$) 少量 炭化物粒子 ($\phi 1\sim3mm$) 多量 しまり・粘性あり (馬齒・土器を含む)
4 褐灰色土	10YR4/1	ローム粒子 ($\phi 1\sim2mm$) ・焼土粒子 ($\phi 1\sim2mm$) ・炭化物粒子 ($\phi 1\sim5mm$) 少量 しまりあり 粘性ややあり
5 黒褐色土	10YR3/1	ローム粒子 ($\phi 1\sim5mm$) 微量 炭化物粒子 ($\phi 1mm$) 少量 しまり・粘性あり
6 黒色土	N1.5/0	炭化物のほぼ純層 褐灰土・焼土少量 しまり・粘性弱い

第268図 土坑 (4)



第684・685号土坑		
1 黒褐色土	10YR3/1	暗灰色の粘質土を主体 褐灰色土ブロック(Φ10~50mm) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり
2 暗灰色土	N3/1	暗灰色のしまりのない粘質土に褐灰色土ブロック(Φ20~30mm) 少量 炭化物微量 しまりなし 粘性あり
3 褐灰色土	10YR4/1	酸化鉄粒子(Φ3~5mm) 含む しまりあり 粘性なし
第686・687号土坑		
1 黒褐色土	10YR3/1	黄褐色土ブロック多量 しまり・粘性あり
2 黒褐色土	10YR3/1	地山がブロック状に堆積する しまりあり 粘性強い
3 暗褐色土	10YR3/3	黄褐色土ブロック含む しまり・粘性あり
4 黒褐色土	10YR3/1	黄褐色土・灰色粘土ブロック少量 しまりあり 粘性強い
5 黒褐色土	10YR3/1	黄褐色土・灰色粘土ブロック多量 しまりあり 粘性強い
第688号土坑		
1 黄褐色土	10YR5/6	黄褐色土ブロック(Φ3~5mm) 多量
第689号土坑		
1 黒褐色土	10YR2/2	黄褐色土ブロック(Φ2~5mm) 多量 烧土粒子(Φ1~2mm) 微量

第690号土坑		
1 黒褐色土	10YR3/1	焼土粒子(Φ1~5mm)・炭化物粒子(Φ1~2mm) 少量 しまり・粘性あり
2 暗褐色土	10YR3/3	焼土粒子(Φ1mm)・炭化物粒子(Φ1mm) 微量 しまり・粘性あり
第691号土坑		
1 黒褐色土	10YR2/2	焼土粒子(Φ1~10mm) 均等に少量 炭化物粒子 (Φ1~5mm) 少量 黄褐色土粒子(Φ1~2mm) 微量 しまり・粘性あり
2 黒褐色土	10YR2/2	炭化物粒子(Φ1~10mm) 多量 黄褐色土粒子 (Φ1~5mm) 少量 しまりあり 粘性弱い
第692号土坑		
1 暗黒褐色土	2.5Y3/1	暗黒褐色のシルト質土主体 暗褐灰色土ブロック (Φ20mm)・黄褐色土ブロック(Φ20mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり
2 暗茶褐色土	2.5Y3/2	1層よりやや明るめの暗黒褐色シルト質土主体 暗褐灰シルトブロック(Φ10~30mm) 多量 暗灰色粘土少量 しまりややあり 粘性あり
3 黒色土	10YR2/1	黒褐色粘土主体 暗褐灰シルトブロック(Φ10~ 50mm) 小~中量 しまり・粘性あり
第694号土坑		
1 黒褐色土	10YR3/1	黄褐色土粒子(Φ1~2mm) 少量
2 黒褐色土	10YR2/2	黄褐色土粒子(Φ1~2mm)・黄褐色土ブロック (Φ3~5mm) 多量
第698号土坑		
1 褐灰色土	10YR5/1	しまりある暗褐灰色の土主体 烧土ブロック(Φ 10mm) 少量 しまりあり 粘性なし
2 褐灰色土	10YR4/1	暗灰色シルト質粘土主体 烧土ブロック(Φ10mm) ・炭化物多量 しまりややあり 粘性なし
3 褐灰色土	10YR4/2	褐灰色のしまりある土 特に混入物はなし しまりあり 粘性なし(壁崩落土)
3' 褐灰色土	10YR4/2	3層+黄褐色土ブロック(Φ10~20mm) 少~中量 しまりあり 粘性なし
4 黑褐色土	10YR3/1	黒褐色のやや粘性的ある土を主体 烧土ブロック (Φ10~20mm) 多量 炭化物中~多量 4層の上 部に焼土の大きな塊(Φ30~40mm)が散在する しまりあり 粘性ややあり
第699号土坑		
1 暗褐色土	10YR3/3	黄褐色土ブロック(Φ3~5mm) 少量 烧土粒子 (Φ1~2mm) 微量
第701号土坑		
1 黒褐色土	10YR3/1	焼土ブロック(Φ3~15mm)・黄褐色土ブロック (Φ3~20mm) 多量

第269図 土坑 (5)

第684号土坑（第269図）

N-32グリッドで検出された。第12号方形周溝墓、第685号土坑と重複していた。新旧関係は、本土坑の方がそれらの遺構より新しかった。

規模は、長軸108cm、短軸92cm、深さが70cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-12°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の須恵器甕、土師器甕片が少量出土している。

第685号土坑（第269図）

N-32グリッドで検出された。第12号方形周溝墓、第684号土坑と重複していた。第12号方形周溝墓より新しく、第684号土坑より古かった。規模は、長軸75cm、短軸53cm、深さが9cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-22°-Eであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕片などが少量出土している。

第686号土坑（第269図）

N-32グリッドで検出された。第687号土坑と重複しており、本土坑の方が新しかった。規模は、長軸107cm以上、短軸85cm以上、深さが37cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-61°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の須恵器壺、土師器甕片などが少量出土している。

第687号土坑（第269図）

N-32グリッドで検出された。第686号土坑と重複しており、本土坑の方が古かった。規模は、長軸162cm、短軸130cm、深さが37cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-39°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の須恵器壺、土師器甕片などが多量に出土したが、図示できるものはなかった。

第688号土坑（第269図）

K-32グリッドで検出された。規模は、長軸66cm、短軸55cm、深さが8cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-56°-Wであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第689号土坑（第269図）

K-32グリッドで検出された。規模は、長軸148cm、短軸94cm、深さが42cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-8°-Eであった。

遺物は、土師器甕片などが少量出土している。

第690号土坑（第269図）

N-33グリッドで検出された。第332号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸82cm、短軸61cm、深さが4cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-43°-Eであった。

遺物は、平安時代の底部糸切り離しの須恵器壺、土師器甕片などが少量出土している。

第691号土坑（第269図）

O-32グリッドで検出された。第14号方形周溝墓、第750号溝跡と重複しており、本遺構の方が新しかった。規模は、長軸80cm以上、短軸80cm、深さが15cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-17°-Wであった。壁面は僅かに被熱していた。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第692号土坑（第269図）

O-33グリッドで検出された。第333号住居跡と重複しており、本遺構の方が新しかった。規模は、直径10cm、深さが43cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向はN-5°-Eであった。

遺物は、奈良時代の須恵器甕・壺、土師器甕片などが少量出土している。

第693号土坑 欠番（第3号道路状遺構に変更）

第694号土坑（第269図）

L-32グリッドで検出された。規模は、径60cm、深さが21cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-83°-Eであった。

遺物は、北武藏型の土師器壊片などが出土した。

第695号土坑 欠番（第3号道路状遺構に変更）

第696号土坑 欠番（第3号道路状遺構に変更）

第697号土坑 欠番（第3号道路状遺構に変更）

第698号土坑（第269図）

O-32グリッドで検出された。第731号溝跡と重複しており、本遺構の方が新しかった。規模は、長軸155cm、短軸49cm、深さが37cmで、平面形態は長楕円形をしていた。長軸方向は、N-33°-Wであった。土坑の形態や、覆土に焼土ブロック・炭化物を含むことから、住居跡カマド煙道部の遺存部分の可能性も考えられる。

遺物は、図示した土師器壊の他に、土師器甕、須恵器壊片などが少量出土している。

第699号土坑（第269図）

L-33グリッドで検出された。第747号溝跡と重複しており、本遺構の方が古かった。規模は、長軸105cm、短軸60cm以上、深さが25cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-61°-Eであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕、須恵器甕片などが多量に出土したが、図示できるものがなかった。

第700号土坑 欠番

第701号土坑（第269図）

K-32グリッドで検出された。第733号溝跡に切らされている。

規模は、長軸56cm、短軸56cm、深さが7cmで、平

面形態は円形をしていた。長軸方向はN-90°であった。

遺物は土師器甕・壊片などが少量出土した。

第702号土坑（第270図）

O-32グリッドで検出された。第336号住居跡、第752号溝跡と重複していた。新旧関係は、第336号住居跡より新しく、第752号溝跡より古かった。

規模は、長軸188cm以上、短軸147cm、深さが14cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-78°-Eであった。

遺物は、土師器甕、北武藏型の壊片などが多量に出土したが、図示できるものがなかった。

第703号土坑（第270図）

O-33グリッドで検出された。規模は、長径83cm、深さが5cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-35°-Wであった。覆土には、炭化物や焼土ブロックが多量に含まれており、何らかの焼成構造と考えられる。

遺物は、平安時代の土師器甕片などが少量出土している。

第704号土坑（第270図）

N・O-32グリッドにかけて検出された。規模は、長軸137cm、短軸116cm、深さが44cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-83°-Eであった。

遺物は、須恵器甕、土師器甕片が少量出土した。

第705号土坑（第270図）

N・O-32グリッドにかけて検出された。規模は、長軸178cm、短軸38cm、深さが35cmで、平面形態は東西に長い楕円形をしていた。長軸方向は、N-84°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器片が少量出土した。

第706号土坑（第270図）

O-33グリッドで検出された。第356号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸83cm、短軸64cm、深さが9cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-86°-Wであった。

遺物は、土師器の甕片などが少量出土している。

第707号土坑（第270図）

O-34グリッドで検出された。第356号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長径55cm、深さが33cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向はN-51°-Eであった。

遺物は、土師器の甕片などが少量出土している。

第708号土坑（第270図）

O-34グリッドで検出された。第360号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸65cm、短軸52cm、深さが16cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、土師器の甕片などが少量出土している。

第709号土坑（第270図）

O-34グリッドで検出された。第390号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸102cm、短軸92cm、深さが15cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-39°-Wであった。

遺物は、第280図9の土師器甕の他に、外周ヘラケズリの須恵器坏、土師器甕などが多量に出土した。

第710号土坑（第270図）

O-34グリッドで検出された。第17号方形周溝墓、第390号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長径62cm、深さが13cmで、平面形態は円

形をしていた。長軸方向はN-0°であった。

遺物は、土師器甕片などが少量出土している。

第711号土坑（第270図）

O-33グリッドで検出された。第356号住居跡、第779号溝跡と重複していた。

規模は、長径75cm、深さが44cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、古墳時代後期の須恵器甕、土師器甕片が多量に出土したが、図示できるものがなかった。

第712号土坑（第270図）

N-33グリッドで検出された。第344・358号住居跡、第729号溝跡と重複していた。新旧関係は、第729号溝跡より古く、住居跡よりは新しかった。

規模は、長軸119cm、短軸104cm、深さが18cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-85°-Wであった。底面からは大量の炭化材が検出されたが、被熱を受けた様子は認められなかった。

遺物は、須恵器甕、土師器甕、比企型の坏片などが多量に出土したが、図示できるものがなかった。

第713号土坑（第271図）

N-34グリッドで検出された。第362・364・370号住居跡と重複しており、本土坑が新しかった。

規模は、長軸83cm、短軸37cm、深さが17cmで、平面形態は東西に長い橢円形をしていた。長軸方向は、N-80°-Eであった。

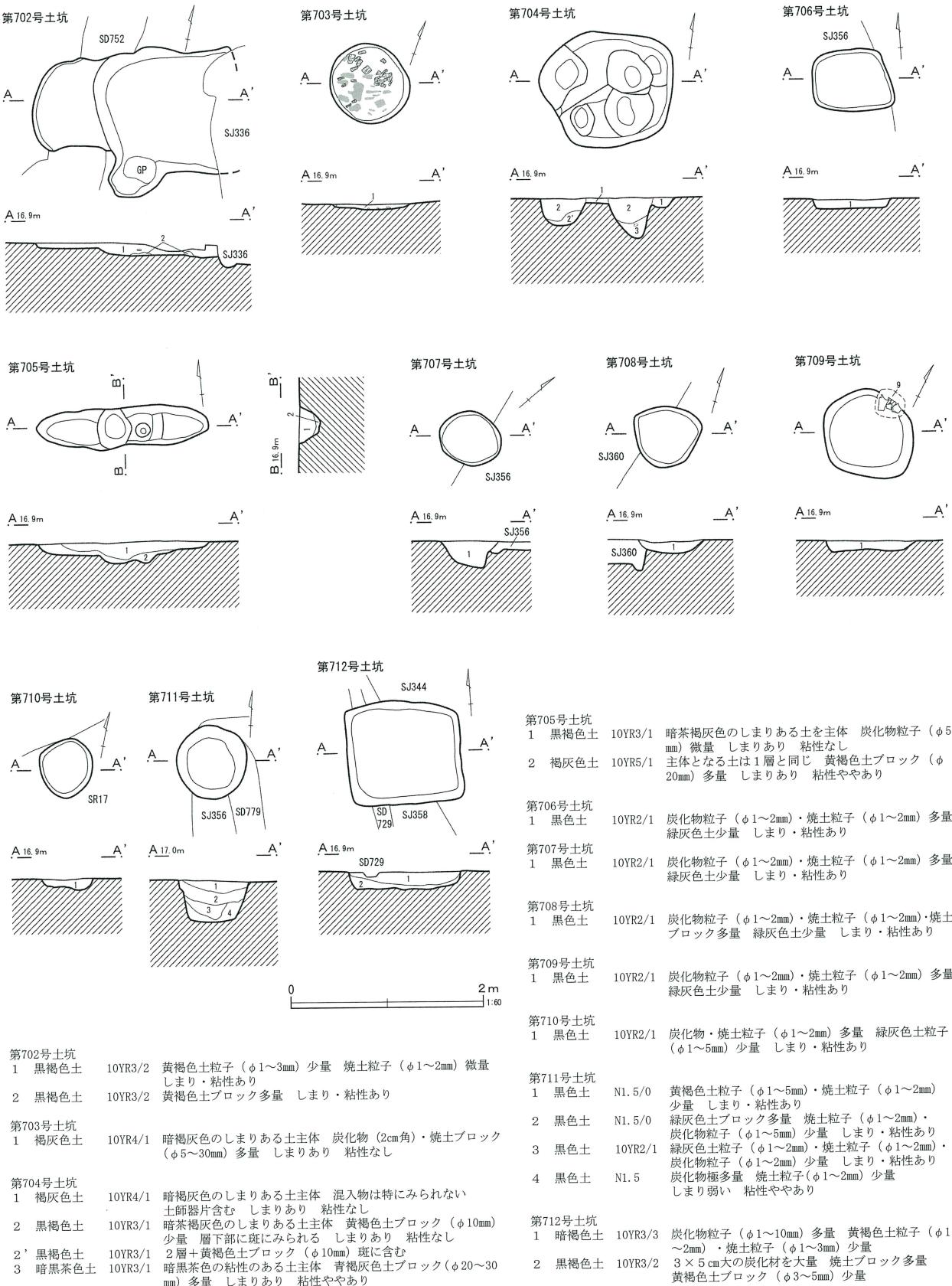
遺物は、古墳時代後期の土師器片が少量出土した。

第714号土坑（第271図）

N-34グリッドで検出された。第362・364号住居跡、第729号溝跡と重複していた。

規模は、長軸126cm、短軸43cm、深さが22cmで、平面形態は東西に長い橢円形をしていた。長軸方向は、N-85°-Eであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器片が少量出土した。



第270図 土坑 (6)

第715号土坑（第271図）

N-34グリッドで検出された。第368・377号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸71cm、短軸57cm、深さが44cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-86°-Eであった。

遺物は、平安時代の須恵器壺などが多量出土した。

第716号土坑（第271図）

O-33グリッドで検出され、第376号住居跡と重複していた。規模は、長軸98cm、短軸43cm、深さが65cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-10°-Eであった。

遺物は、第280図10に示した土師器高壺の壺部片などが少量出土している。

第717号土坑（第271図）

O-34グリッドで検出された。第361号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸66cm、短軸55cm、深さが13cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-64°-Eであった。

遺物は、土師器甕片などが少量出土している。

第718号土坑（第271図）

N-33グリッドで検出された。第16号方形周溝墓東溝と重複していたおり、本土坑が新しかった。

規模は、長軸232cm、短軸59cm、深さが12cmで、平面形態は南北に長い楕円形をしていた。長軸方向は、N-6°-Eであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第719号土坑（第271図）

P-34グリッドで検出された。規模は、長径58cm、深さが13cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、平安時代の須恵器壺などが少量出土した。

第720号土坑（第271図）

O-34・35グリッドにかけて検出された。第348・373号住居跡、第765号溝跡と重複していた。

規模は、長径68cm、深さが51cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、平安時代の須恵器壺などが少量出土した。

第721号土坑（第271図）

O・P-34グリッドで検出された。規模は、長径93cm、深さが42cmで、平面形態は円形をしていた。

遺物は、第280図11の土師器甕などが出土した。底面からは、用途不明の木材が出土している。

第722号土坑（第271図）

P-34グリッドで検出された。規模は、長軸115cm、短軸87cm、深さが12cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、平安時代の須恵器甕などが少量出土した。

第723号土坑（第271図）

P-35グリッドで検出された。第373号住居跡、第732号土坑と重複し、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸78cm、短軸60cm、深さが17cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-57°-Eであった。

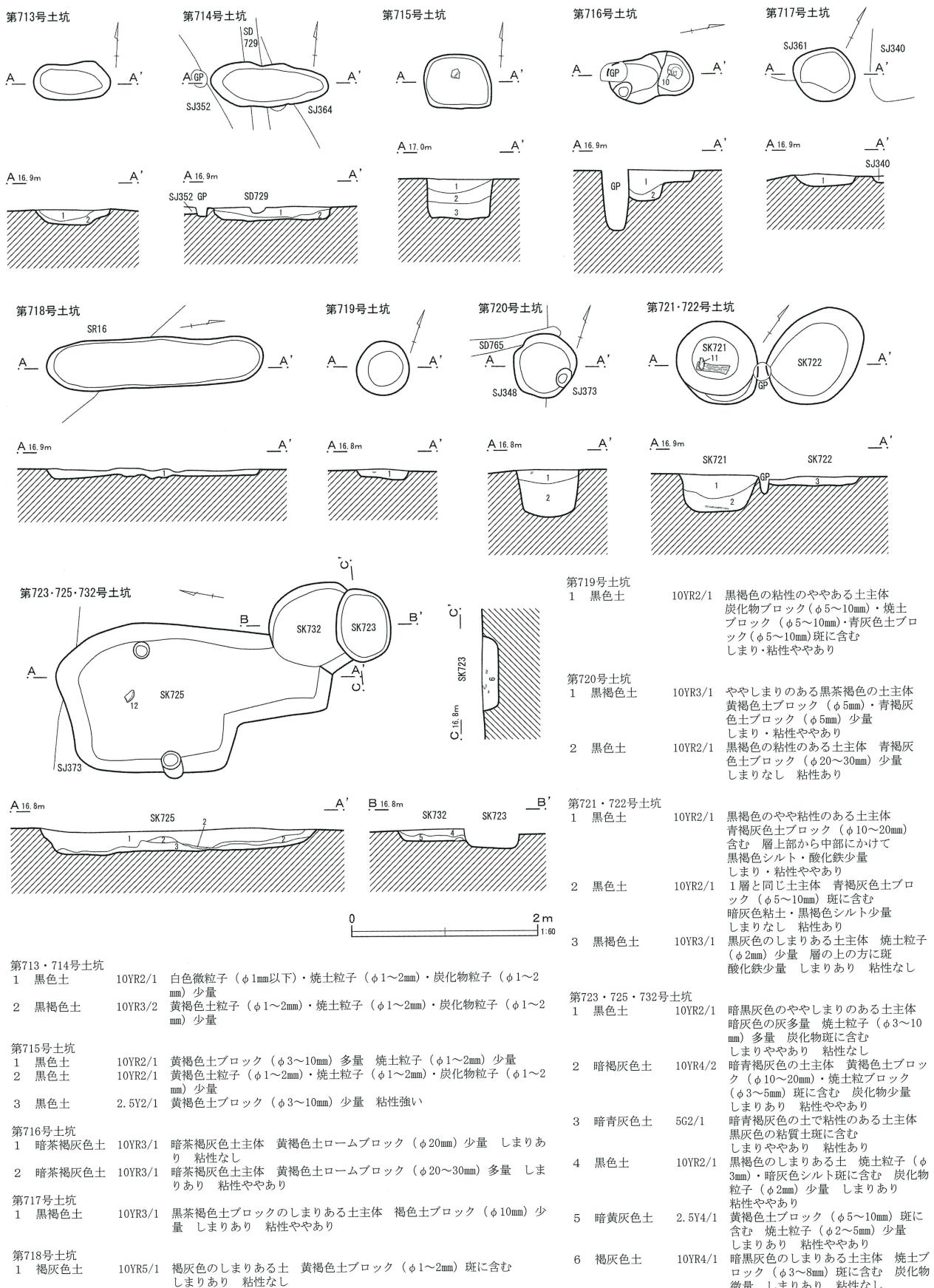
遺物は、奈良時代の須恵器壺、土師器甕片などが多量に出土したが、図示できるものがなかった。

第724号土坑（第272図）

P-34グリッドで検出された。第373・374号住居跡、第406号井戸跡と重複していた。新旧関係は、第406号井戸跡より古く、住居跡より新しかった。

規模は、長軸175cm、短軸100cm、深さが37cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-11°-Eであった。

遺物は、平安時代の糸切りを残す須恵器壺、土師器甕片などが多量に出土したが、図示できなかった。



第271図 土坑 (7)

第725号土坑（第271図）

P-34・35グリッドにかけて検出された。第373号住居跡、第732号土坑と重複していた。

規模は、長軸295cm、短軸160cm、深さが57cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-10°-Wであった。覆土には、灰・焼土を含んでいた。

遺物は、第280図12に示した。12は、底部に回転糸切りが残る須恵器壺である。

第726号土坑（第272図）

O-35グリッドで検出された。第348・366号住居跡と重複しており、本土坑が新しかった。

規模は、長軸60cm、短軸46cm、深さが21cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、比企型壺などの土師器片が少量出土した。

第727号土坑（第272図）

O-35グリッドで検出された。規模は、長軸82cm、短軸72cm、深さが19cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-17°-Wであった。

遺物は、平安時代の須恵器壺などが少量出土した。

第728号土坑（第272図）

O-35グリッドで検出された。第348・366号住居跡と重複しており、本遺構の方が新しかった。

規模は、長軸62cm、短軸52cm、深さが14cmで、長方形をしていた。長軸方向は、N-90°であった。

遺物は、土師器甕片などが少量出土している。

第729号土坑（第272図）

O-35グリッドで検出された。規模は、長軸63cm、短軸42cm、深さが21cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-69°-Eであった。

遺物は、平安時代の灰釉陶器などが少量出土した。

第730号土坑（第272図）

N-35グリッドで検出された。第389号住居跡と重複しており、本土坑が新しかった。規模は、長径88cm、深さが52cmで、平面形態は円形をしていた。

遺物は、古墳時代後期の土師器片が少量出土した。

第731号土坑（第272図）

N-35グリッドで検出された。第376・389号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長径70cm、深さが14cmで、平面形態は円形をしていた。

遺物は、平安時代の須恵器壺などが少量出土した。

第732号土坑（第271図）

P-35グリッドで検出された。第373号住居跡、第723・725号土坑と重複していた。

規模は、長軸100cm以上、短軸87cm、深さが13cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-54°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器片が多量出土した。

第733号土坑 欠番

第734号土坑（第272図）

N-34グリッドで検出された。第16号方形周溝墓南溝と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸194cm、短軸76cm、深さが40cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-62°-Eであった。

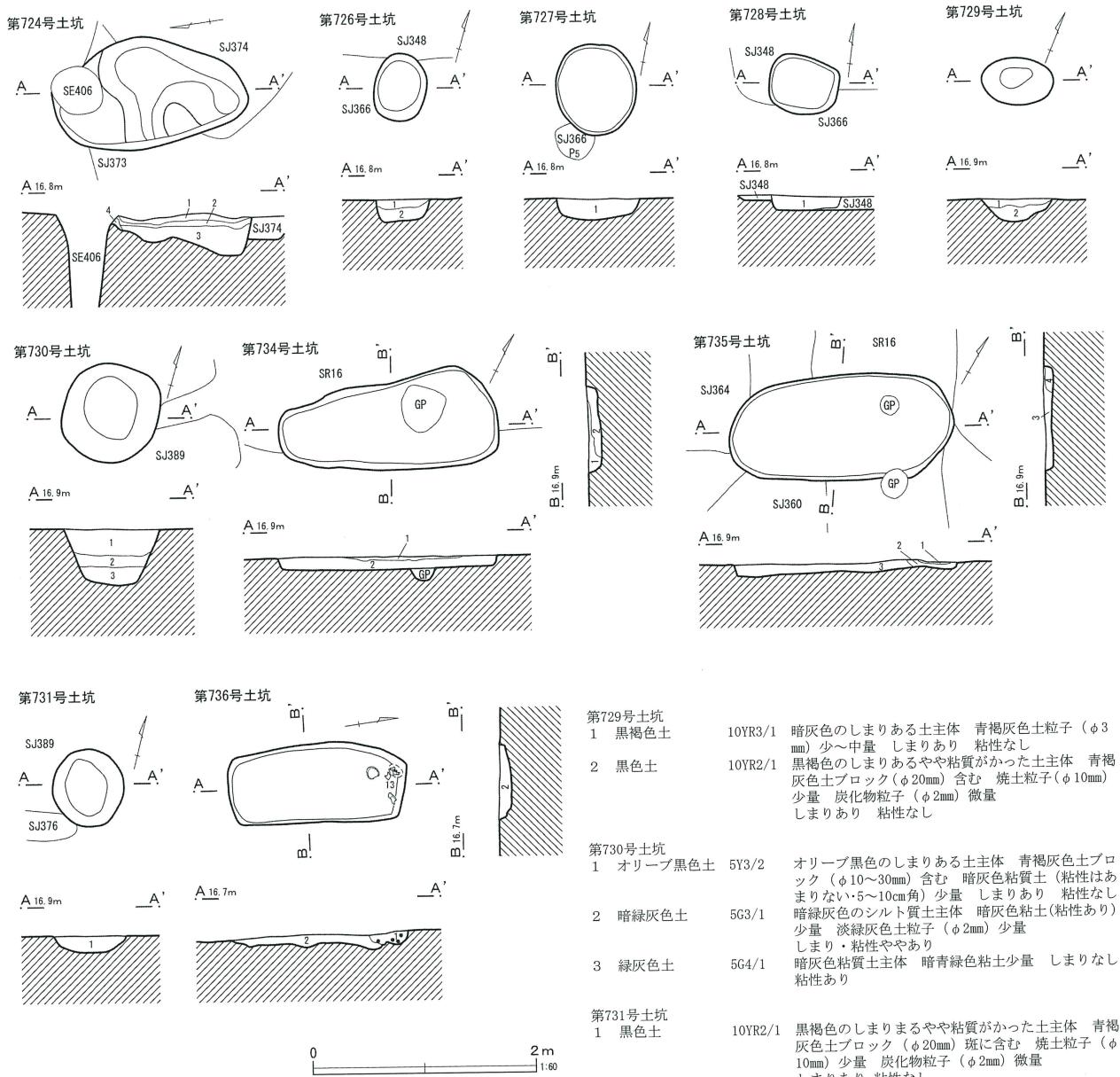
遺物は、古墳時代後期の土師器片が多量出土した。

第735号土坑（第272図）

N-33・34グリッドにかけて検出された。第16号方形周溝墓、第360・364号住居跡と重複していた。

規模は、長軸220cm、短軸93cm、深さが18cmで、平面形態は東西に長い楕円形をしていた。長軸方向は、N-58°-Eであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器片が少量出土した。



第724号土坑	1 黒色土	10YR2/1	暗灰色の灰多量 炭化物ブロック ($\phi 3\sim5mm$) 少量 烧土粒子 ($\phi 2mm$)・青灰色土ブロック ($\phi 10mm$) 微量 しまりややあり 粘性なし
	2 暗黄灰色	2. 5Y4/1	暗黄灰色のしまりある土 黄褐色土粒子 ($\phi 2mm$) 中～多量 烧土ブロック ($\phi 5mm$) 微量 しまりあり 粘性なし
	3 褐灰色土	10YR4/1	暗灰色粘質土・青灰色土ブロック ($\phi 20\sim30mm$) 斑に含む 粘性あり しまり弱い
	4 黒色土	10YR2/1	やや粘性のある黒褐色土 しまり・粘性ややあり
第726号土坑	1 黒褐色土	10YR3/1	黒褐色のしまりある土主体 烧土粒子 ($\phi 5\sim10mm$) 少量 しまりあり 粘性なし
	2 黑褐色土	10YR3/2	暗茶褐色のやや粘性のある土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 2\sim3mm$) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり
第727号土坑	1 黒色土	10YR2/1	黒褐色のしまりある土主体 烧土粒子 ($\phi 2\sim5mm$) 斑に含む 炭化物粒子 ($\phi 2mm$) 少量 暗褐色土ブロック ($\phi 20\sim30mm$) 少量 層中央部付近 しまりあり 粘性ややあり
第728号土坑	1 黒っぽい暗灰色	10YR3/1	黒っぽい暗灰色のしまりある土 烧土粒子 ($\phi 5mm$)・炭化物 粒子 ($\phi 3mm$) 少量 しまりあり 粘性ややあり

第272図 土坑 (8)

第736号土坑（第272図）

O-35グリッドで検出された。規模は、長軸161cm、短軸69cm、深さが15cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-6°-Eであった。

出土遺物は、第280図13に示した。他に、土師器甕片などが少量出土している。

第737号土坑（第273図）

M・N-34グリッドにかけて検出された。第53号掘立柱建物跡と重複しており、本土坑が古かった。

規模は、長軸118cm、短軸100cm、深さが48cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-56°-Eであった。最下層には薄い炭層が堆積していた。

遺物は、古墳時代後期の土師器片が少量出土した。

第738号土坑（第273図）

M-33グリッドで検出された。第344・351・358号住居跡と重複していた。規模は、長軸101cm、短軸79cm、深さが11cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-9°-Eであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第739号土坑（第273図）

M-31グリッドで検出された。第12号方形周溝墓のマウンドを切り込んで構築されていた。規模は、長軸214cm、短軸129cm、深さが18cmで、平面形態は南北に長い橢円形をしていた。長軸方向は、N-12°-Wであった。

遺物は、時期不明の土師器甕などが少量出土した。

第740号土坑（第273図）

O-35グリッドで検出された。第18号方形周溝墓、第375号住居跡と重複していた。

規模は、長軸128cm、短軸70cm、深さが14cmで、平面形態は歪んだ長方形をしていた。長軸方向は、N-79°-Eであった。

遺物は、土師器甕片などが少量出土している。

第741号土坑（第273図）

K-34グリッドで検出された。第753号溝跡より古く、第363号住居跡より新しかった。

規模は、長軸173cm以上、短軸40cm、深さが23cmで、平面形態は不明であった。長軸方向は、N-10°-Eであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第742号土坑（第273図）

L-35グリッドで検出された。第371号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸73cm、短軸44cm、深さが23cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-86°-Eであった。

遺物は、土師器甕片などが少量出土している。

第743号土坑（第273図）

M-35グリッドで検出された。新旧関係は、第372号住居跡より新しく、第777号溝跡より古かった。

規模は、長径83cm、深さが29cmで、平面形態は円形をしていた。

遺物は、古墳時代後期の土師器片が少量出土した。

第744号土坑（第273図）

L-35グリッドで検出された。規模は、長軸50cm、短軸35cm、深さが15cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-90°であった。

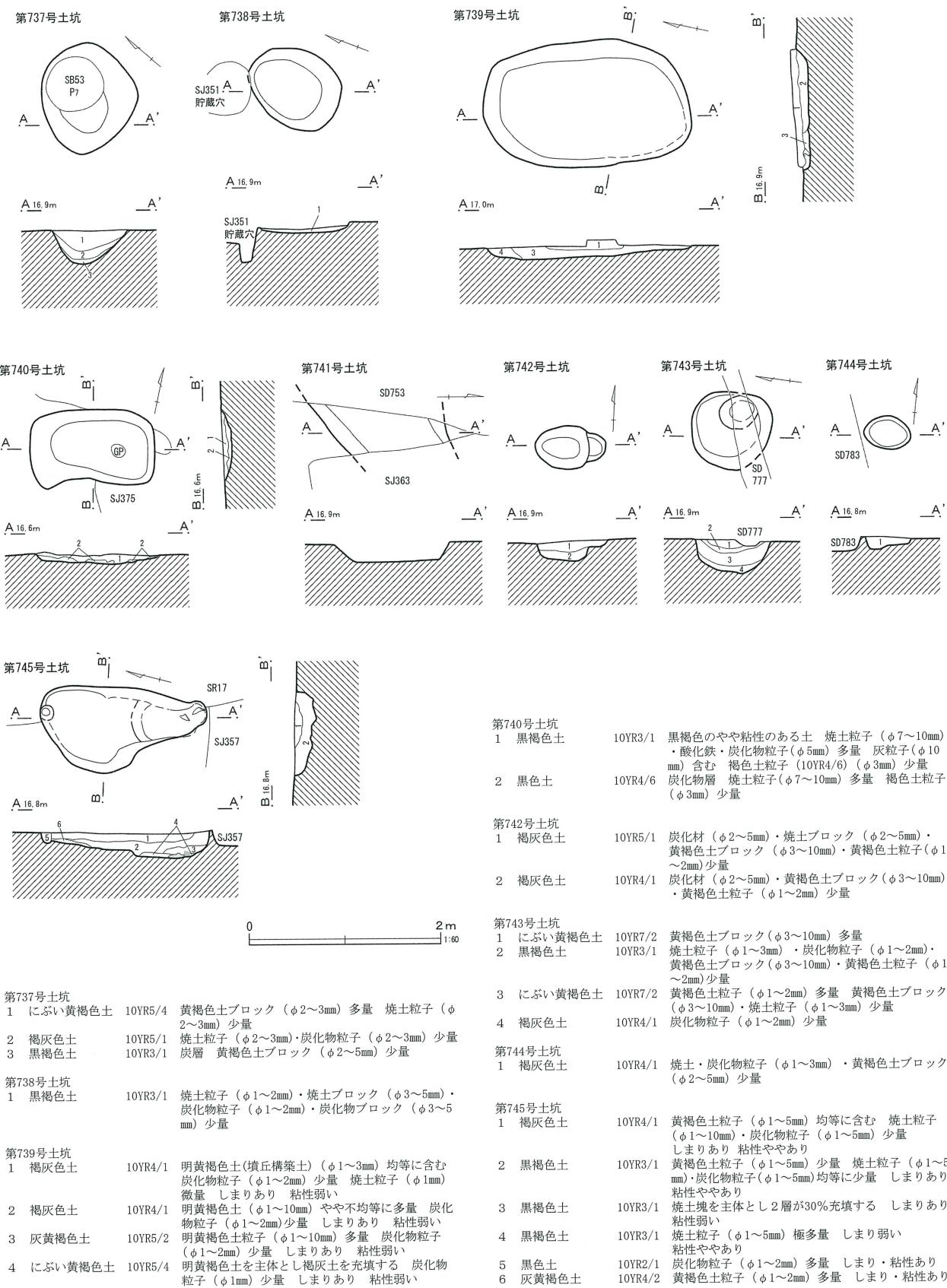
遺物は、土師器甕片などが少量出土している。

第745号土坑（第273図）

O-35グリッドで検出された。第17号方形周溝墓と重複しており、本土坑が新しかった。

規模は、長軸172cm、短軸88cm、深さが28cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-15°-Wであった。覆土に炭や焼土を多く含んでいたことから、焼成遺構の可能性が考えられる。

遺物は、奈良時代の土師器片が多量に出土した。



第273図 土坑 (9)

第746号土坑（第274図）

L・M-34・35グリッドにかけて検出された。

規模は、長軸98cm、短軸94cm、深さが52cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-22°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕片などが少量出土した。

第747号土坑（第274図）

O-35グリッドで検出された。第17号方形周溝墓と重複しており、本遺構の方が新しかった。

規模は、長径49cm、短径47cm、深さが14cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-81°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕片などが少量出土した。

第748号土坑（第274図）

O-35グリッドで検出された。

規模は、長軸67cm、短軸58cm、深さが4cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-6°-Wであった。浅い土坑であったが、覆土には、焼土ブロックを多量に含んでいた。

遺物は、古墳時代後期の土師器壺片などが少量出土した。第280図14は、やや大型の土師器壺である。

第749号土坑 欠番

第750号土坑（第274図）

M-34グリッドで検出された。第378号住居跡、第762号溝跡と重複していた。新旧関係は、本遺構が第762号溝跡に切られていた。

規模は、長軸84cm、短軸66cm、深さが72cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-40°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の須恵器高壺片などが少量出土した。

第751号土坑（第274図）

N-34グリッドで検出された。第16号方形周溝墓、第368・377号住居跡と重複していた。新旧関係は、第368号住居跡より古く、第16号方形周溝墓より新しかった。

規模は、長軸68cm、短軸52cm、深さが25cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-33°-Wであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第752号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第753号土坑（第274図）

L-34グリッドで検出された。第345・353号住居と重複していたが、新旧関係は不明である。

規模は、長軸55cm、短軸32cm、深さが8cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-83°-Eであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第754号土坑（第274図）

L-36グリッドで検出された。第783号溝跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸54cm、短軸48cm、深さが17cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-6°-Eであった。覆土中層に薄い灰層が堆積していた。

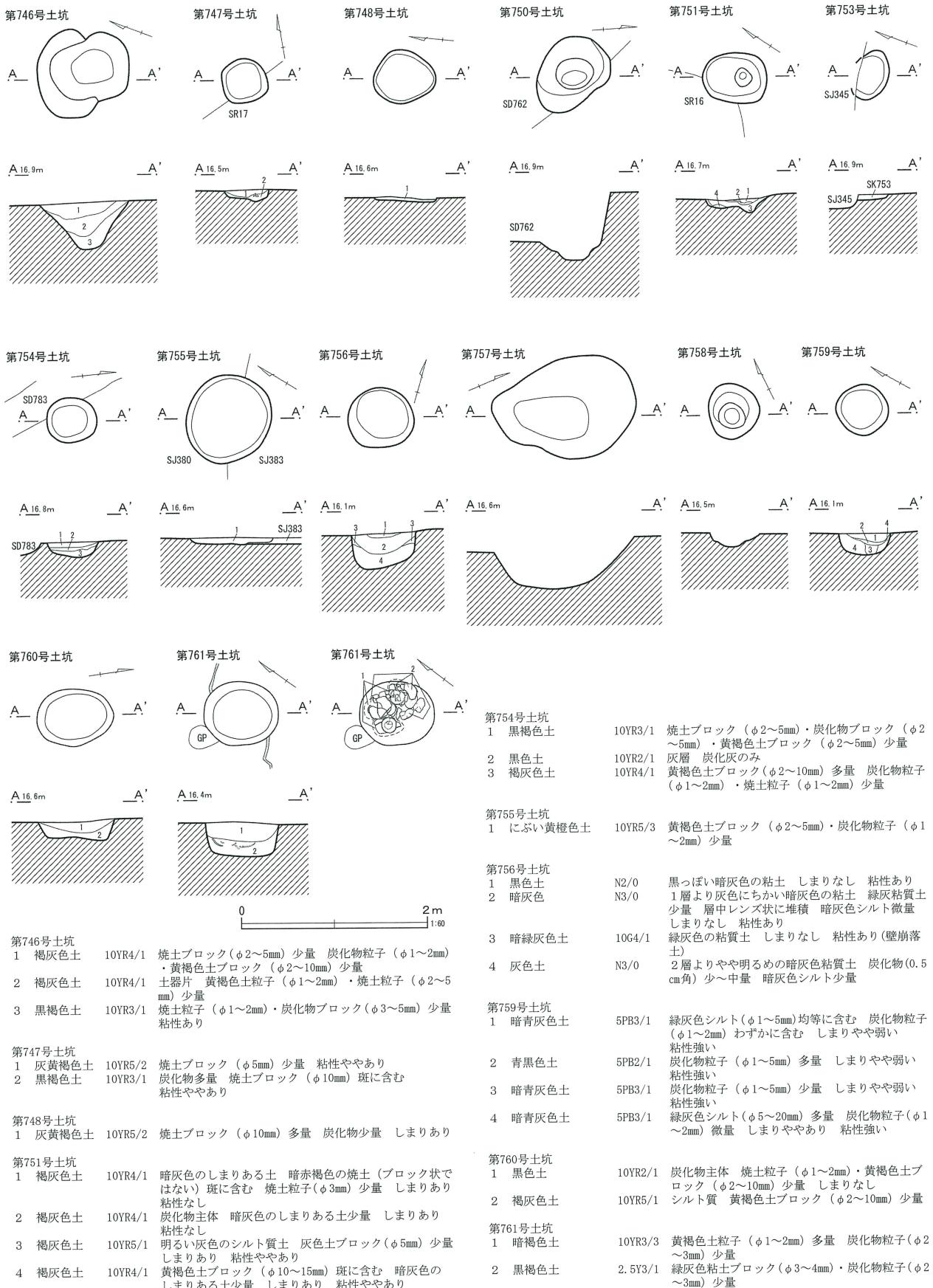
遺物が出土していないため、時期は不明である。

第755号土坑（第274図）

M-35グリッドで検出された。第380・382・383号住居跡と重複していた。新旧関係は、第383号住居跡より新しいが、他の住居跡とは不明であった。

規模は、長軸97cm、短軸89cm、深さが7cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-31°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕片などが少量出土した。



第274図 土坑 (10)

第756号土坑（第274図）

N-36グリッドの谷の落ち際で検出された。

規模は、長軸70cm、短軸64cm、深さが49cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-75°-Eであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第757号土坑（第274図）

K・L-36・37グリッドにかけて検出された。

規模は、長軸155cm、短軸109cm、深さが60cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-23°-Eであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第758号土坑（第274図）

M-36グリッドで検出された。規模は、長軸58cm、短軸50cm、深さが14cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、第280図15の大型壺が出土している。

第759号土坑（第274図）

N-36グリッドで検出された。第762号溝跡と重複していたが、新旧関係は不明である。

規模は、直径55cm、深さが26cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向はN-17°-Wであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第760号土坑（第274図）

Q-45グリッドで検出された。第397・422号住居跡と重複していたが、新旧関係は不明である。

規模は、長軸81cm、短軸62cm、深さが21cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-8°-Eであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第761号土坑（第274図）

P-43グリッドで検出された。規模は、長軸80cm、

短軸68cm、深さが37cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-37°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器が多量に出土した。第281図1・2はほぼ完形の土師器の壺で、外面の調整はヘラミガキである。

第762号土坑（第275図）

P-44・45グリッドにかけて検出された。第799号溝跡と重複しており、溝跡を切っていた。

規模は、長軸120cm、短軸84cm、深さが16cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-42°-Wであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第763号土坑（第275図）

Q-44グリッドで検出された。第395・396号住居跡と重複していたが、新旧関係は不明である。

規模は、直径60cm、深さが26cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第764号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第765号土坑（第275図）

Q-44グリッドで検出された。規模は、長軸64cm、短軸58cm、深さが14cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-76°-Wであった。

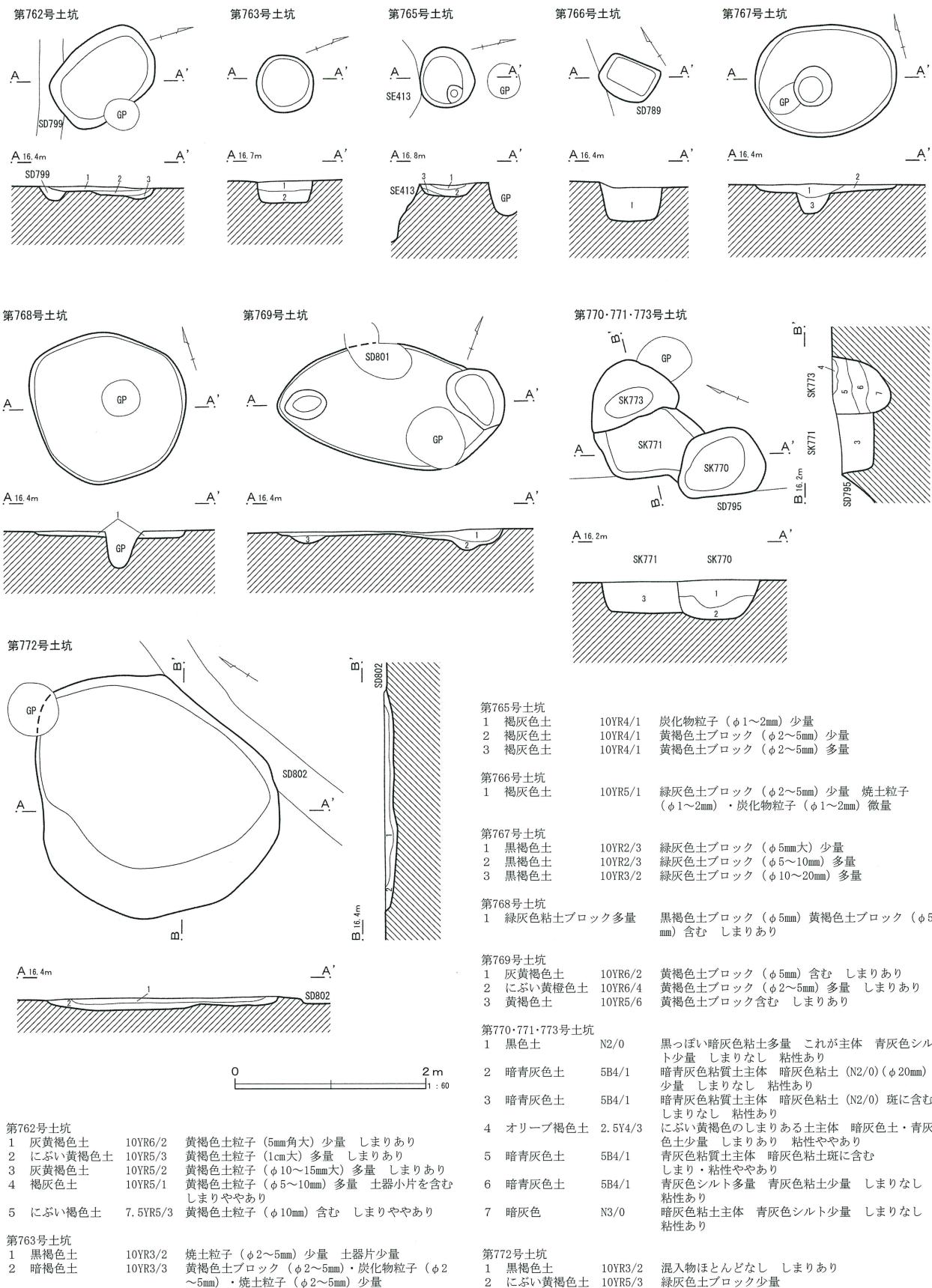
遺物は、中世の常滑甕片などが少量出土した。

第766号土坑（第275図）

P-44グリッドで検出された。第789号溝跡と重複していたが、新旧関係は不明である。

規模は、長軸58cm、短軸44cm、深さが53cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-30°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕片などが多量に出土したが、図示できるものがなかった。



第275図 土坑 (11)

第767号土坑（第275図）

P-44グリッドで検出された。規模は、長軸149cm、短軸119cm、深さが54cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-77°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器片が少量出土した。

第768号土坑（第275図）

P-44・45グリッドにかけて検出された。

規模は、長軸171cm、短軸150cm、深さが42cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-41°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器片が少量出土した。

第769号土坑（第275図）

P-44グリッドで検出された。第801号溝跡と重複していたが、新旧関係は不明である。

規模は、長軸239cm、短軸132cm、深さが43cmで、平面形態は東西に長い楕円形をしていた。長軸方向は、N-70°-Eであった。

遺物は、古墳時代前期の土師器片が少量出土した。

第770号土坑（第275図）

M-47グリッドで検出された。第771号土坑・第795号溝跡と重複していた。新旧関係は、第795号溝跡より古く、第771号土坑より新しかった。

規模は、長軸94cm、短軸67cm以上、深さが44cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-38°-Wであった。

遺物は、平安時代の須恵器壺、土師器甕片などが少量出土している。

第771号土坑（第275図）

M-47グリッドで検出された。第770・773号土坑・第795号溝跡と重複しており、新旧関係は本土坑の方が古かった。

規模は、長軸116cm以上、短軸70cm以上、深さが41cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、

N-27°-Wであった。

遺物は、平安時代の須恵器片などが少量出土した。

第772号土坑（第275図）

P-44グリッドで検出された。第802号溝跡と重複しており、本遺構の方が古かった。

規模は、長軸280cm、短軸250cm、深さが13cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-16°-Eであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕片などが多量に出土したが、図示できるものがなかった。

第773号土坑（第275図）

M・N-47グリッドにかけて検出された。第771号土坑と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸100cm、短軸55cm以上、深さが62cmで、平面形態は東西に長い楕円形をしていた。長軸方向は、N-50°-Wであった。

遺物は、平安時代の須恵器高台付壺、土師器甕片などが少量出土した。

第774号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第775号土坑（第276図）

Q-44グリッドで検出された。規模は、長軸88cm、短軸60cm、深さが48cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-7°-Eであった。

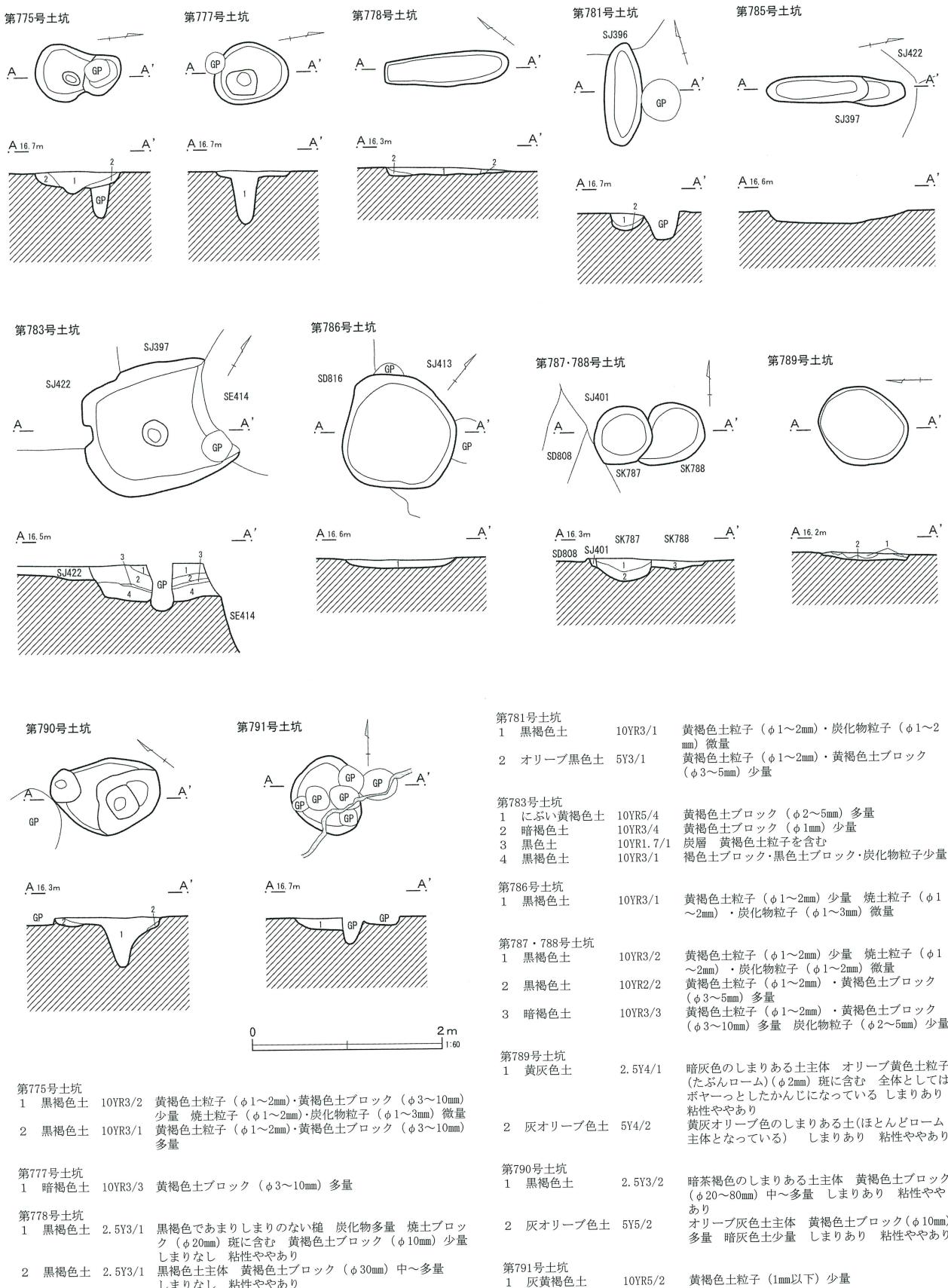
遺物は、古墳時代後期の須恵器壺、土師器甕片などが少量出土した。

第776号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第777号土坑（第276図）

Q-44グリッドで検出された。規模は、長軸80cm、短軸65cm、深さが55cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、時期不明の土師器甕などが少量出土した。



第276図 土坑 (12)

第778号土坑（第276図）

O-47・48グリッドで検出された。規模は、長軸130cm、短軸35cm、深さが19cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-42°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の有段口縁壺片などが少量出土している。

第779号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第780号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第781号土坑（第276図）

Q-44グリッドで検出された。第396号住居跡と重複しており、新旧関係は不明である。

規模は、長軸108cm、短軸42cm、深さが18cmで、平面形態は南北に長い楕円形をしていた。長軸方向は、N-18°-Eであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕・高壺片などが少量出土している。

第782号土坑 欠番

第783号土坑（第276図）

Q-44・45グリッドにかけて検出された。第397・422号住居跡、第414号井戸跡と重複していた。新旧関係は、第397・422号住居跡より新しく、第414号井戸跡より古かった。

規模は、長軸149cm以上、短軸132cm、深さが61cmで、平面形態は長方形をしていたと思われる。長軸方向は、N-45°-Eであった。覆土中層の3層には、薄い炭層が堆積していた。

遺物は、土師器甕片などが少量出土している。

第784号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第785号土坑（第276図）

Q-44グリッドで検出された。第397・422号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸145cm、短軸28cm、深さが14cmで、平面形態は南北に長い楕円形をしていた。長軸方向は、N-11°-Eであった。

遺物は、時期不明の土師器片が少量出土している。

第786号土坑（第276図）

Q-45・46グリッドにかけて検出された。第412・413号住居跡、第816号溝跡と重複していた。新旧関係は、古墳時代後期の住居跡よりも新しいが、第816号溝跡とは不明である。

規模は、長径116cm、深さが13cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向はN-29°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕片などが少量出土しているが、本遺構に伴うものではない。

第787号土坑（第276図）

P-45グリッドで検出された。第401号住居跡、第788号土坑と重複し、両遺構を切っていた。

規模は、長径61cm、深さが23cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、古墳時代後期の須恵器壺、土師器甕片などが少量出土したが、混入品の可能性が高い。

第788号土坑（第276図）

P-45グリッドで検出された。第401号住居跡、第787号土坑と重複していた。新旧関係は、第787号土坑より古く、第401号住居跡とは不明である。

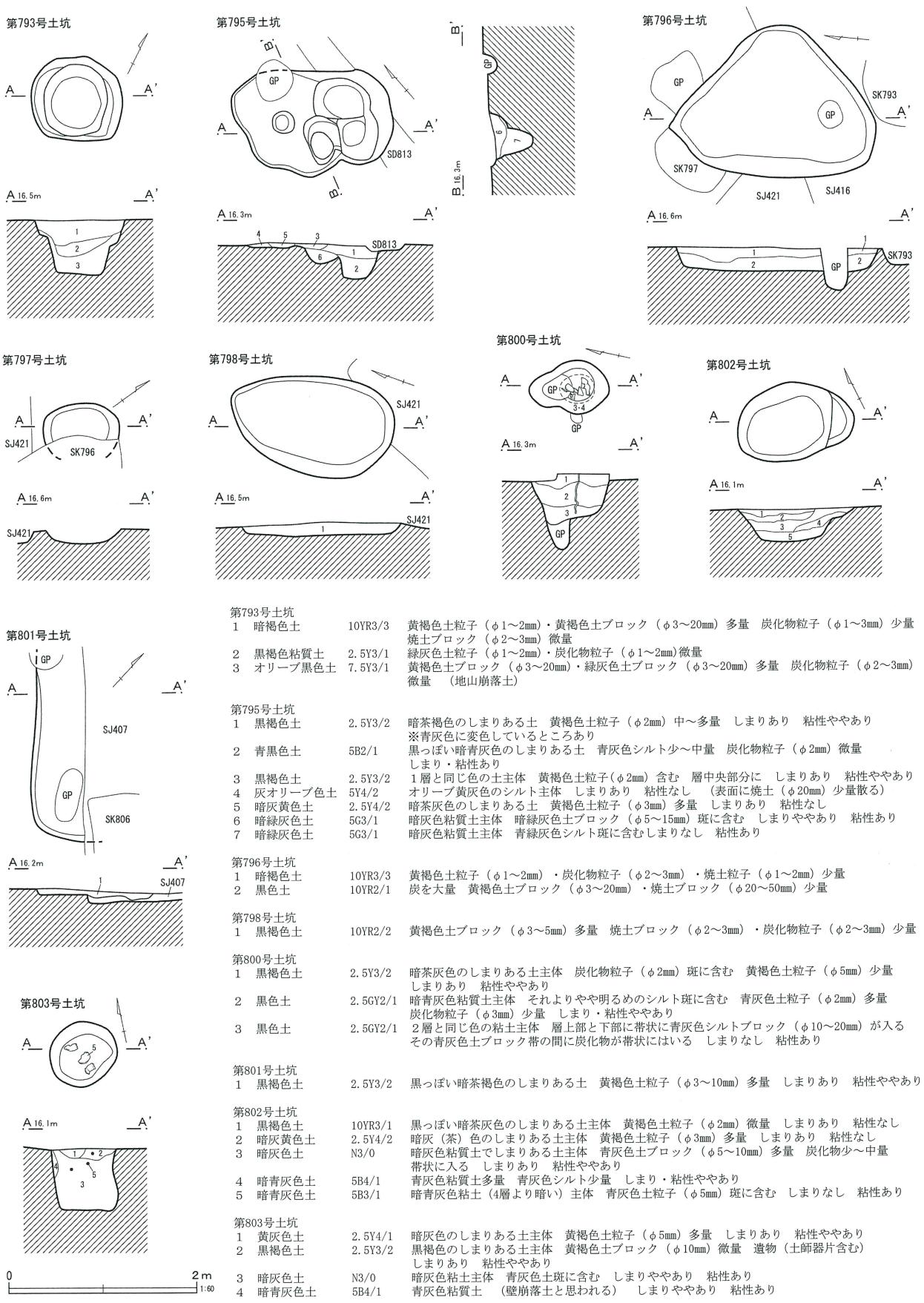
規模は、長軸78cm、短軸62cm、深さが9cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-51°-Eであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第789号土坑（第276図）

P-47・48グリッドで検出された。規模は、長軸94cm、短軸80cm、深さが10cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-27°-Eであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。



第277図 土坑 (13)

第790号土坑（第276図）

P-47グリッドで検出された。規模は、長軸115cm、短軸79cm、深さが69cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-43°-Wであった。

遺物は、時期不明の土師器甕片などが少量出土している。

第791号土坑（第276図）

Q-45グリッドで検出された。規模は、長軸82cm、短軸73cm、深さが34cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第792号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第793号土坑（第277図）

Q-46グリッドで検出された。第416号住居跡と重複していたが、新旧関係は不明である。

規模は、長径95cm、深さが59cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向はN-64°-Eであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕片などが少量出土している。

第794号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第795号土坑（第277図）

P-47グリッドで検出された。第813号溝跡と重複しており、本土坑の方が古かった。

規模は、長軸167cm、短軸110cm、深さが23cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-54°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕、比企型壺などが少量出土したが、本遺構に伴うかは不明である。

第796号土坑（第277図）

Q-46グリッドで検出された。第416・421号住居

跡、第797号土坑と重複しており、本遺構が一番新しかった。

規模は、長軸218cm、短軸162cm、深さが46cmで、平面形態は三角形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。下層には炭が大量に堆積していたが、壁面などが被熱を受けた様子はなかった。

遺物は、古墳時代後期の須恵器甕、土師器甕片などが多量に出土したが、図示できるものはなかった。

第797号土坑（第277図）

Q-46グリッドで検出された。第796号土坑と重複しており、本土坑の方が古かった。

規模は、長軸80cm、短軸35cm以上、深さが19cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-35°-Eであった。

遺物は、平安時代の須恵器壺片が出土した。

第798号土坑（第277図）

Q-46グリッドで検出された。第421号住居跡と重複しており、本遺構の方が新しかった。

規模は、長軸176cm、短軸107cm、深さが15cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、古墳時代後期の須恵器甕、土師器甕片などが少量出土している。

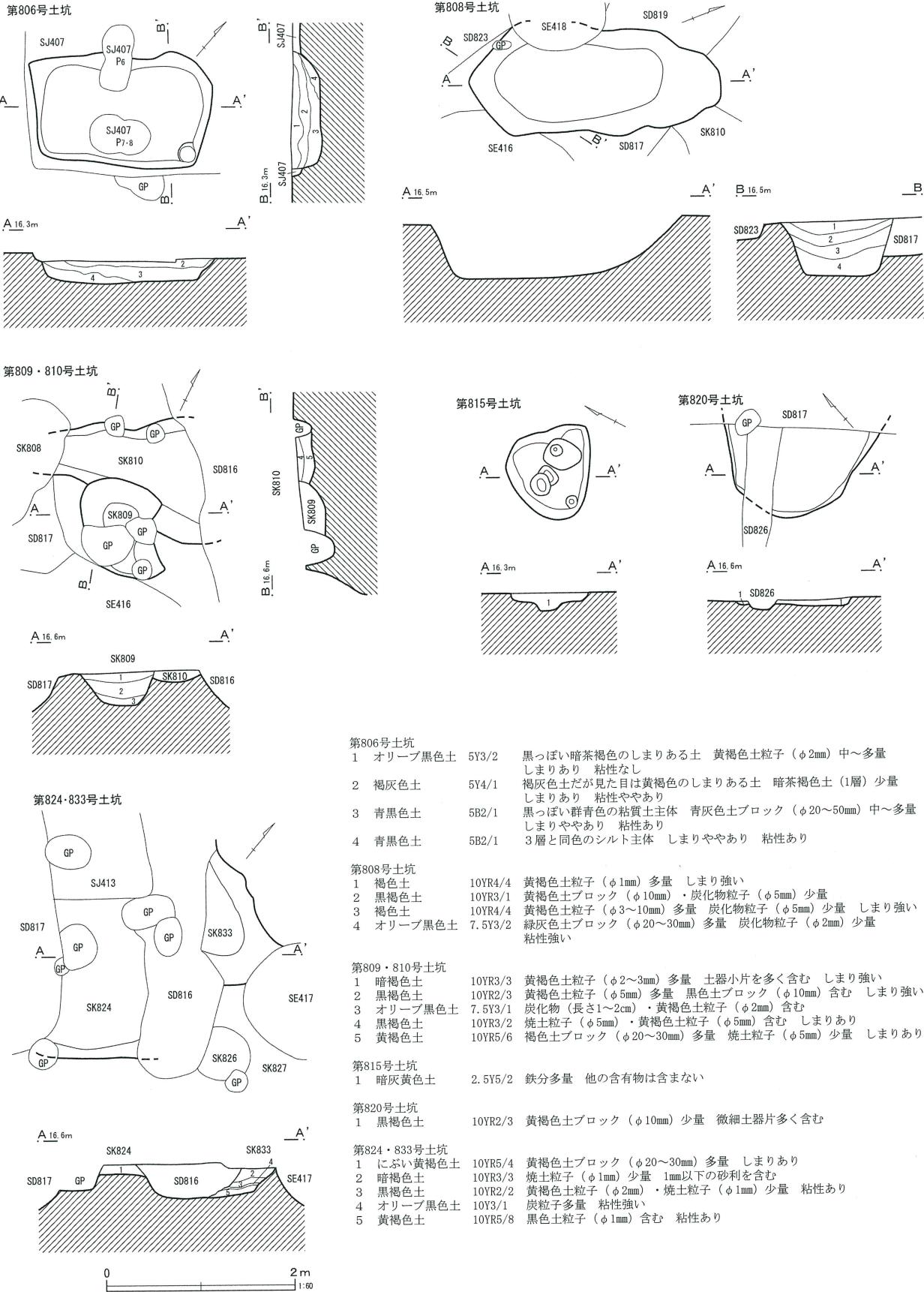
第799号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第800号土坑（第277図）

O-46グリッドで検出された。第407号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸86cm、短軸57cm、深さが71cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-14°-Wであった。

出土遺物は、第281図3・4に示した。3は土師器の長甕、4は輪積み痕が明瞭に残る甕である。



第278図 土坑 (14)

第801号土坑（第277図）

O-47グリッドで検出された。第407号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸170cm、短軸124cm、深さが10cmで、平面形態は長方形をしていたと思われる。長軸方向は、N-40°-Wであった。

遺物は、土師器片が少量出土している。

第802号土坑（第277図）

P-43グリッドの谷の落ち際で検出された。

規模は、長軸125cm、短軸83cm、深さが39cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-66°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕・壺片などが少量出土している。

第803号土坑（第277図）

P-44グリッドの谷の落ち際で検出された。

規模は、長軸75cm、短軸65cm、深さが67cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-67°-Eであった。

遺物は、古墳時代後期の須恵器高壺、土師器甕・高壺、板碑片などが少量出土した。第281図5は、須恵器高壺の壺部片である。脚部との接合部には三方透かしの痕跡が確認できる。

第804号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第805号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第806号土坑（第278図）

O-46・47グリッドにかけて検出された。第407号住居跡と重複しており、本土坑が新しかった。

規模は、長軸194cm、短軸129cm、深さが34cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-49°-Eであった。

遺物は、時期不明の土師器甕片などが少量出土している。

第807号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第808号土坑（第278図）

Q-45グリッドで検出された。第416・418号井戸跡、第810号土坑、第817・819号溝跡と重複していた。新旧関係は、第817号溝跡より新しく、第416・418号井戸跡、第819号溝跡よりは古かった。

規模は、長軸266cm、短軸111cm、深さが58cmで、平面形態は南北に長い楕円形をしていた。長軸方向は、N-20°-Eであった。

遺物は、平安時代の須恵器壺片などが少量出土している。

第809号土坑（第278図）

Q-45グリッドで検出された。第416号井戸跡、第810号土坑と重複していた。新旧関係は、第810号土坑より新しく、第416号井戸跡より古かった。

規模は、長軸103cm以上、短軸85cm以上、深さが49cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-29°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕片などが多量に出土したが、図示できるものはなかった。

第810号土坑（第278図）

Q-45グリッドで検出された。第808・809号土坑、第816・817号溝跡と重複していた。新旧関係は、第809号土坑、第816号溝跡より古いが、他の遺構とは不明である。

規模は、長軸155cm以上、短軸110cm以上、深さが39cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-80°-Eであった。

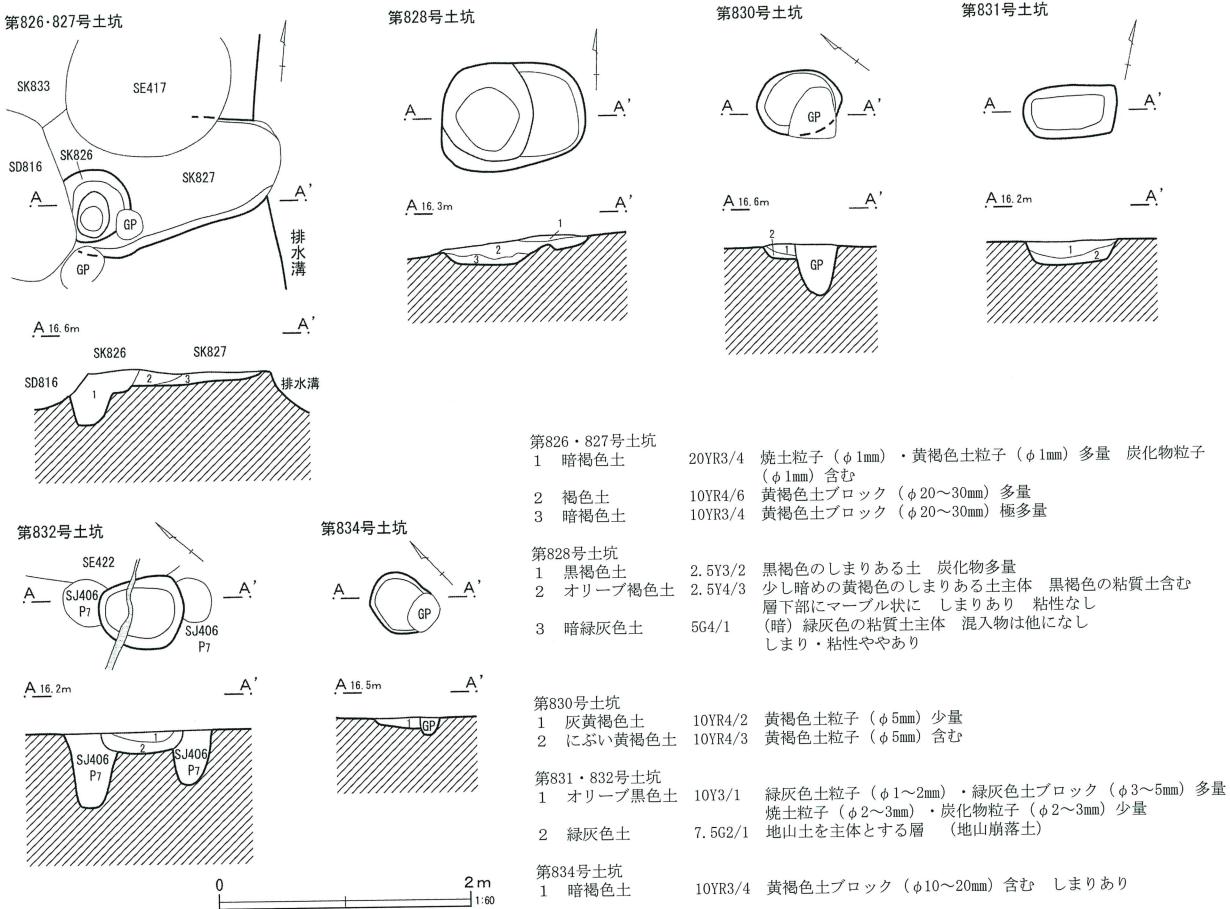
遺物が出土していないため、時期は不明である。

第811号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第812号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第813号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第814号土坑 欠番（グリッドピットに変更）



第279図 土坑 (15)

第815号土坑 (第278図)

P・Q-47グリッドにかけて検出された。第414号住居跡と重複しており、本土坑が新しかった。

規模は、長軸98cm、短軸87cm、深さが31cmで、平面形態は橢円形をしていた。長軸方向は、N-63°-Eであった。

遺物は、土師器甕片などが少量出土している。

第816号土坑 欠番 (グリッドピットに変更)

第817号土坑 欠番 (グリッドピットに変更)

第818号土坑 欠番 (グリッドピットに変更)

第819号土坑 欠番 (グリッドピットに変更)

第820号土坑 (第278図)

Q-46グリッドで検出された。第817・826号溝跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸163cm、短軸95cm以上、深さが48cmで、

平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-46°-Wであった。

遺物は、土師器甕片などが少量出土した。

第821号土坑 欠番 (グリッドピットに変更)

第822号土坑 欠番 (グリッドピットに変更)

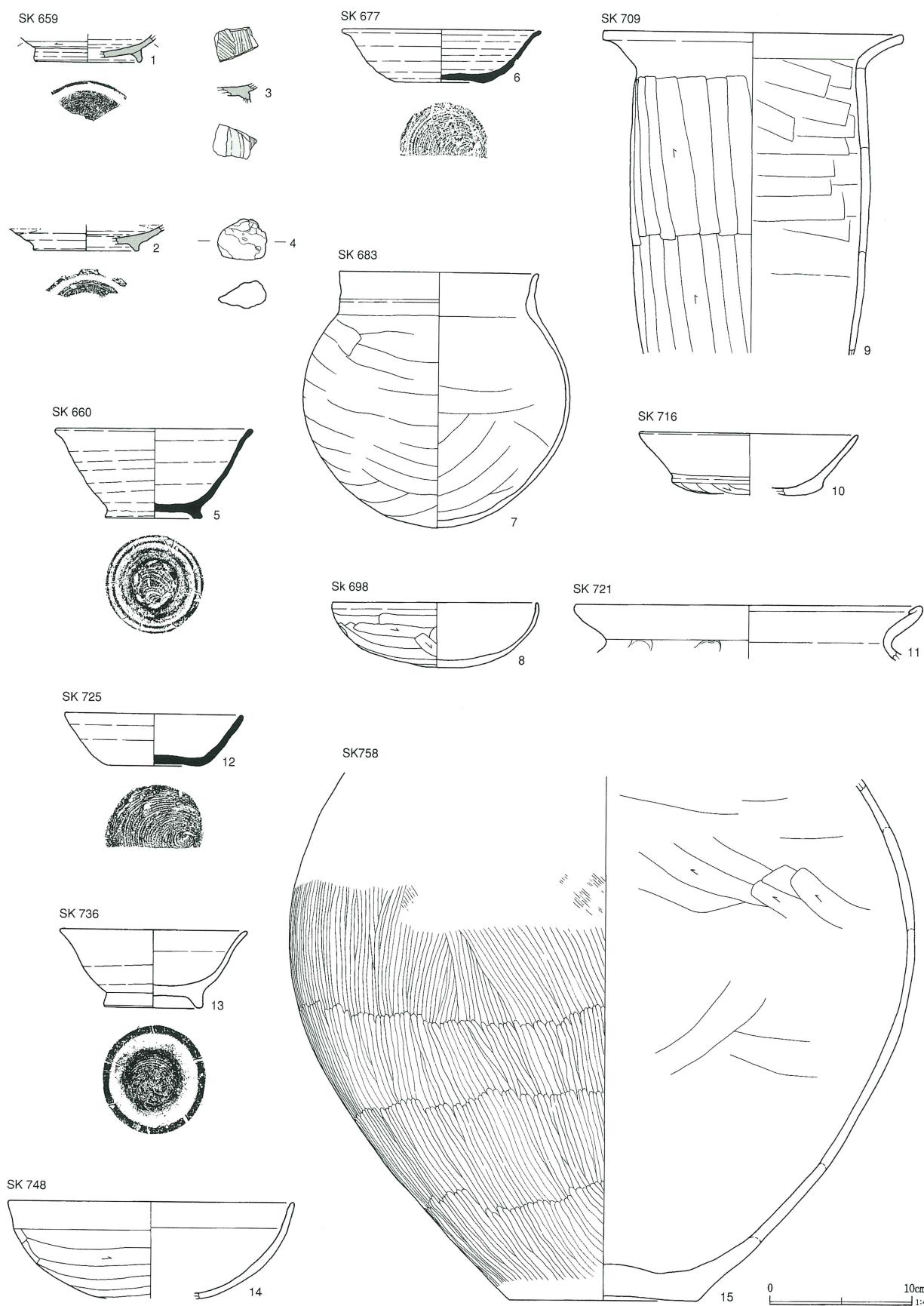
第823号土坑 欠番 (グリッドピットに変更)

第824号土坑 (第278図)

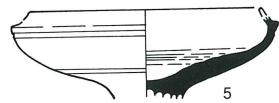
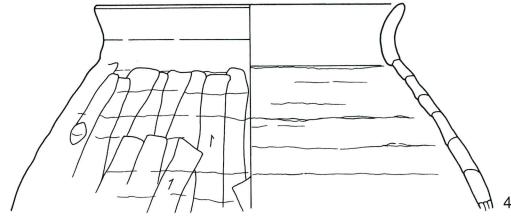
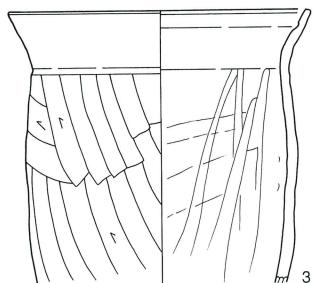
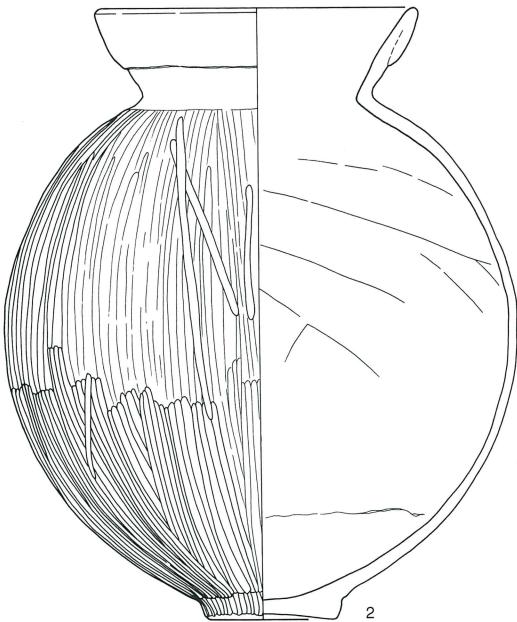
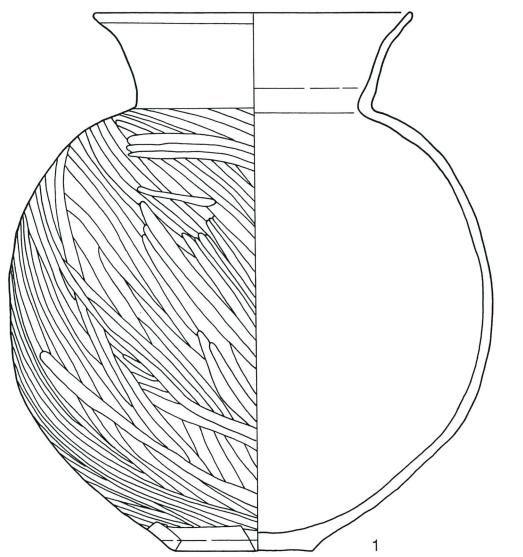
Q-46グリッドで検出された。第413号住居跡、第816・817号溝跡と重複していた。新旧関係は、第816号溝跡より古かった。

規模は、長軸167cm以上、短軸86cm以上、深さが23cmで、平面形態は不明であった。長軸方向は、N-41°-Wであった。

遺物は、古墳時代後期の土師器甕片などが少量出土している。



第280図 土坑出土遺物 (1)



0 10cm 1:4

第281図 土坑出土遺物 (2)

第825号土坑 欠番 (グリッドピットに変更)

第826号土坑 (第279図)

Q・R-46グリッドにかけて検出された。第827号土坑、第816号溝跡と重複していた。新旧関係は、第816号溝跡よりも古く、第827号土坑よりは新しかった。

規模は、長軸56cm、深さが35cmで、平面形態は円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

遺物は、時期不明の土師器甕片などが少量出土している。

第827号土坑 (第279図)

Q・R-46グリッドにかけて検出された。第417号井戸跡、第826・833号土坑、第816号溝跡と重複していた。新旧関係は、第417号井戸跡、第826号土坑、第816号溝跡よりも古かったが、第833号土坑とは不明である。

規模は、長軸187cm以上、短軸82cm以上、深さが10cmで、平面形態は不整形をしていた。長軸方向は、N-90°であった。

遺物は、時期不明の土師器甕片などが少量出土している。

第20表 土坑出土遺物観察表

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
280 1	SK 659	灰釉陶器	塊	—	[1.9]	(7.6)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白		122-2
280 2	SK 659	灰釉陶器	塊	—	[7.8]	(7.3)	破片	白粒 黒粒	普通	灰白、釉灰白	ツケガケ	122-2
280 3	SK 659	緑釉陶器	塊	—	—	—	破片	黒粒	普通	灰、釉オリーブ黄		123
280 4	SK 659	鉄滓	鍛冶滓	幅3.4長さ2.9厚さ1.8								
280 5	SK 660	須恵器	高台付塊	13.9	6.2	6.9	完形	片 砂粒 白粒	不良	灰黄	末野産	74-5
280 6	SK 677	須恵器	塊	(14.0)	3.7	(6.2)	1/4	石英 赤粒 白粒 小礫	普通	灰	末野産	
280 7	SK 683	土師器	壺	14.0	17.9	—	1/2	砂粒 赤粒	普通	橙		92-3
280 8	SK 698	土師器	塊	14.5	4.5	—	2/3	角 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	北武藏型塊	74-6
280 9	SK 709	土師器	甕	(21.0)	[22.1]	—	1/2	白粒	普通	明褐灰		110-1
280 10	SK 716	土師器	高塊	(15.4)	[4.4]	—	4/5	赤粒 白粒 黒粒	普通	橙		74-7
280 11	SK 721	土師器	甕	(24.6)	[3.7]	—	口縁破片	白粒	普通	明褐灰		
280 12	SK 725	須恵器	塊	(12.6)	3.6	6.6	1/2	雲 長石 白粒 針	普通	灰		74-8
280 13	SK 736	須恵器	高台付塊	13.0	5.4	6.8	3/4	角 赤粒	普通	浅黄橙		74-9
280 14	SK 748	土師器	塊	(20.2)	[6.8]	—	1/3	雲 長石 赤粒 白粒	普通	橙		
280 15	SK 758	土師器	壺	—	[36.7]	13.2	3/5	長石 砂粒 白粒	普通	浅黄橙	黒斑	110-2
281 1	SK 761	土師器	壺	16.6	28.4	7.3	ほぼ完形	雲 白粒	普通	極暗褐		110-3
281 2	SK 761	土師器	壺	16.6	32.2	6.3	3/5	角 長石 赤粒 白粒	普通	にぶい褐		110-4
281 3	SK 800	土師器	甕	(15.6)	[14.3]	—	口縁破片	雲 赤粒	普通	にぶい橙		
281 4	SK 800	土師器	甕	(16.6)	[10.7]	—	胴部	赤粒 白粒 黒粒	普通	灰褐		
281 5	SK 803	須恵器	高塊	—	[4.2]	—	塊部3/4	砂粒 白粒	普通	淡灰褐	三方透	74-10

第828号土坑（第279図）

P-43グリッドで検出された。規模は、長軸113cm、短軸85cm、深さが22cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-88°-Eであった。上層には、炭化物が多量に含まれていた。

遺物は、土師器甕片などが少量出土している。

第832号土坑（第279図）

Q-47グリッドで検出された。第406号住居跡と重複しており、本土坑の方が新しかった。

規模は、長軸118cm、短軸57cm、深さが16cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-40°-Wであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第829号土坑 欠番（グリッドピットに変更）

第830号土坑（第279図）

Q-46グリッドで検出された。規模は、長軸65cm、短軸50cm、深さが39cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-37°-Wであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第831号土坑（第279図）

Q-47グリッドで検出された。第406号住居跡と重複していたが、新旧関係は不明である。

規模は、長軸73cm、短軸41cm、深さが19cmで、平面形態は長方形をしていた。長軸方向は、N-78°-Eであった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

第833号土坑（第278図）

Q-46グリッドで検出された。第412・413号住居跡、第417号井戸跡、第786号土坑、第816号溝跡と重複していた。

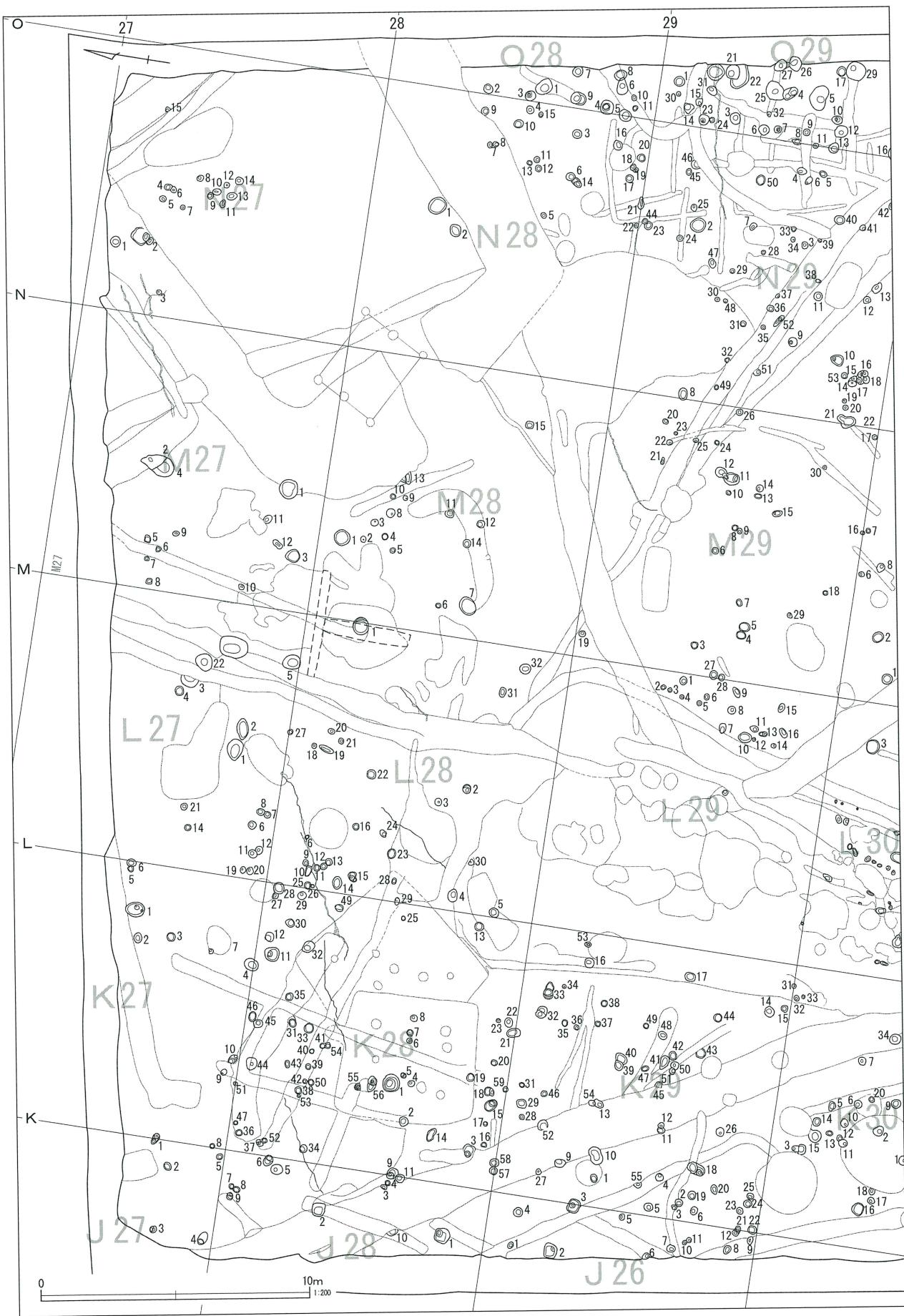
規模は、長軸103cm以上、短軸77cm以上、深さが46cmで、平面形態は不明であった。長軸方向は、N-90°であった。

遺物が出土していないため、時期は不明である。

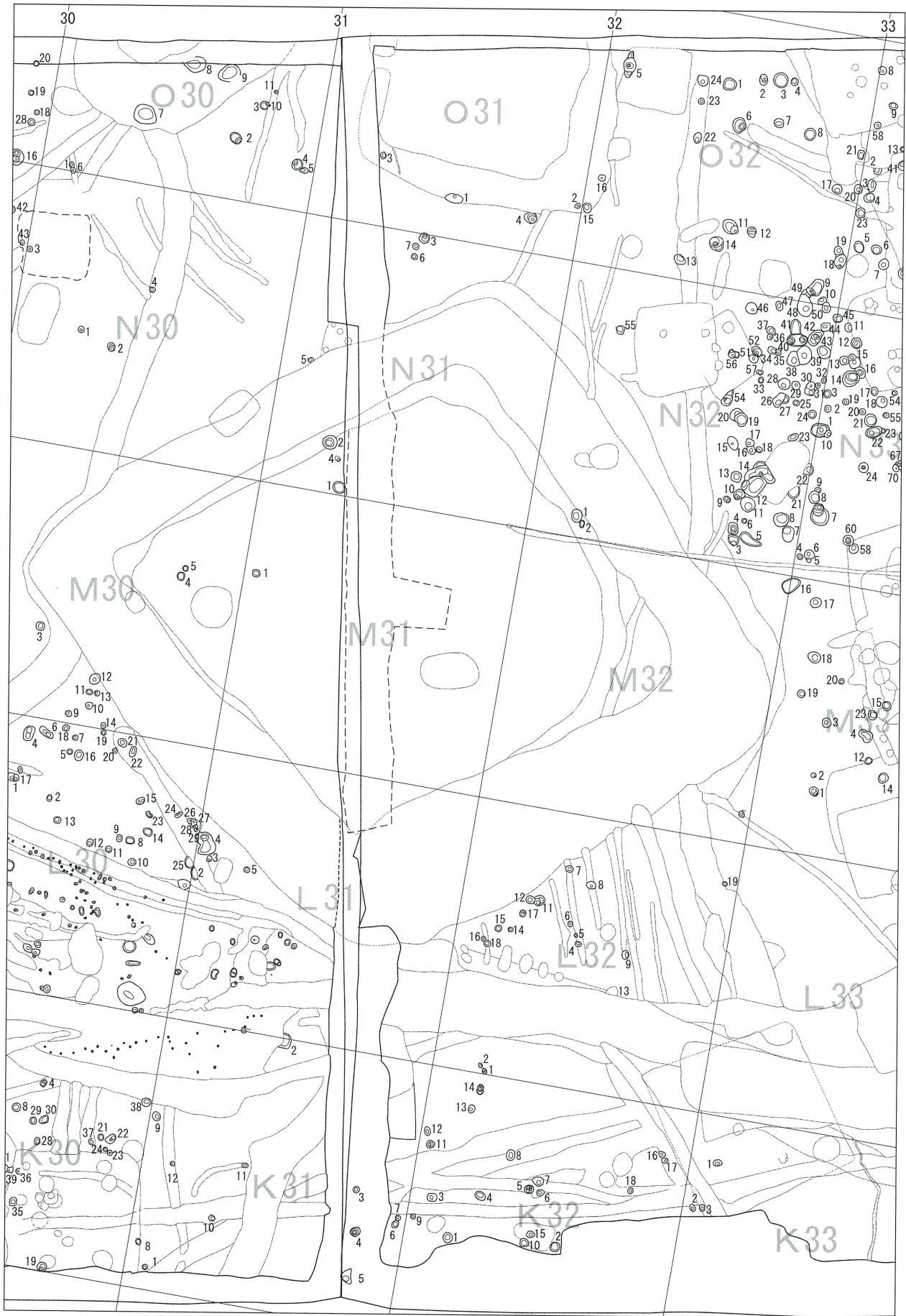
第834号土坑（第279図）

Q-46グリッドで検出された。規模は、長軸53cm、短軸43cm、深さが34cmで、平面形態は楕円形をしていた。長軸方向は、N-0°であった。

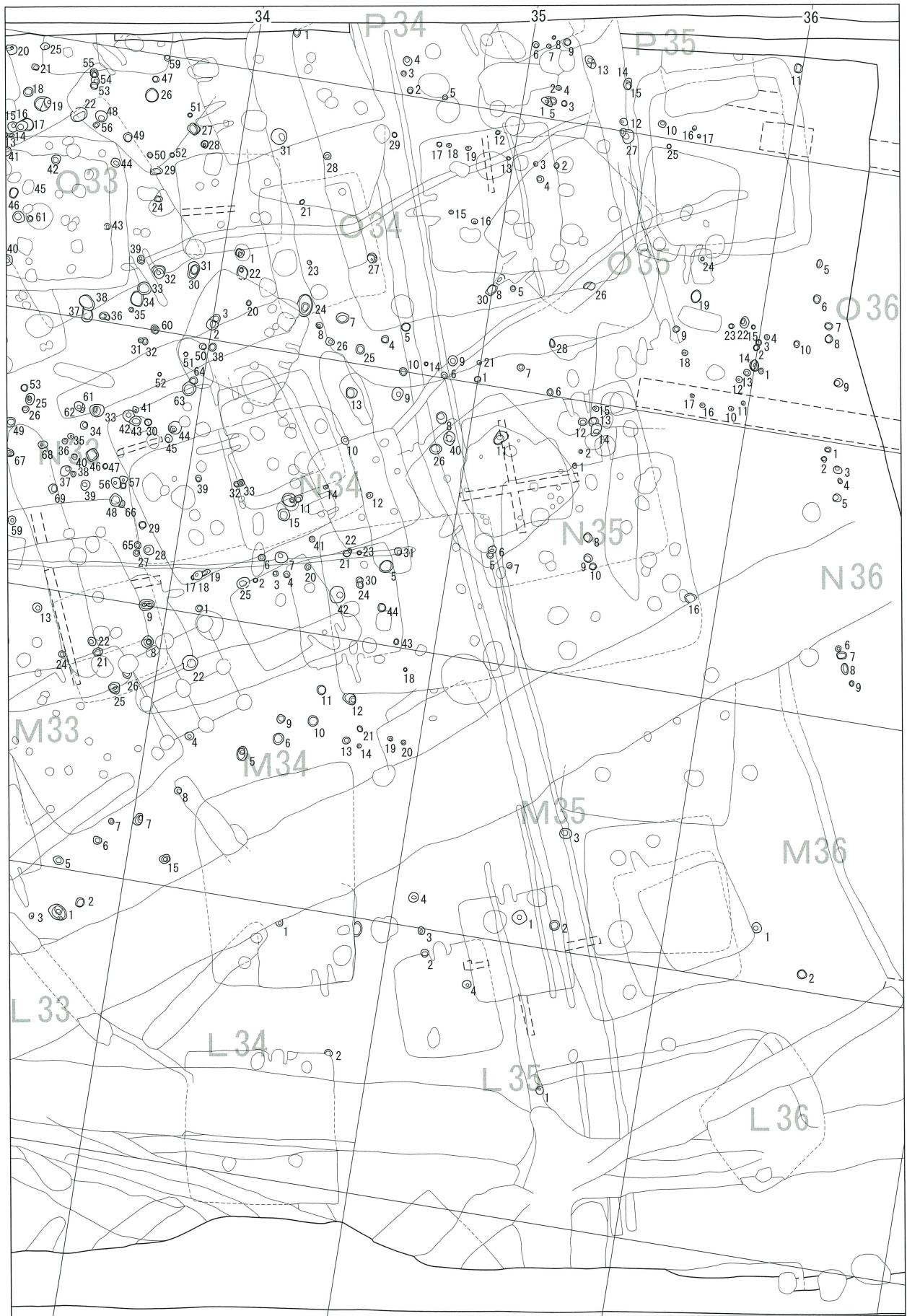
遺物が出土していないため、時期は不明である。



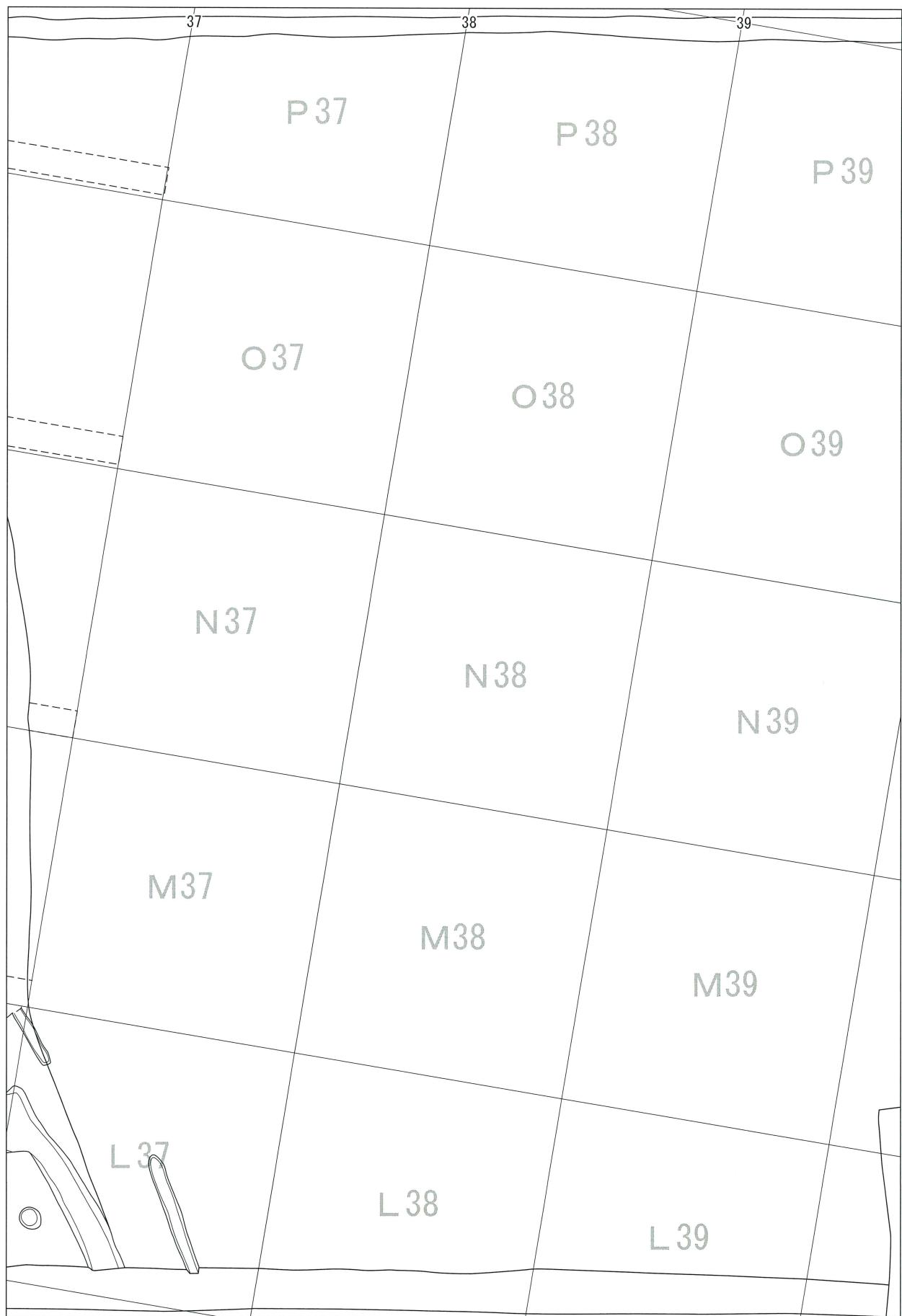
第282図 ピット全体図 (1)



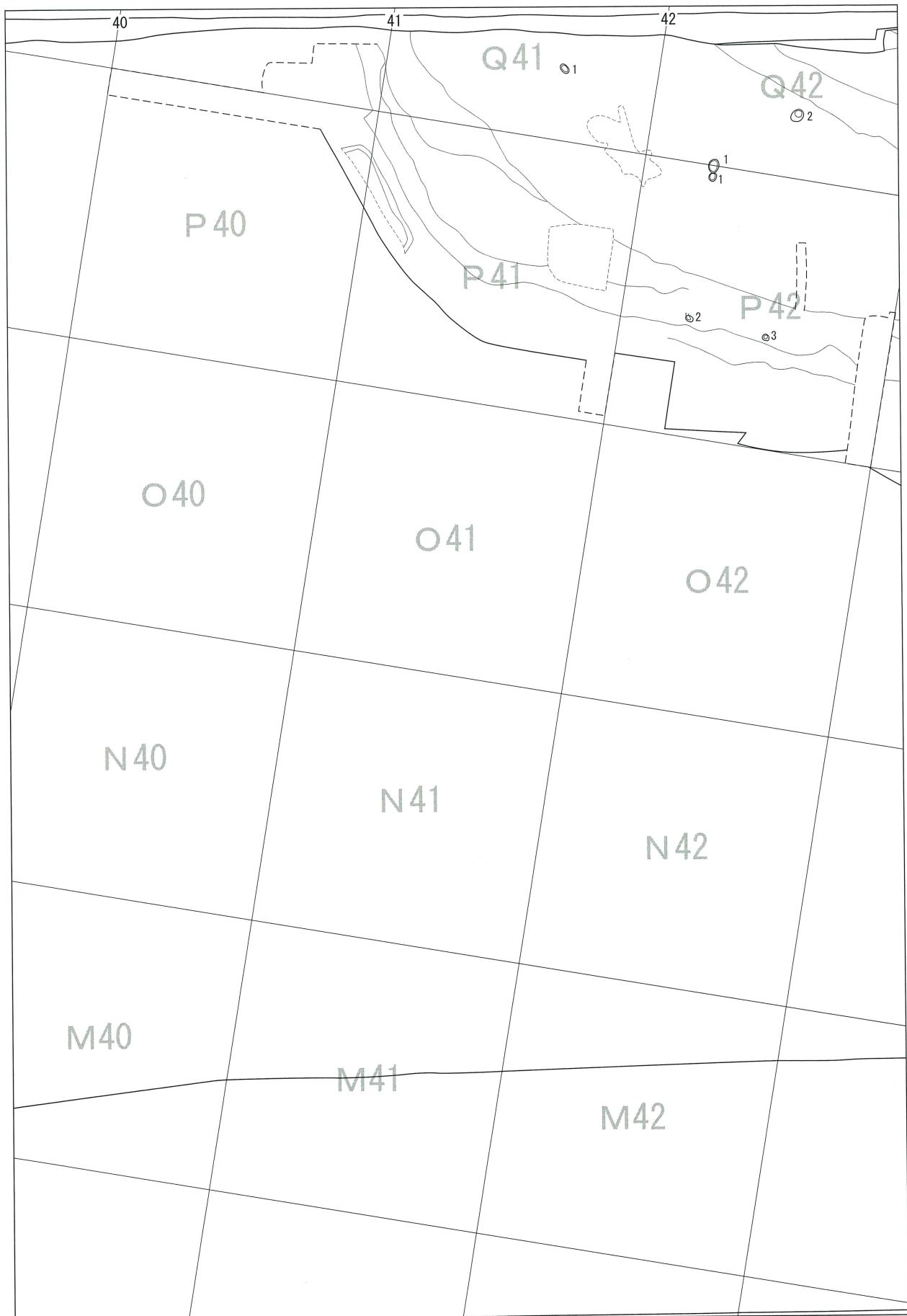
第283図 ピット全体図 (2)



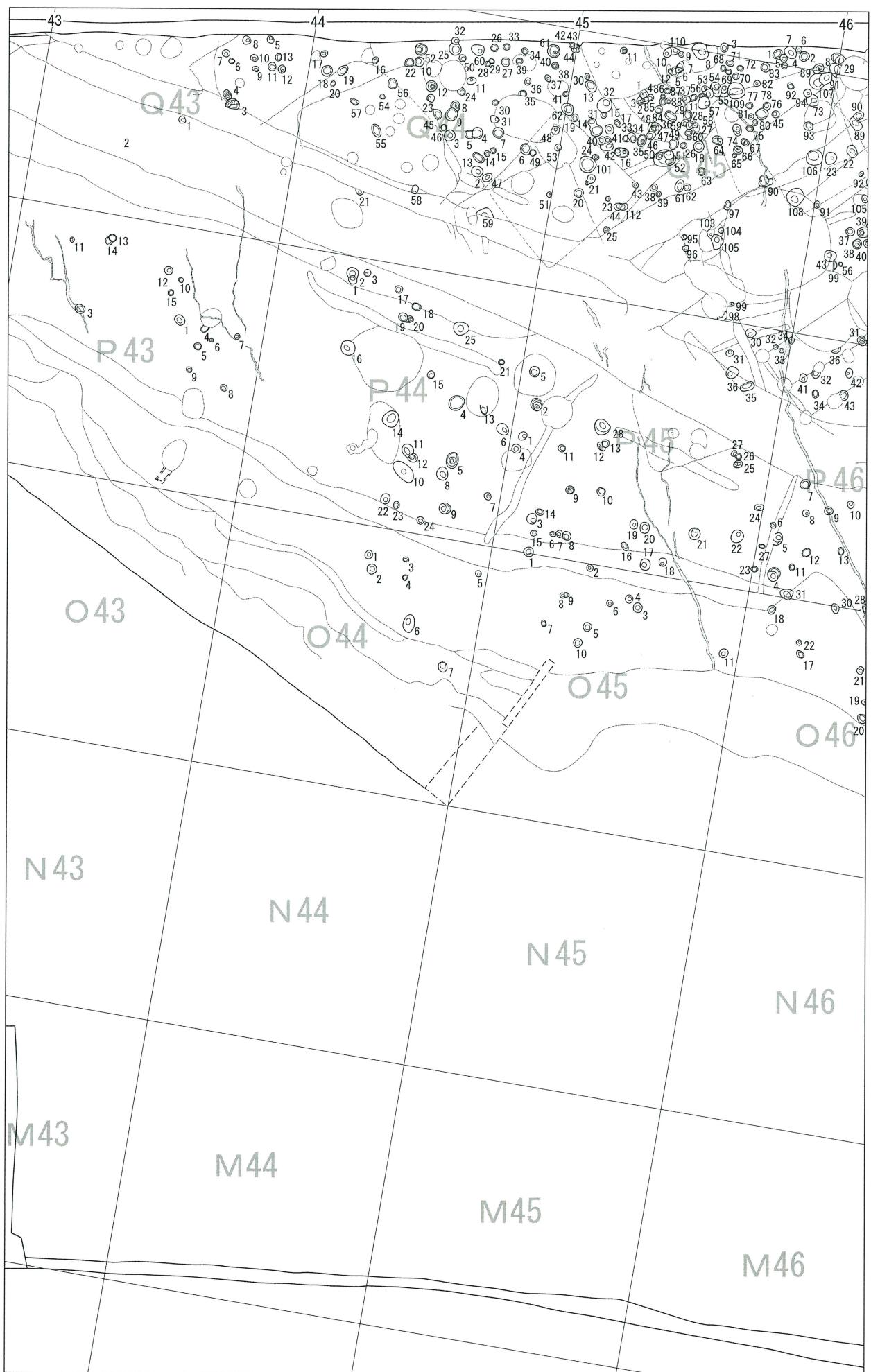
第284図 ピット全体図 (3)



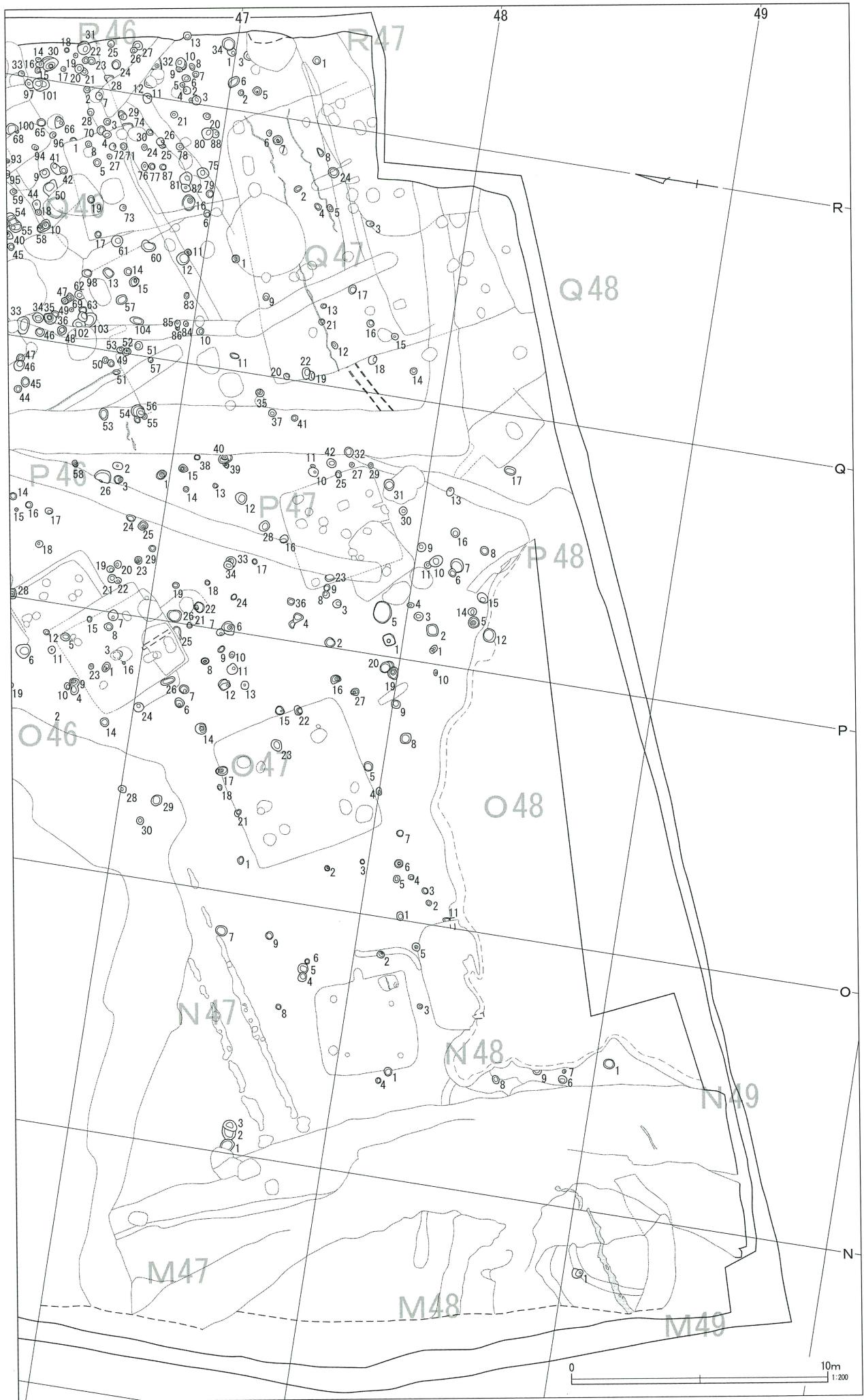
第285図 ピット全体図 (4)



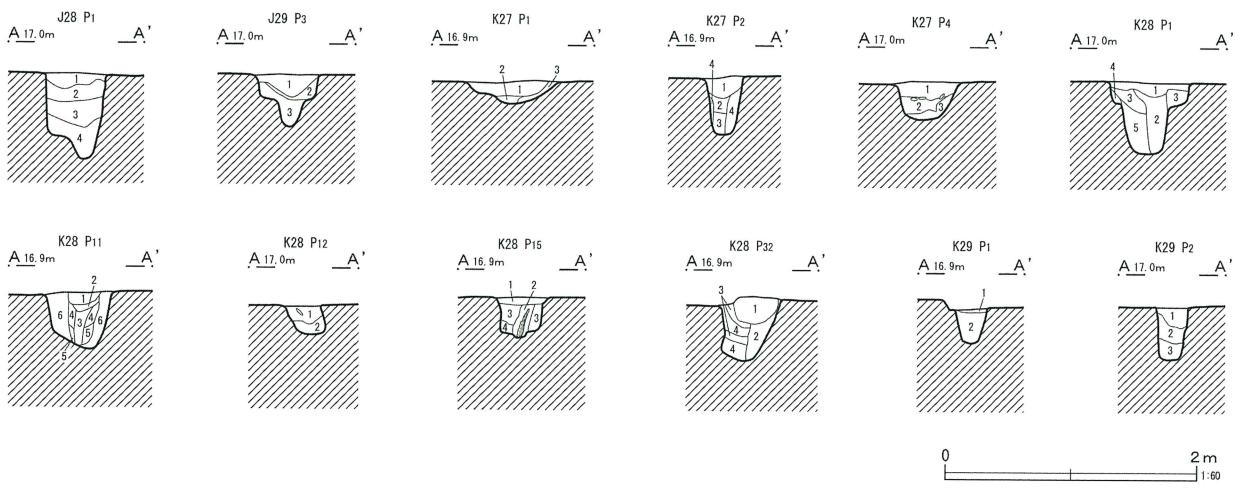
第286図 ピット全体図 (5)



第287図 ピット全体図 (6)



第288図 ピット全体図 (7)



J28 P1

- 1 黒褐色土 10YR3/2 焼土粒子（ $\phi 5\text{mm}$ ）・褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性なし
 2 黒褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）少量 しまりあり 粘性ややあり
 3 褐灰色土 10YR4/1 灰色粘土含む しまりなし 粘性あり
 4 褐灰色土 10YR4/1 灰色粘土を主体とする層 しまりなし 粘性あり

J29 P3

- 1 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色のしまりのある土主体 炭化物少量 しまりあり 粘性なし
 2 黒色土 10YR2/1 炭化物多量 しまり・粘性ややあり
 3 黑褐色土 10YR3/1 暗灰色の粘質土主体 暗褐色土粒子（ $\phi 1\text{mm}$ ）含む しまりなし 粘性あり

K27 P1

- 1 黒褐色土 10YR3/1 しまりのある黒褐色土主体 灰色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）・焼土粒子（ $\phi 3\text{mm}$ ）微量 しまりあり 粘性なし
 2 灰黄褐色土 10YR4/2 黄褐色土ブロック主体の層 灰色の土少量 しまりあり 粘性ややあり
 3 褐灰色土 10YR4/1 粘性のややある灰色土主体 黄褐色土ブロック（ $\phi 15\text{mm}$ ）少量 しまりあり 粘性ややあり

K27 P2

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 黄褐色土ブロック（ $\phi 5\sim 10\text{mm}$ ）・黄褐色土粒子（ 1mm ）少量 しまりあり 粘性なし
 2 褐灰色土 10YR4/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）少量 暗灰色のややねばりのある土主体 しまりあり 粘性ややあり
 3 褐灰色土 10YR4/1 ややしまりのある暗灰色粘土の土主体 烧土粒子（ $\phi 3\text{mm}$ ）微量 しまりなし 粘性ややあり
 4 褐灰色土 10YR4/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\sim 15\text{mm}$ ）少量 炭化物微量 しまり・粘性あり

K27 P4

- 1 褐灰色土 10YR4/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）少量 烧土粒子（ $\phi 5\text{mm}$ ）微量 しまりあり 粘性なし
 2 褐灰色土 10YR4/1 しまりのある暗灰色土主体 しまりあり 粘性ややあり
 3 黑褐色土 10YR3/1 灰色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性ややあり

K28 P1

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 黄褐色土ブロック（ $\phi 20\text{mm}$ ）少量 しまりあり 粘性なし
 2 褐灰色土 10YR4/1 灰色粘質土主体 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）少量 しまりややあり 粘性あり
 3 灰黄褐色土 10YR4/2 灰色土ブロック（ $\phi 20\sim 30\text{mm}$ ）多量 しまりややあり 粘性あり
 4 褐灰色土 10YR5/1 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）多量 しまりあり 粘性なし
 5 灰黄褐色土 10YR4/2 灰色土ブロック（ $\phi 20\sim 30\text{mm}$ ）・粘性のある灰色土多量 しまりややあり 粘性あり

K28 P11

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 暗灰色粘土少量 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）多量 しまり・粘性ややあり
 2 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色の粘質土の層 しまりややあり 粘性あり
 3 褐灰色土 10YR4/1 ややしまりのある暗灰色の粘質土主体 烧土粒子（ $\phi 3\text{mm}$ ）微量 しまりなし 粘性ややあり（柱痕）
 4 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色の粘質土主体 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\sim 15\text{mm}$ ）少量 炭化物微量 しまり・粘性あり
 5 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色の粘質土主体 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\sim 15\text{mm}$ ）含む しまり・粘性あり

K28 P12

- 1 褐灰色土 10YR4/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）少量 烧土粒子（ $\phi 5\text{mm}$ ）微量 しまりあり 粘性なし
 2 褐灰色土 10YR4/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性ややあり

K28 P15

- 1 褐灰色土 10YR4/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）少量 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）多量 しまりあり 粘性なし
 2 灰色土 N4/0 暗灰色の粘質土主体 黄褐色土ブロック（ $\phi 5\sim 7\text{mm}$ ）少量 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）含む 柱材が一部残る しまりややあり 粘性あり
 3 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 5\text{mm}$ ）少量 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）多量 しまりあり 粘性ややあり
 4 灰色土 N4/0 暗灰色粘土主体 しまりなし 粘性あり

K28 P32

- 1 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色土（ややしまりのある）主体 烧土粒子（ $\phi 3\text{mm}$ ）・炭化物・黄褐色土ブロック（ $\phi 7\sim 10\text{mm}$ ）微量 しまりあり 粘性なし
 2 褐灰色土 10YR4/1 粘性のある灰色土・黄褐色土ブロック間に含む しまりややあり 粘性なし
 3 灰黄褐色土 10YR4/2 黄褐色土ブロック（ $\phi 5\sim 20\text{mm}$ ）多量 しまりのある暗灰色土少量 しまりあり 粘性なし
 4 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色土（やや粘性のある）主体 黄褐色土粒子（ $\phi 3\sim 5\text{mm}$ ）少量 しまり・粘性ややあり

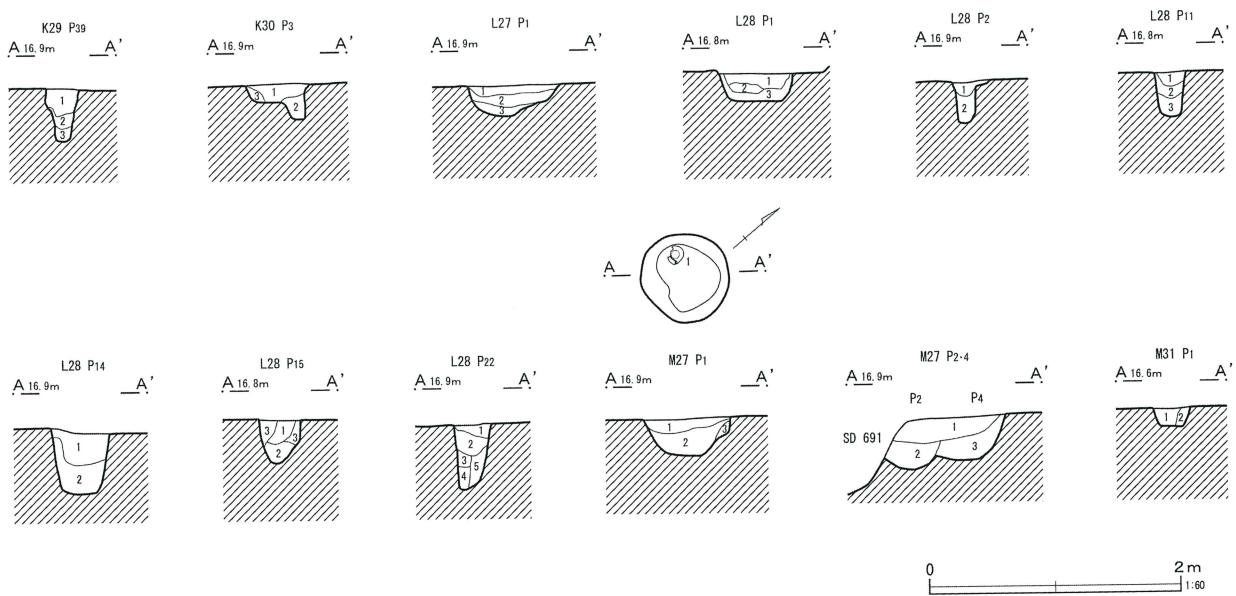
K29 P1

- 1 褐灰色土 10YR4/1 黑褐色のしまりのある土主体 しまりあり 粘性ややあり
 2 灰黄褐色土 10YR4/2 黄褐色土ブロック（ $\phi 5\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性ややあり

K29 P2

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 黄褐色土ブロック（ $\phi 20\sim 30\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性なし
 2 褐灰色土 10YR4/1 青灰色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）含む しまり・粘性ややあり
 3 褐灰色土 10YR5/1 青灰色粘土主体 褐色土粒子（ $\phi 1\text{mm}$ ）含む しまりややあり 粘性あり

第289図 ピット（1）



K29 P39

1 黒褐色土 10YR3/1 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）含む 焼土粒子・炭化物微量 しまりあり 粘性なし
2 黒褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 5\sim10\text{mm}$ ）含む しまりややあり 粘性あり
3 褐灰色土 10YR4/1 下部には粘性のある灰色粘土・上部には黄褐色土ブロック（ $\phi 5\text{mm}$ ）少量 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）含む しまりなし 粘性あり

K30 P3

1 褐灰色土 10YR4/1 しまりのある灰色土主体 黄褐色土粒子（ $\phi 2\sim7\text{mm}$ ）少量 しまりあり 粘性ややあり
2 黑褐色土 10YR3/1 粘性のややある灰色土主体 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）少量 しまりあり 粘性ややあり
3 灰黄褐色土 10YR4/2 粘性のある灰色土・黄褐色土ブロック含む しまりあり 粘性ややあり

L27 P1

1 褐灰色土 10YR5/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\sim20\text{mm}$ ）・褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性なし
2 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色のしまりのある土主体 黄褐色土ブロック（ $\phi 15\sim20\text{mm}$ ）少量 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性なし
3 褐灰色土 10YR4/1 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性ややあり

L28 P1

1 黒色土 5Y2/1 黄褐色土ブロック・炭化物含む
2 暗灰色土 N3/0 黄褐色土ブロック少量 炭化物含む
3 黒色土 10YR1.7/1 炭化物含む

L28 P2

1 褐灰色土 10YR4/1 黒褐色のしまりのある土主体 黄褐色土ブロック（ $\phi 5\text{mm}$ ）少量 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性なし
2 黑褐色土 10YR3/1 褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性ややあり

L28 P11

1 褐灰色土 10YR4/1 しまりのある暗灰色土主体 褐色土粒子（ $\phi 1\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性なし
2 灰黄褐色土 10YR5/2 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）多量 灰色粘土含む しまり・粘性ややあり
3 褐灰色土 10YR4/1 灰色粘土主体 青灰色粘土少量 しまりなし 粘性あり

L28 P14

1 褐灰色土 10YR4/1 しまりのある暗灰色土主体 褐色土粒子（ $\phi 1\text{mm}$ ）含む しまりあり 粘性なし
2 灰黄褐色土 10YR5/2 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）・灰色粘土多量 しまりややあり 粘性あり

L28 P15

1 褐灰色土 10YR4/1 しまりのある暗灰色土主体 灰色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）少量 炭化物微量 しまりあり 粘性ややあり
2 褐灰色土 10YR4/1 灰色粘土を主体とする層 しまりなし 粘性あり
3 灰黄褐色土 10YR5/2 しまりのある灰色土主体 黄褐色土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）多量 しまりあり 粘性なし

L28 P22

1 褐灰色土 10YR6/1 黄褐色粘土ブロック（ $\phi 2\sim3\text{mm}$ ）・焼土・炭化物少量
2 灰黄褐色土 10YR6/2 黄褐色粘土ブロック（ $\phi 2\sim3\text{mm}$ ）微量
3 褐灰色土 10YR4/1 黄灰色シルトブロック（ $\phi 2\sim3\text{mm}$ ）微量 粘性強い（柱痕）
4 黑褐色土 10YR3/1 黄灰色シルトブロック（ $\phi 2\sim3\text{mm}$ ）微量 粘性強い（柱痕）
5 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色粘土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）斑に含む（掘り方）

M27 P1

1 褐灰色土 10YR4/1 黄褐色土ブロック（ $\phi 1\sim10\text{mm}$ ）多量 マンガン含む
2 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック少量 炭化物含む
3 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック多量 炭化物含む

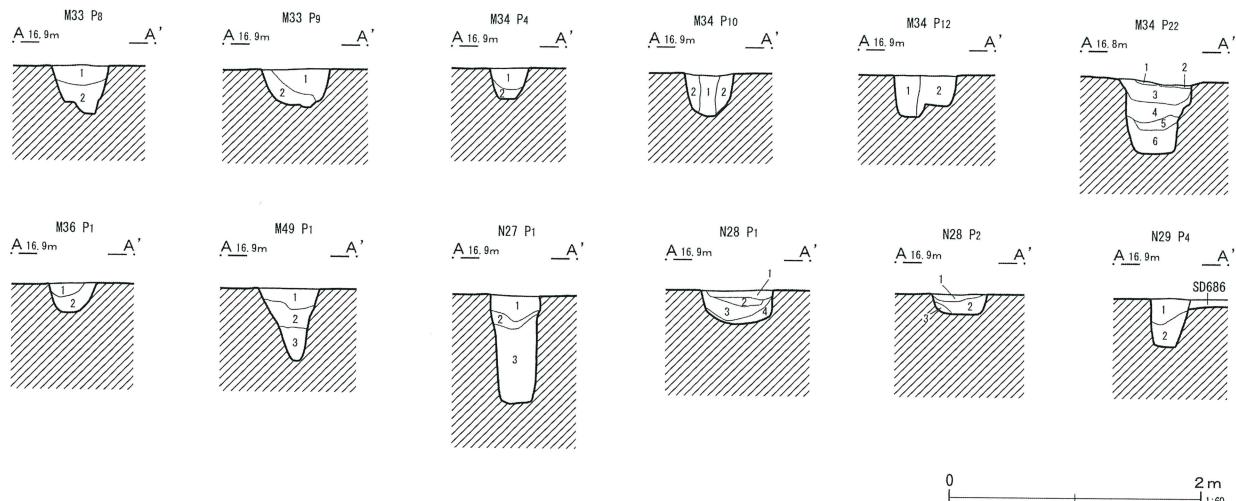
M27 P2-4

1 黑色土 10YR2/1 地山ブロック（ $\phi 1\sim40\text{mm}$ ）多量 烧土ブロック微量
炭化物含む
2 黑褐色土 2.5Y3/1 地山ブロック（ $\phi 1\sim30\text{mm}$ ）・炭化物含む
3 黑褐色土 10YR3/1 地山ブロック（ $\phi 1\sim20\text{mm}$ ）多量 烧土ブロック微量 炭化物含む

M31 P1

1 黑褐色土 10YR3/1 地山ブロック（ $\phi 2\sim5\text{mm}$ ）少量 酸化物微量 しまりあり 粘性強い
2 褐色土 10YR4/4 白灰色粘土ブロック（ $\phi 2\sim5\text{mm}$ ）少量 酸化物多量 しまり・粘性あり

第290図 ピット (2)



M33 P8		M33 P9		M34 P4		M34 P10		M34 P12		M34 P22	
A 16.9m	— A'	A 16.9m	— A'	A 16.9m	— A'	A 16.9m	— A'	A 16.9m	— A'	A 16.8m	— A'
1 黒褐色土 2 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土 3 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土 3 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土 3 黒褐色土 4 黒褐色土 5 黒褐色土 6 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土 3 黒褐色土 4 黒褐色土 5 黒褐色土 6 黒褐色土	1 黒褐色土 2 黒褐色土 3 黒褐色土 4 黒褐色土 5 黒褐色土 6 黒褐色土
10YR3/1 10YR2/2	10YR3/1 10YR2/2	10YR3/1 10YR2/2	10YR3/1 10YR2/2	10YR3/1 10YR2/2	10YR3/1 10YR2/2	10YR3/1 10YR2/2	10YR3/1 10YR2/2	10YR3/1 10YR2/2	10YR4/1 10YR3/2	10YR4/1 10YR3/2	10YR4/1 10YR3/2
黄褐色土粒子(φ1~2mm)・焼土粒子(φ1~2mm)・炭化物粒子(φ1~2mm) 少量 黄褐色土粒子(φ1~2mm)・黄褐色土ブロック(φ3~5mm) 少量 焼土粒子(φ1~2mm) 微量	黄褐色土粒子(φ1~2mm)・焼土粒子(φ1~2mm)・炭化物粒子(φ1~2mm) 少量 黄褐色土粒子(φ1~2mm)・黄褐色土ブロック(φ3~5mm) 少量	黄褐色土粒子(φ1~2mm)・焼土粒子(φ1~2mm)・炭化物粒子(φ1~2mm) 少量 黄褐色土粒子(φ1~2mm)・黄褐色土ブロック(φ3~5mm) 少量	黄褐色土粒子(φ1~3mm)・炭化物粒子(φ1~3mm) 少量 黄褐色土ブロック(φ5~10mm) 多量	黄褐色土粒子(φ1~2mm)・黄褐色土ブロック(φ3~10mm) 多量(柱痕) 鐵分少量 黃褐色土粒子(φ1~2mm) 微量	黄褐色土粒子(φ3~10mm) 少量 黄褐色土ブロック(φ3~20mm) 多量 黃褐色土粒子(φ1~2mm) ・炭化物粒子(φ1~2mm) 微量	燒土粒子(φ1~2mm) 少量 黄褐色土ブロック(φ2~5mm) 少量	燒土ブロック微量 マンガン含む 砂粒多量 マンガン多量 炭化物含む	燒土ブロック(φ1~5mm) ・マンガン・炭化物含む 地山ブロック(φ1~10mm) 少量 炭化物多量 地山ブロック(φ1~10mm) 含む 燃土ブロック微量 砂粒子多量 炭化物・マンガン含む	地山ブロック(φ1~40mm) マンガン 地山ブロック(φ1~40mm) マンガン	ローム粒子(φ1~5mm) 少量 しまり・粘性あり ロームブロック(φ1~10mm) 多量 しまり・粘性あり	ローム粒子(φ1~5mm) 少量 しまり・粘性あり ロームブロック(φ1~10mm) 多量 しまり・粘性あり

第291図 ピット (3)

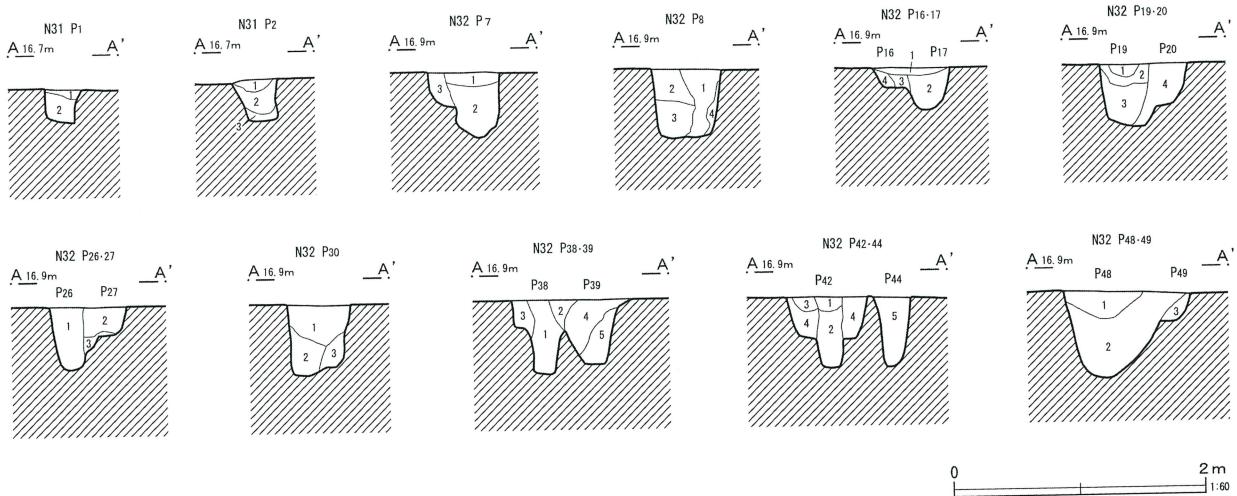
7. ピット

住居跡や掘立柱建物跡などに伴わない単独の小ピットを本項でまとめて報告する。ピットは、数が多くいためグリッド毎に1から通し番号を付けて調査を行った。本書で報告する調査区内からは、総数1,601基のピットを検出した。下田町遺跡は、狭い自然堤防上に弥生時代から中世まで集落を形成しているため、遺構の重複が著しく、調査時において建物跡と認識することは困難であった。柱材や礎石を伴うピットも数多く検出されていることから、多くの建物跡の存在が伺われる。各時期にどれだけの建物跡が存在していたかを復元することは難しい。

ピットの時期は、古墳時代後期、平安時代、中世のものが多く、古墳時代前期の可能性があるピットも僅かながら検出されている。

調査時に土坑などの別遺構として調査した遺構が、報告書作成の過程において、形態や規模などからピットへ変更したものも多くある。各ピットの位置・規模・出土遺物などについてのデータは第21~31表に一覧表を掲載しているので、そちらを参照していただきたい。

ピットに関する図面はまとめて第289~305図に掲載した。遺物が出土したピットなどについては個別



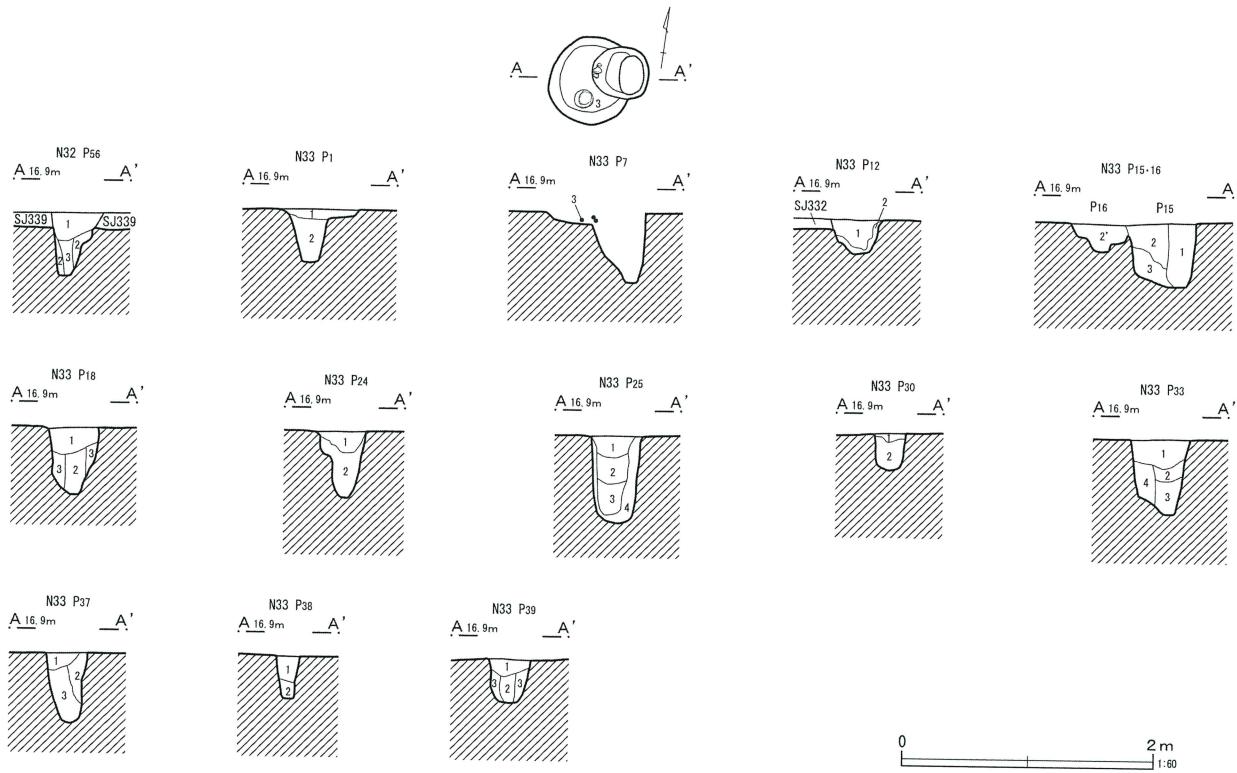
N31 P1 1 褐灰色土 10YR4/1 焼土微量 炭化物含む 2 暗灰黄色土 2.5Y5/2 炭化物・酸化鉄含む	N32 P26-27 1 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子(φ1~10mm)均等に少量 2 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土ブロック(φ1~10mm)含む 3 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土ブロック(φ1~10mm)含む
N31 P2 1 暗灰黄色土 2.5Y4/2 黄褐色土ブロック(φ1~10mm)含む 焼土ブロック微量 2 黒色土 10YR2/1 黄褐色土ブロック(φ1~10mm)含む 焼土ブロック微量 3 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色土ブロック(φ1~10mm)含む	N32 P30 1 黒褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子(φ1~10mm)・黄褐色土ブロック均等に多量 2 黑褐色土 10YR2/2 黄褐色土粒子(φ1~2mm)少量 炭化物ブロック(φ5mm)微量 3 黑褐色土 10YR2/2 黄褐色土ブロック少量 しまり・粘性あり
N32 P7 1 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック・黄褐色土粒子(φ1~5mm)均等に多量 2 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子(φ1~2mm)少量 炭化物ブロック(φ5mm)微量 3 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック少量 しまり・粘性あり	N32 P38-39 1 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子(φ1~5mm)・黄褐色土ブロック均等に多量 2 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子(φ1~3mm)少量 しまり・粘性あり 3 黑褐色土 10YR2/2 黄褐色土粒子(φ1~5mm)・黄褐色土ブロック少量 4 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子(φ1~3mm)少量 しまり・粘性あり
N32 P8 1 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子(φ1~5mm)・黄褐色土ブロック少 2 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック多量 しまり・粘性あり 3 黑褐色土 10YR2/2 黄褐色土粒子(φ1~5mm)微量 しまり・粘性あり 4 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子(φ1~3mm)少量 しまり・粘性あり	N32 P42-44 1 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色土ブロック多量 しまり・粘性あり 2 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子(φ1~5mm)・黄褐色土ブロック少 3 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子(φ1~5mm)少量 しまり・粘性あり 4 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子(φ1~5mm)・黄褐色土ブロック均等に多量 5 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子(φ1~10mm)少量 しまり・粘性あり
N32 P16-17 1 褐灰色土 10YR4/1 黄褐色土粒子(φ1~3mm)少 2 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子(φ1~5mm)・黄褐色土ブロック均等に含 3 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子(φ1~5mm)・黄褐色土ブロック多量 4 黄褐色土 10UR5/6 黄褐色土がブロック状に堆積する層 しまり・粘性あり	N32 P48-49 1 黑色土 10YR1.7/1 黄褐色土粒子(φ1~10mm)均等に少 2 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子(φ1~10mm)・黄褐色土ブロック均等に多量 3 にぶい黄褐色土 10YR6/4 黄褐色土ブロックを主体 しまりあり 粘性強い
N32 P19-20 1 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック集中的に多量 しまり・粘性あり 2 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子(φ1~5mm)部分的に微量 しまり・粘性あり 3 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子(φ3~10mm)少 4 黑褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子(φ3~10mm)均等に少 あり	

第292図 ピット (4)

に平面図を掲載したものがある。断面図については、調査時の計測値などのデータが残っているが、全てのピットを紙幅の都合上で掲載することができなかったので、柱材や柱材の痕跡を確認できたものなど、特徴があるピットについて掲載している。また、ピットの覆土については、調査を迅速におこなうために、単一の層であったものなどは、色調・混入物によってAからKの11種に大まかに分類したものを使

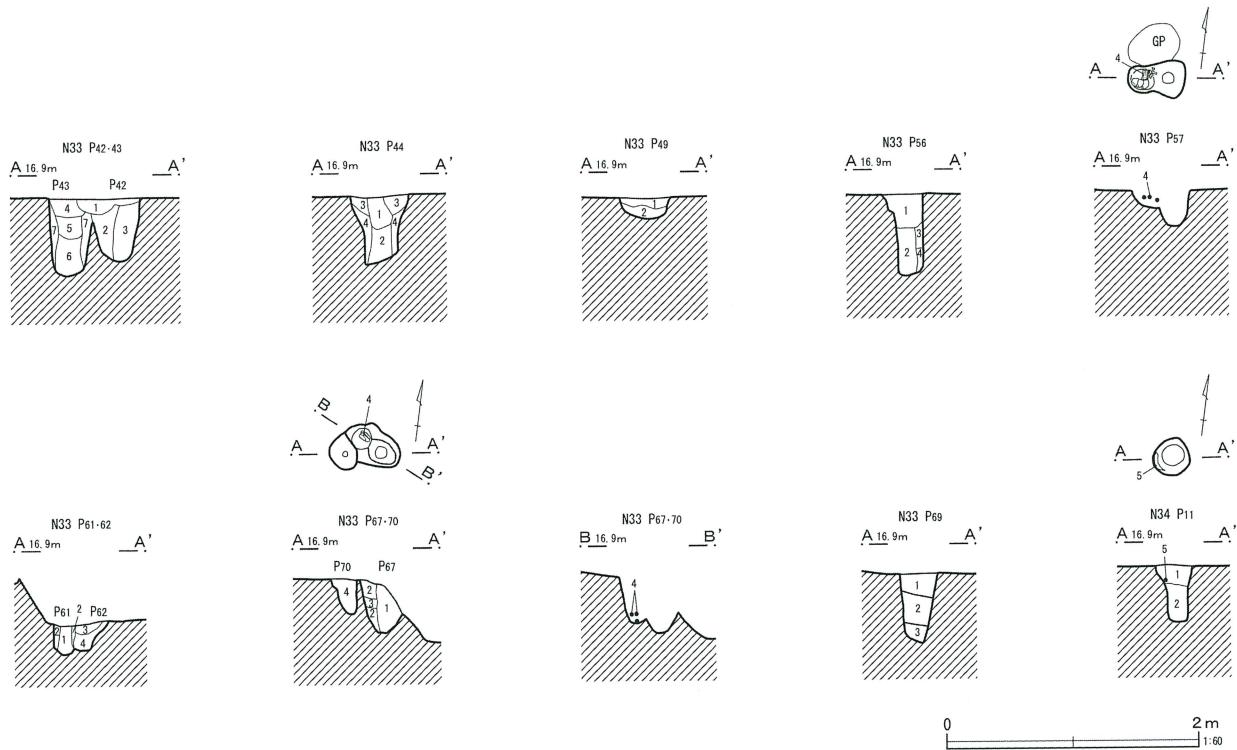
用した。Kとした灰色土の覆土をもつピットの大半は、中世の遺構である。それらの記録もあわせて一覧表に掲載している。

ピットから出土した遺物は一括して第306図に示した。遺物が出土したピットが少ないと、時期を特定できた遺構は多くなかった。また、遺物が出土したものについても、遺構の重複が著しいため、必ずしもその遺構に伴うものとは限らない。



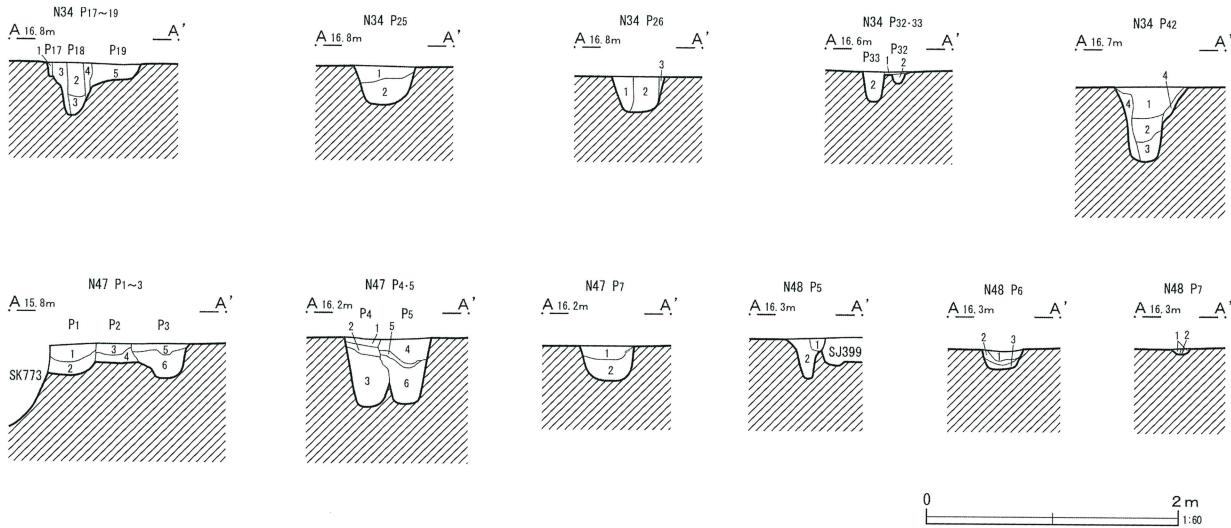
N32 P56	1 黒褐色土 10YR5/1	黄褐色ブロック ($\phi 0.5\sim10mm$) 少量・酸化鉄粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 多量・炭化物粒子 ($\phi 1\sim3mm$) 少量
2 黒褐色土 10YR5/1	黄褐色ブロック ($\phi 5\sim10mm$) 多量・酸化鉄粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 多量	
3 黒褐色土 10YR5/1	黄褐色ブロック ($\phi 0.5\sim10mm$) 少量・炭化物粒子 ($\phi 1\sim3mm$) 少量・酸化鉄粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 少量	
N33 P1	1 黒褐色土 10YR3/1	黄褐色土ブロック均等に多量 しまり・粘性あり
2 黒褐色土 10YR2/2	黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim5mm$) 多量 烧土粒子 ($\phi 1mm$) ・炭化物粒子 ($\phi 1mm$) 微量 しまり・粘性あり	
N33 P12	1 黒褐色土 2.5Y3/1	暗灰色シルト 黄褐色土粒子 ($\phi 2mm$) ・炭化物微量 しまりあり 粘性弱い
2 黒褐色土 2.5Y3/1	1層+黄褐色土ブロック ($\phi 20mm$) 多量	
N33 P15・P16	1 黒褐色土 10YR3/1	やや粘性のある暗灰色土 暗灰色シルト少量 しまりあり 粘性弱い
2 黒褐色土 10YR4/1	1層より明るい やや粘性のある褐灰色土 黄褐色土ブロック ($\phi 8\sim15mm$) 多量 明褐灰色シルト少量 しまりあり 粘性弱い	
2' 2層とほぼ同じ	黄褐色土ブロック ($\phi 8\sim15mm$) 含む 粘性なし ※シルトは含まず	
3 黄灰色土 2.5Y4/1	粘性のやや強い暗褐灰色土 黄褐色土粒子 ($\phi 8mm$) 底部に少量 しまりあり 粘性強い	
N33 P18	1 黒褐色土 2.5Y3/1	黒褐色のしまりある土 黄褐色土粒子 ($\phi 5mm$) 少量 しまりあり 粘性なし
2 黒褐色土 10YR4/1	暗灰色の粘質土 淡緑灰色土粒子 ($\phi 1mm$) 少量 しまりややあり 粘性やや強い (柱痕)	
3 1層と同じ+黄褐色土粒子 ($\phi 5mm$) 斑に含む (堀り方)		
N33 P24	1 黒褐色土 10YR4/1	しまりある暗茶褐色土 黄褐色土ブロック ($\phi 10mm$) 斑に含む 炭化物 ($0.5cm$ 角) 少量 しまりあり 粘性なし
2 黄灰色土 2.5Y4/1	暗灰色の粘質土 淡緑灰色土粒子 ($\phi 1\sim3mm$) 多量 しまりややあり 粘性強い	
N33 P25	1 暗褐色土 10YR4/2	暗褐色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック ($\phi 10mm$) 微量 しまりあり 粘性なし
2 黒褐色土 10YR4/1	暗灰色の粘質のある土主体 しまり・粘性ややあり	
3 黑褐色土 10YR4/1	暗灰色の粘土主体 しまりなし 粘性あり	
4 黑褐色土 10YR3/1	黑褐色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim20mm$) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり	
N33 P30	1 黒褐色土 2.5Y3/1	しまりある黒褐色土 炭化物粒子 ($\phi 3mm$) 斑に含む 灰少量 しまりあり 粘性なし
2 黒褐色土 10YR3/1	黒っぽい暗灰色のしまりある土 炭化物ブロック ($\phi 5\sim8mm$) 斑に含む 烧土粒子 ($\phi 2mm$) 少量 しまりあり 粘性なし	
N33 P33	1 黒褐色土 10YR3/1	黒っぽい暗茶褐色のしまりある土 黑褐色土少～中量 炭化物粒子 ($\phi 3mm$) 微量 しまりあり 粘性なし
2 黑褐色土 10YR4/1	暗褐灰色シルト しまり・粘性ややあり (柱痕)	
3 暗灰色土 N3/0	暗灰色の粘質土 しまりややあり 粘性強い (柱痕)	
4 黑褐色土 10YR4/1	暗褐灰色土のやや粘性のある土 黑褐色土粒子 ($\phi 5mm$) 少量 しまりあり 粘性ややあり	
N33 P37	1 黑褐色土 10YR3/2	暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック ($\phi 10mm$) 少量 層上部に炭少量 炭化物粒子 ($\phi 3mm$) 微量 しまりあり 粘性なし
2 黑褐色土 10YR4/1	暗褐灰色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック ($\phi 5\sim10mm$) 少量 しまりあり 粘性弱い	
3 黑褐色土 2.5Y3/1	暗灰色粘質土 黄褐色土ブロック ($\phi 5\sim20mm$) 多量 黄褐色土粒子 ($\phi 5mm$) 少量 しまりややあり 粘性弱い	
N33 P38	1 黑褐色土 10YR3/2	暗茶褐色のしまりある土主体 炭化物粒子 ($\phi 3mm$) 微量 しまりあり 粘性なし
2 黑褐色土 2.5Y3/1	暗灰色粘質土 黄褐色土粒子 ($\phi 5mm$) ・淡緑灰色土粒子 ($\phi 2mm$) 少量 しまりややあり 粘性あり	
N33 P39	1 黑褐色土 10YR3/2	暗茶褐色のしまりある土主体 炭化物粒子 ($\phi 3mm$) 微量 しまりあり 粘性なし
2 黑褐色土 10YR4/1	暗褐灰色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim20mm$) 多量 しまりあり 粘性なし	
3 黑褐色土 10YR4/1	暗褐灰色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック ($\phi 5\sim10mm$) 少量 しまりあり 粘性弱い	

第293図 ピット (5)



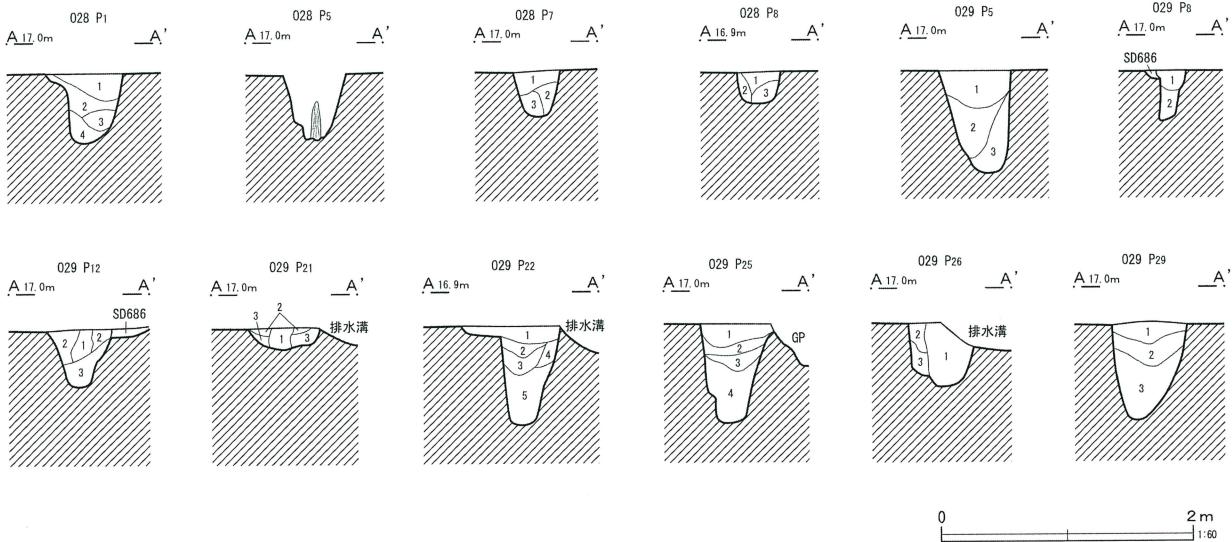
- N33 P42-43
1 褐灰色土 10YR4/1 暗褐色のしまりある土 褐色土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性なし
2 灰黃褐色土 10YR4/2 茶褐色のしまりある土 黄褐色土ブロック ($\phi 5\sim20\text{mm}$) 多量 灰色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性弱い (柱痕)
3 褐色土 10YR4/1 暗褐色のしまりある土 褐色土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 少量 烧土・炭化物微量 しまりあり 粘性なし
4 黒褐色土 10YR3/1 黒っぽい茶褐色のしまりある土 黄褐色土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性なし (柱痕)
5 黑褐色土 10YR3/1 黑っぽい茶褐色のしまりある土 黄褐色土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 少量 しまり・粘性ややあり (柱痕)
6 黑褐色土 10YR3/1 黑っぽい暗灰色土で粘性のある土 しまり弱い 粘性強い (柱痕)
7 褐灰色土 10YR4/1 しまりある暗灰色土 黄褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり (掘り方)
- N33 P44
1 黑褐色土 10YR3/1 黒っぽい暗灰色土でしまりある土 褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 斑に含む 烧土粒子 ($\phi 2\text{mm}$)・炭化物粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性ややあり (柱痕)
2 褐灰色土 10YR4/1 1層よりやや明るい暗灰色土でしまりある土 青褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性ややあり (柱痕)
3 褐灰色土 10YR4/1 褐灰色のしまりある土 黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性なし (掘り方)
4 褐灰色土 10YR4/1 褐灰色のしまりある土 しまりあり 粘性なし (掘り方)
- N33 P49
1 黑褐色土 10YR3/1 暗灰色のしまりある土主体 しまりあり 粘性なし
2 褐灰色土 10YR4/1 褐灰色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim20\text{mm}$) 多量 しまりあり 粘性なし
- N33 P56
1 暗茶褐灰色土 10YR3/2 暗茶褐灰色の粘性のややある土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性ややあり
2 黑色土 10YR2/1 黒灰色のしまりのない土主体 黑灰色の灰多量 炭化物 (0.3cm角) 斑に含む 青褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 少量 粘性なし しまりあり (柱痕)
3 黑褐色土 10YR3/1 暗灰色のやや粘性のある土主体 青褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 斑に含む しまり・粘性ややあり
4 褐灰色土 10YR4/1 灰色のあまりしまりのないシルト質っぽい土主体 青褐色土ブロック ($\phi 10\sim20\text{mm}$) 多量 しまり弱い 粘性あり
- N33 P61-62
1 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色のやや粘性のある土主体 粘性のある灰色土ブロック ($\phi 10\sim15\text{mm}$) 斑に含む 黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim3\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり (柱痕)
2 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色のしまりある土主体 少し茶色がかった黄褐色土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 少~中量 しまりあり 粘性ややあり
3 黑褐色土 10YR3/1 黑褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 2\sim5\text{mm}$) 斑に含む 烧土ブロック ($\phi 5\text{mm}$)・炭化物 (0.5cm角) 少量 しまりあり 粘性ややあり
4 黑褐色土 10YR3/1 1層よりやや明るい感じの色 (暗灰色) の粘性のややある土主体 烧土粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 少量 黄褐色土粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 微量 しまり・粘性ややあり
- N33 P67-P70
1 黑褐色土 10YR3/1 黑褐色のしまりある粘質がかった土 灰褐色土粒子 ($\phi 3\sim5\text{mm}$) 少量 烧土粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり
2 褐灰色土 10YR4/1 黄褐色土粒子 ($\phi 5\sim8\text{mm}$) 斑に含む しまりあり 粘性なし
3 褐灰色土 10YR5/1 暗灰色土ブロック ($\phi 10\sim20\text{mm}$) 多量 (これが主体) 褐灰色のやや粘性のある土含む 灰色土斑に含む 粘性あり しまりややあり
4 黑色土 7.5YR1.7/1 ブロックを混入しない
- N33 P69
1 暗灰色土 10YR4/1 黒っぽい暗灰色のしまりある土主体 黄褐色土ローム粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 下層部に帶状に少量 しまりあり 粘性なし
2 暗灰色土 10YR4/1 暗灰色のしまりがあって粘性も少しある土主体 黄褐色土ロームブロック ($\phi 5\sim30\text{mm}$) 斑に含む しまりあり 粘性弱い
3 暗灰色土 10YR4/1 暗灰色のしまりがあって粘性も少しある土主体 黄褐色土ロームブロック ($\phi 10\sim20\text{mm}$) 多量 しまりあり 粘性ややあり
- N34 P11
1 黑褐色土 10YR3/2 暗灰色のしまりある土主体 しまりあり 粘性なし
2 黑色土 10YR2/1 黑褐色のやや粘性のある土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 少量

第294図 ピット (6)



N34 P17~19	
1 黒褐色土	10YR3/2 黒褐色のしまりある土 黄褐色土粒子（φ2~5mm）斑に含む 炭化物粒子（φ3mm）少量
2 灰黒褐色土	10YR4/2 灰黒褐色のやや粘性のある土 炭化物粒子（φ3mm）少量 烧土粒子（φ3mm）微量（柱痕）
3 褐灰色土	10YR4/1 褐灰色の粘性のある土 炭化物粒子（φ2mm）少量 炭化物粒子（φ3mm）微量
4 暗褐色土	10YR3/3 暗褐色のしまりある土 黄褐色土ブロック（φ3~5mm）多量 烧土ブロック（φ7~10mm）・炭化物ブロック（φ5mm）微量
5 暗褐色土	10YR3/3 暗褐色のしまりある土 黄褐色土ブロック（φ3~5mm）多量 烧土ブロック（φ7~10mm）少量 炭化物ブロック（φ5mm）微量
N34 P25	
1 黒褐色土	10YR3/1 黒褐色にちかい暗灰色のしまりある土 黄褐色土粒子（φ2~3mm）斑にふくむ しまりあり 粘性なし
2 黒色土	10YR2/1 黑褐色のしまりある土 青灰色土ブロック（φ20mm）・黄褐色土ブロック（φ5~10mm）中～多量 しまりあり 粘性ややあり
N34 P26	
1 黒色土	10YR2/1 黄褐色土粒子（φ1~5mm）・烧土粒子（φ1~2mm）少量 しまり・粘性あり
2 黒褐色土	10YR3/2 黄褐色土ブロック（φ1~5mm）均等に含む しまり・粘性あり
3 黑褐色土	10YR3/2 黄褐色土ブロック多量 しまり・粘性あり
N34 P32-33	
1 暗灰色土	10YR4/1 暗灰色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック（φ10mm）多量 しまりあり 粘性なし
2 暗褐色土	10YR4/1 暗灰色土粒子（φ2~5mm）少量 灰色土粒子（φ2~5mm）少量 しまり・粘性あり
N34 P42	
1 暗オリーブ褐色土	2.5Y3/3 暗オリーブ褐色のしまりある土 黄褐色土粒子（φ2mm）斑に含む 炭化物（2cm長）微量 しまりあり 粘性なし
2 暗灰色土	2.5Y3/2 暗灰色の粘質のある土 黄褐色土粒子（φ5mm）少量 しまりややあり 粘性やや強い
3 灰色土	N3/0 灰色粘質土 淡青灰色土粒子（φ2~5mm）斑に含む しまりなし 粘性強い
4 灰色土	2.5Y4/1 青灰色土ブロック（φ5~15mm）中～多量 灰色のしまりある土少～中量 しまりあり 粘性なし
N47 P1~3	
1 黑褐色土	2.5Y3/2 黒っぽい暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック（φ5~15mm）少～中量 しまりあり 粘性
2 暗青灰色土	5B4/1 青灰色粘質土主体 暗灰色粘土少量 しまりなし 粘性ややあり
3 黑褐色土	2.5Y3/2 黒っぽい暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック（φ20~50mm）斑に含む
4 暗青灰色土	5B4/1 青灰色粘質土主体 暗灰色粘土少量（3層よりやや少なめ） しまりなし 粘性ややあり
5 黑褐色土	2.5Y3/2 黑っぽい暗茶褐色のしまりある粘質土主体 黄褐色土粒子（φ1~10mm）斑に含む しまり・粘性ややあり
6 暗灰色土	N3/0 黑っぽい暗灰色粘質土主体 青灰色土粒子（φ2mm）斑に含む しまり・粘性ややあり
N47 P4-5	
1 黑褐色土	2.5Y3/2 黄褐色土粒子（φ2mm）少～中量 しまりあり 粘性弱い
2 黑褐色土	2.5Y3/2 黄褐色土ブロック（φ3~5mm）多量 しまりあり 粘性ややあり
3 暗青灰色土	5B3/1 暗青灰色粘質土主体 暗青灰色シルト・炭化物粒子（φ2mm）少量 しまりなし 粘性あり
4 黑褐色土	2.5Y3/2 黄褐色土ブロック（φ5~20mm）中～多量 烧土ブロック（φ5mm）微量 しまりあり 粘性ややあり
5 暗オリーブ褐色土	2.5Y3/3 暗茶褐色シルト多量 炭化物ブロック（φ5mm）・烧土ブロック（φ5mm）・暗茶褐色粘質土少量 しまりややあり 粘性あり
6 暗青灰色土	5B4/1 暗青灰色粘土主体 暗青灰色シルト少量 しまりなし 粘性あり
N47 P7	
1 暗灰黃土	2.5Y4/2 黄褐色土ブロック（φ0.5~30mm）少量 しまりあり 粘性ややあり
2 暗灰色土	N3/0 暗灰色土粘質土主体 青灰色シルト（φ1~15mm）斑に含む しまり・粘性ややあり
3 黑褐色土	2.5Y3/2 黄褐色土粒子（φ5mm）斑に含む 炭化物ブロック（φ5mm）微量 しまりあり 粘性ややあり
N48 P5	
1 黑褐色土	2.5Y3/2 暗茶褐色のしまりある土 黄褐色土粒子（φ2mm）微量 しまりあり 粘性なし
2 黑褐色土	2.5Y3/2 1層より少し明るい茶褐色のしまりある土 黄褐色土ブロック（φ2~10mm）多量 しまりあり 粘性なし
N48 P6	
1 黑褐色土	7.5Y3/1 黄褐色土粒子（φ1~5mm）少量 しまり・粘性あり
2 黑色土	7.5Y3/1 粘質土 绿灰色土粒子（φ1~3mm）少量 しまりあり 粘性強い
3 黑色土	7.5Y2/1 粘質土 炭化物粒子（φ1~2mm）多量 绿灰色土粒子（φ1~2mm）少量 しまりあり 粘性強い
N48 P7	
1 黑褐色土	2.5Y3/2 黄褐色土粒子（φ1~2mm）少量 しまり・粘性あり
2 オリーブ黑色土	7.5Y2/2 黄褐色土粒子（φ1~2mm）・炭化物粒子（φ1~2mm）微量 しまり・粘性あり

第295図 ピット (7)



028 P1	10YR4/2	黄灰色粘土ブロック ($\phi 3\sim5mm$) まばら
1	灰黄褐色土	10YR4/2 黄灰色粘土ブロック ($\phi 10mm$) 多量 (埋戻し)
2	灰黄褐色土	10YR4/2 黄灰色粘土ブロック ($\phi 20mm$) 多量
3	灰黄褐色土	10YR4/2 黄灰色粘土ブロック ($\phi 10mm$) 少量
4	黒褐色土	10YR4/2 黄灰色粘土ブロック ($\phi 10mm$) 少量
028 P7	10YR4/1	焼土ブロック少量 マンガン多量 炭化物含む
1	褐灰色土	10YR4/2 地山ブロック多量 炭化物含む
2	灰黄褐色土	10YR2/2 地山ブロック多量 焼土ブロック少量
028 P8	10YR3/2	地山ブロック ($\phi 1\sim5mm$) ・炭化物・マンガン含む
1	黒褐色土	10YR3/2 地山ブロック ($\phi 1\sim30mm$) 多量 炭化物少量
2	黒褐色土	10YR3/1 地山ブロック ($\phi 1\sim20mm$) 多量 炭化物少量
029 P5	10YR3/2	黄褐色粘土ブロック ($\phi 3\sim5mm$) 多量
1	黒褐色土	10YR4/2 黄褐色粘土ブロック ($\phi 3\sim5mm$) 斑
2	褐灰色土	10YR4/1 黄褐色粘土ブロック ($\phi 8mm$)との混土層
029 P8	10YR4/1	ローム粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 少量 しまり・粘性あり
1	褐灰色土	10YR3/1 ローム粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 微量 しまりあり 粘性強い
029 P12	10YR4/1	ローム粒子 ($\phi 1\sim5mm$) ・ロームブロック含む しまり・粘性あり
1	褐灰色土	10YR4/1 ローム粒子 ($\phi 1\sim5mm$) 少量 炭化物粒子 ($\phi 1\sim2mm$) 微量 しまり・粘性あり
2	褐灰色土	10YR3/2 ローム粒子 ($\phi 1\sim5mm$) ・ロームブロック少量 炭化物粒子 ($\phi 1mm$) 微量 しまりあり 粘性強い

029 P21	10YR6/2	地山ブロック ($\phi 1\sim10mm$) ・炭化物含む
1	灰黄褐色土	10YR6/1 地山ブロック ($\phi 1\sim30mm$) 多量
2	褐色土	10YR5/1 地山ブロック ($\phi 1\sim30mm$) ・炭化物・マンガン含む
029 P22	10YR5/1	地山ブロック ($\phi 1\sim10mm$) ・炭化物・マンガン含む
1	黄灰色土	2.5Y5/1 地山ブロック ($\phi 1\sim5mm$) ・炭化物含む
2	褐灰色土	10YR6/1 地山ブロック ($\phi 1\sim5mm$) ・炭化物含む
3	黒色土	2.5Y2/1 地山ブロック 少量 炭化物微量
4	黒褐色土	10YR3/1 地山ブロック ($\phi 1\sim30mm$) ・炭化物含む
5	黑色土	N2/0 地山ブロック 少量 粘性強い
029 P25	10YR5/1	地山ブロック ($\phi 1\sim5mm$) ・炭化物含む マンガン多量
1	褐灰色土	10YR5/3 地山ブロック ($\phi 1\sim5mm$) 少量 炭化物含む
2	にぶい黄褐色土	10YR4/2 地山ブロック ($\phi 1\sim30mm$) 少量
3	灰黄褐色土	2.5Y3/1 地山ブロック ($\phi 1\sim5mm$) 少量 粘性強い
029 P26	10YR3/1	地山ブロック ・焼土ブロック微量 炭化物含む
1	黒褐色土	10YR4/1 地山ブロック ($\phi 1\sim20mm$) 多量 炭化物含む
2	褐灰色土	2.5Y3/1 地山ブロック ($\phi 1\sim5mm$) 含む
029 P29	10Y5/1	地山ブロック ($\phi 1\sim5mm$) ・マンガン含む
1	灰色土	10YR5/1 地山ブロック ($\phi 1\sim20mm$) 多量 マンガン含む
2	褐灰色土	10YR2/1 地山ブロック ($\phi 1\sim20mm$) 少量

第296図 ピット (8)

1は、M27グリッドのピット1から出土したかわらけの皿である。底部には回転糸切り痕が認められる。

2は、O32グリッドのピット9から出土した用途不明の鉄製品である。板状の形状を呈し、全体が残存していない。

3は、N33グリッドのピット7から出土した。ほぼ完形の土師器の模倣品である。

4は、N33グリッドのピット56・67から出土した破片が接合したものである。須恵器の壊で、底部に回転糸切り痕が認められる。胎土には白色針状物質

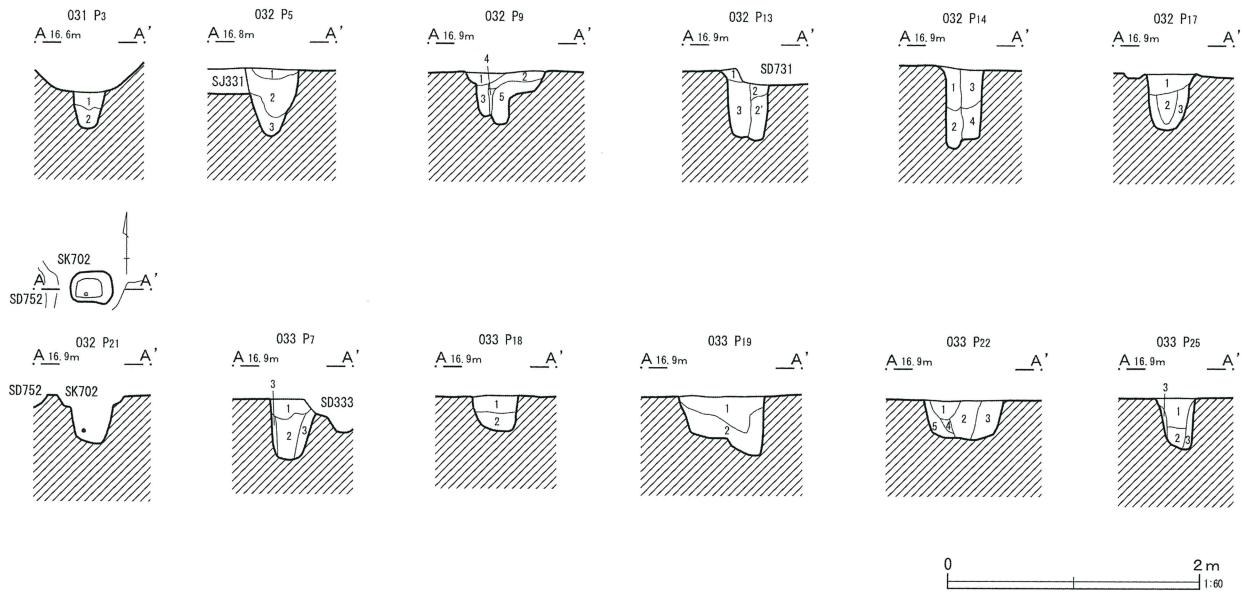
を含む。

5は、N34グリッドのピット11から出土した土師器甕である。

6は、O35グリッドのピット27から出土した土師器の模倣品である。

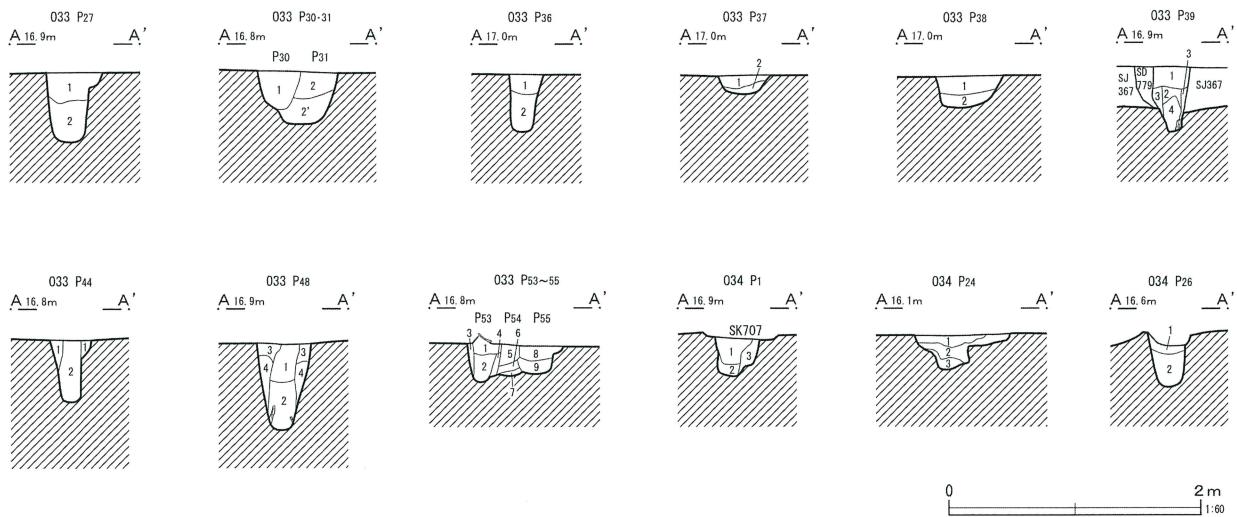
7は、P44グリッドのピット10から出土した土師器の模倣品である。

8は、P46グリッドのピット14から出土した吉ヶ谷式の甕で、底部を欠損している。外面には5段の輪積み痕を残している。口縁端部には小口状工具による刻み目が施される。



031 P3							
1 黒褐色土	7.5YR3/1	暗茶色がかった黒褐色の粘性のややある土	黄褐色土ブロック ($\phi 8\text{mm}$) 少量	しまりあり	粘性ややあり		
2 褐灰色土	10YR5/1	黄褐色土ブロック主体	灰色粘質土斑に含む	しまり弱い	粘性ややあり		
032 P5							
1 黒褐色土	10Y3/2	黄褐色土ブロック多く含む	しまりあり・粘性強い				
2 黒褐色土	10Y3/1	黄褐色土ブロック少量	炭化物 ($\phi 1\text{mm}$) 少量	しまりあり・粘性あり			
3 黒褐色土	10Y3/1	黄褐色土ブロック多く含む	しまりあり・粘性あり				
032 P9							
1 褐灰色土	10YR5/1	黄褐色土ブロック ($\phi 5\sim 10\text{mm}$) 中～多量	灰色粘土少量	しまりあり	粘性なし		
2 褐灰色土	10YR5/1	暗茶褐色のしまりある土主体	しまりあり	粘性なし			
3 黒褐色土	10YR3/2	暗黒茶褐色のシルト質土主体	黄褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 少量	しまり・粘性あり			
4 黒褐色土	10YR4/1	暗褐灰色シルト質土主体	褐灰色土ブロック ($\phi 5\sim 8\text{mm}$) 多量	しまりあり	粘性ややあり		
5 黒褐色土	10YR4/1	暗灰色粘土・暗褐色シルト多量	しまり・粘性あり				
032 P13							
1 灰黄褐色土	10YR4/2	褐灰色のしまりある土	しまりあり	粘性なし			
2 黒褐色土	10YR3/1	暗褐灰色のしまりある土	黄褐色土ブロック ($\phi 20\text{mm}$) 底部に少～中量	しまりあり	粘性ややあり		
2' 黒褐色土	10YR3/1	暗褐灰色のしまりある土	黄褐色土ブロック ($\phi 20\text{mm}$) 中～多量	しまりあり	粘性ややあり		
3 黑褐色土	10YR3/1	暗褐灰色粘質土	しまりあり	粘性やや強い			
032 P14							
1 黑褐色土	10YR3/1	灰色がかった黒褐色のしまりある土	黄褐色土ブロック ($\phi 20\sim 30\text{mm}$) 斑に含む	しまりあり	粘性なし		
2 黑褐色土	10YR3/1	暗灰色 (黒っぽい) の粘質土	しまりややあり	粘性強い			
3 黑褐色土	10YR3/1	1層と同じ土	黄褐色土ブロック ($\phi 20\sim 30\text{mm}$) 層中部に少量	しまりあり	粘性ややあり		
4 黑褐色土	10YR3/1	2層と同じ土	黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 少量	しまりややあり	粘性強い		
032 P17							
1 褐灰色土	10YR4/1	暗茶褐色のしまりある土	暗黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 中～多量	しまりあり	粘性なし		
2 黑褐色土	10YR3/1	黒っぽい暗茶褐色のしまりある土	黄褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 斑に含む	しまりあり	粘性弱い (柱痕)		
3 黑褐色土	10YR3/1	黒っぽい暗茶褐色のしまりある土	しまりあり	粘性なし	(掘り方)		
033 P7							
1 褐灰色土	10YR4/1	暗褐灰色のしまりある土	黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 少～中量	しまりあり	粘性なし		
2 黑褐色土	10YR3/1	黒っぽい暗灰色で粘性のある土	黄褐色土粒子 ($\phi 2\sim 5\text{mm}$) 少量	しまり・	粘性ややあり (柱痕)		
3 褐灰色土	10YR4/1	暗褐灰色のしまりある土	黄褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 中～多量	燒土粒子 ($\phi 2\text{mm}$) ・炭化物粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 少量	しまりあり	粘性弱い	
033 P18							
1 黑褐色土	10YR3/2	暗黒茶色のしまりある土主体	黄褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 中～多量	しまりあり	粘性なし		
2 灰黄褐色土	10YR2/5	暗茶褐色のしまりある土主体	しまりあり	粘性なし			
033 P19							
1 黑褐色土	10YR3/2	暗黒茶色のしまりある土主体	黄褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 中～多量	しまりあり	粘性なし		
2 灰黄褐色土	10YR2/5	暗茶褐色のしまりある土主体	しまりあり	粘性なし			
033 P22							
1 黑褐色土	10YR3/1	燒土粒子 ($\phi 1\sim 2\text{mm}$) ・炭化物粒子 ($\phi 1\sim 2\text{mm}$) 少量	しまりあり	粘性あり			
2 黑褐色土	10YR3/2	黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 5\text{mm}$) ・燒土粒子 ($\phi 1\sim 2\text{mm}$) 含む	しまりあり	粘性あり			
3 黑褐色土	10YR3/2	黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 3\text{mm}$) 少量	燒土粒子 ($\phi 1\text{mm}$) 微量	しまりあり	粘性あり		
4 黑褐色土	10YR3/2	黄褐色土ブロック 多量	しまりあり	粘性強い			
5 黑褐色土	10YR3/2	黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 5\text{mm}$) 多量	燒土粒子 ($\phi 1\text{mm}$) 微量				
033 P25							
1 暗褐灰色土	10YR4/1	暗褐灰色のややシルト質のしまりある土主体	黄褐色ロームブロック ($\phi 5\text{mm}$) 少量	しまりあり	粘性ややあり		
2 暗灰色土	N3/1	ねばりのある暗灰色粘土主体	淡綠灰色粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 斑に含む	しまりなし	粘性あり	柱材一部残る	
3 暗黄褐色土	10YR4/3	1層の土主体	向かって右側の方により多く含まれる	黄褐色ロームブロック ($\phi 10\sim 20\text{mm}$) 少量	しまりあり	粘性ややあり	

第297図 ピット (9)



033 P27

1 暗褐色土 10YR3/1 暗褐色のしまりある土主体 黄褐色ロームブロック ($\phi 5\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性なし
2 暗灰色土 10YR4/1 暗灰色のやや粘性のある土主体 青褐色ロームブロック ($\phi 5\sim 10\text{mm}$) 中～多量 炭化物少量 しまり・粘性ややあり

033 P30・31

1 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色のしまりある土 黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 少量 層下部に斑 烧土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性なし
2 灰黄褐色土 10YR2/4 暗茶褐色のしまりある土・黄褐色土含む しまりあり 粘性なし
2' 2層とほぼ同じ+黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim 30\text{mm}$) 多量 しまりあり 粘性ややあり

033 P36

1 灰黄褐色土 10YR4/2 暗茶褐色のしまりある土 褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 多量 しまりあり 粘性なし
2 褐灰色土 10YR4/1 暗褐色のしまりある土 褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 少量 烧土微量 しまりあり 粘性弱い

033 P37

1 灰黄褐色土 10YR4/2 暗茶褐色のしまりある土 黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 少量 炭化物粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性なし
2 褐灰色土 10YR4/1 暗褐色のしまりある土 烧土 ($\phi 1\text{cm}$ で硬化したもの) 多量 炭化物ブロック ($\phi 10\sim 20\text{mm}$) 中～多量 しまりあり 粘性なし

033 P38

1 灰黄褐色土 10YR4/2 暗茶褐色のしまりある土 黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 少量 炭化物粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性なし
2 褐灰色土 10YR4/1 暗褐色のしまりある土 烧土粒子 ($\phi 2\sim 5\text{mm}$) ・炭化物ブロック ($\phi 5\text{mm}$) 多量 しまりあり 粘性なし

033 P39

1 黒褐色土 10YR3/1 黒褐色のしまりある土主体 しまりあり 粘性ややあり
2 暗茶褐色土 10YR3/2 暗茶褐色のやや粘性のある土 灰少量 烧土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり (柱痕)
3 暗茶褐色土 10YR3/2 2層と同じ土主体 烧土粒子・黄褐色土ロームブロック ($\phi 3\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性ややあり (掘り方)
4 暗灰色土 5Y4/1 暗灰色粘土主体 柱材一部残存 しまりなし 粘性強い (柱痕)

033 P44

1 褐灰色土 10YR4/1 暗褐色のしまりある土主体 褐灰色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 斑に含む 酸化鉄少量 しまりあり 粘性なし
2 黑色土 7.5YR1.7/1 黑色の粘質土 粘性あり しまりややあり 中央部や下より柱材出土

033 P48

1 褐灰色土 10YR4/1 暗褐色の粘性のややある土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 2\text{mm}$) 斑に含む 灰色粘土少量 炭化物 (0.5cm角) 微量 しまり・粘性ややあり (柱痕)
2 褐灰色土 10YR4/1 暗灰色の粘土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 少量 しまりなし 粘性あり (柱痕)
3 灰黄褐色土 10YR4/2 褐灰色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim 20\text{mm}$) 多量 しまりあり 粘性なし (掘り方)
4 黑褐色土 10YR3/1 暗褐色の粘性のやや粘性のある土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり

033 P53~55

1 黑色土 10YR2/1 黒色の粘性のややある土 烧土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) ・炭化物ブロック ($\phi 5\text{mm}$) 少量
2 黑褐色土 10YR3/2 黑褐色の粘性のある土 黄褐色土粒子 ($\phi 3\sim 5\text{mm}$) ・炭化物ブロック ($\phi 7\text{mm}$) 微量 (柱痕)
3 灰黄褐色土 10YR4/2 灰黄褐色の粘性のある土 炭化物ブロック ($\phi 5\text{mm}$) 含む
4 黑褐色土 10YR3/2 黑褐色の粘性のある土 黄褐色土ブロック ($\phi 15\text{mm}$) 少量
5 黑褐色土 10YR3/2 黑褐色の粘性のややある土 にぶい黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) ・炭化物 (0.5cm角) 含む
6 黑褐色土 10YR3/1 黑褐色の粘性のある土 褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 少量
7 灰褐色土 10YR4/1 灰褐色のしまりのない土 灰黄褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 多量
8 黑褐色土 10YR3/2 黑褐色の粘性のややある土主体 褐色の烧土粒子 ($\phi 3\sim 5\text{mm}$) 斑に含む 灰黄褐色土ブロック ($\phi 20\text{mm}$) 少量
9 黑褐色土 10YR3/2 黑褐色の粘性のある土 灰黄褐色土ブロック (0.5cm角) 多量

034 P1

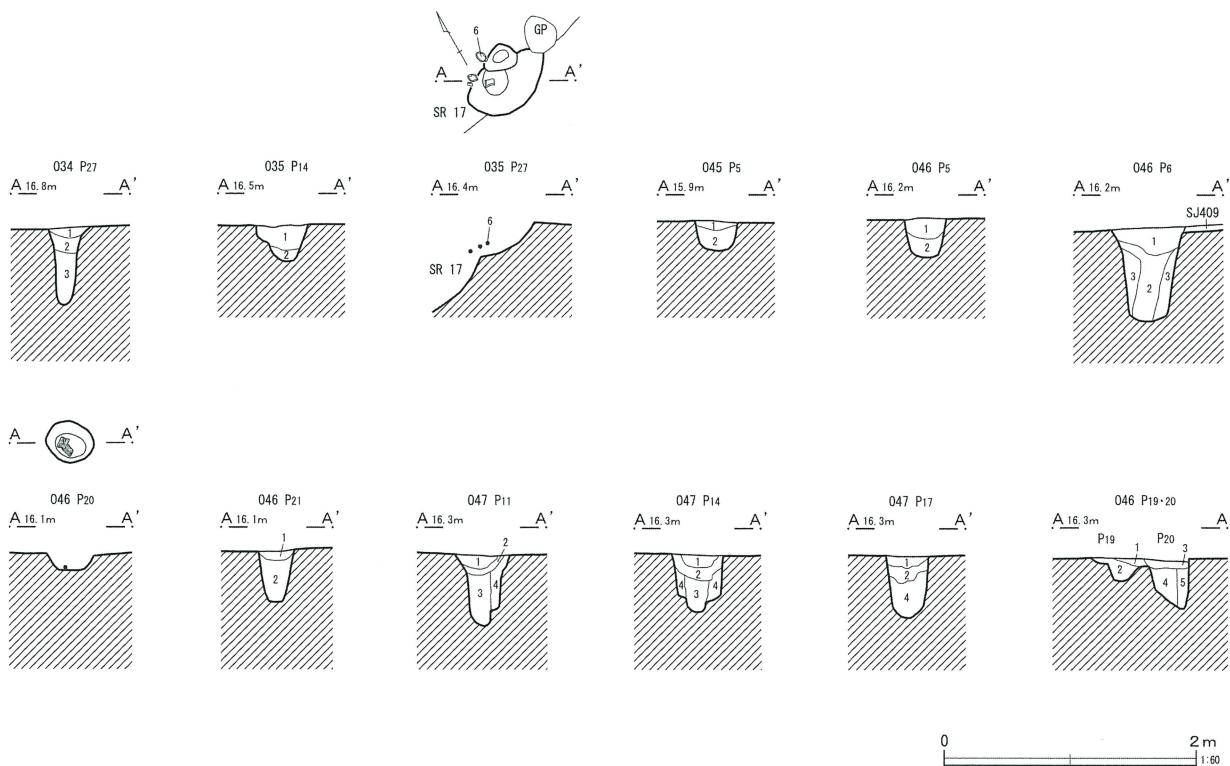
1 黑褐色土 10YR3/1 烧土粒子 ($\phi 1\sim 3\text{mm}$) ・黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 5\text{mm}$) 少量 しまり・粘性あり
2 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 2\text{mm}$) 微量 しまり・粘性あり
3 黑褐色土 10YR3/1 黄褐色土ブロック 多量 しまり・粘性あり

034 P24

1 暗茶褐色土 10YR3/2 暗茶褐色のしまりある土 黄褐色土ローム粒子 ($\phi 5\text{mm}$) ・烧土粒子 ($\phi 1\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり
2 暗茶褐色土 10YR3/2 暗茶褐色のしまりある土 黄褐色土ローム粒子 ($\phi 2\sim 5\text{mm}$) 多量 烧土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性ややあり
3 灰黄褐色土 10YR5/2 黄褐色土ローム粒子主体 黄褐色土ローム粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 多量 暗灰色粘質土斑に含む しまりあり 粘性ややあり

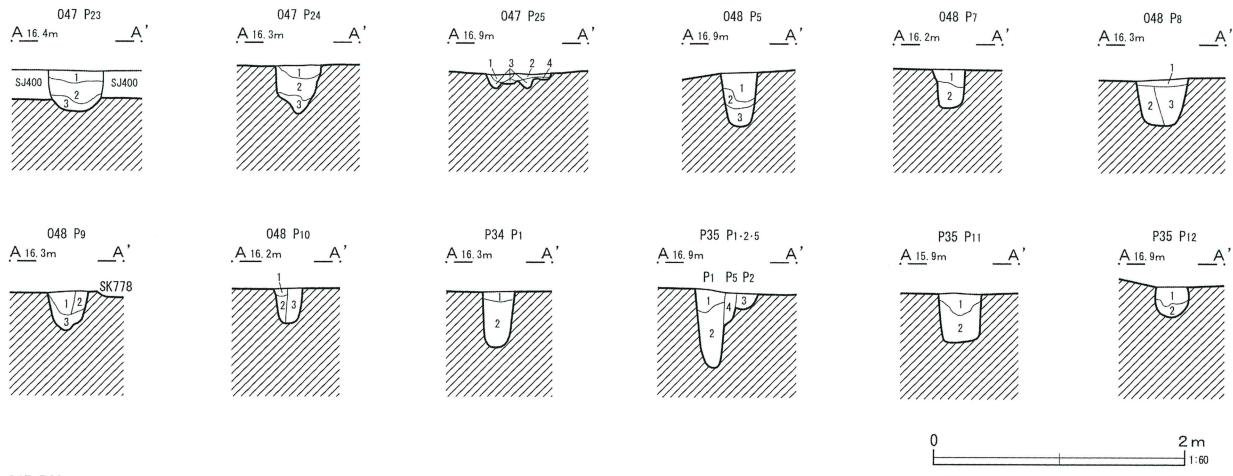
034 P26

1 黑褐色土 10YR3/1 暗灰色に近い黒褐色でしまりがあり粘性もややある土 烧土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性弱い
2 黑褐色土 10YR3/1 1層と同じ色の土で粘性が1層よりやや強い土 黄褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 含む しまりややあり 粘性あり



034 P27	1 黒褐色土 2 灰オリーブ色土 3 灰オリーブ色土	2.5Y3/1 暗灰色にちかいしまりある黒褐色土 灰色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性なし 5Y4/2 黄褐色粘質土・暗灰色粘質土少量 しまりあり 粘性ややあり 5Y4/2 黄褐色粘質土・暗灰色粘質土微量 しまり・粘性ややあり
035 P14	1 黒褐色土 2 黒褐色土	10YR4/1 褐灰色の粘性のややある土 酸化鉄多量 オリーブ黒色土 (10Y3/1) ブロック含む 10YR3/1 黒褐色のしまりある土
045 P5	1 黒褐色土 2 青黒色土	2.5Y3/2 暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 10\text{mm}$) 斑に含む 炭化物粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり 5B2/1 黒っぽい暗青灰色のしまりある粘質土 青灰色土粒子 ($\phi 5\sim 10\text{mm}$) 斑に含む 炭化物粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 微量 しまり・粘性ややあり
046 P5	1 オリーブ黒色土 2 暗緑灰色土	5Y2/2 黒灰色のしまりある土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 5\text{mm}$) 中～多量 炭化物粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり 5G4/1 暗緑灰色粘質土 暗灰色粘土斑に含む しまりなし 粘性あり
046 P6	1 黒褐色土 2 暗青灰色土 3 暗緑灰色土	2.5Y3/1 黒っぽい暗茶褐色の粘質土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 2\sim 10\text{mm}$) 多量 炭化物ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり 5B4/1 青灰色シルト主体 暗灰色粘土多量 しまりややあり 粘性あり 5G4/1 青緑灰色粘質土 (多少同色のシルト含む) 主体 しまりなし 粘性あり
046 P21	1 黒褐色土 2 暗緑灰色土	2.5Y3/2 黄褐色土 (地山) ($\phi 10\sim 20\text{mm}$) 少量 しまり・粘性あり 10G3/1 黒褐色土ブロック ($\phi 10\sim 50\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性ややあり
047 P11	1 暗オリーブ褐色土 2 黒褐色土 3 黒褐色土 4 黑褐色土	2.5Y3/3 黄褐色土粒子 ($\phi 2\sim 5\text{mm}$) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり 2.5Y3/2 炭化物粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 斑に含む 黄褐色土粒子 ($\phi 2\text{mm}$) 少量 しまりあり 粘性ややあり 2.5Y3/1 暗灰色粘質土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 斑に含む しまり・粘性あり (柱痕) 2.5Y3/2 黄褐色土ブロック ($\phi 5\sim 10\text{mm}$) 多量 暗灰色粘質土少量 しまりあり 粘性ややあり (掘り方)
047 P14	1 暗オリーブ褐色土 2 黒褐色土 3 暗青灰色土 4 暗青灰色土	2.5Y3/3 黄褐色土ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 多量 しまりあり 粘性ややあり 2.5Y3/2 黄褐色土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり 5B3/1 黄褐色土・暗灰色粘質土少量 しまりあり 粘性ややあり (柱痕) 5B4/1 青灰色シルト多量 黄褐色土少量 暗灰色粘土斑に含む しまりあり 粘性ややあり
047 P17	1 オリーブ褐色土 2 暗オリーブ褐色土 3 黒褐色土	2.5Y4/3 黄褐色土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり 2.5Y3/3 黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim 20\text{mm}$) 多量 しまりあり 粘性ややあり 2.5Y3/2 黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 斑に含む 炭化物ブロック ($\phi 5\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性ややあり
046 P19-20	1 黒褐色土 2 暗灰黄色土 3 暗灰黄色土 4 オリーブ褐色土 5 暗灰色土	2.5Y3/2 暗茶褐色のしまりある土主体 炭化物 層下部に堆積 焼土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 微量 しまりあり 粘性なし 2.5Y4/2 茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子 ($\phi 3\text{mm}$) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり 2.5Y4/2 暗茶褐色のしまりある土・オリーブ褐色のシルト多量 しまりあり 粘性なし 2.5Y3/3 暗茶褐色土主体 烧土ブロック ($\phi 5\text{mm}$)・黄褐色土粒子 ($\phi 5\text{mm}$) 斑に含む 炭化物ブロック ($\phi 10\text{mm}$) 微量 しまり・粘性ややあり (柱痕) N3/0 暗灰色粘質土主体 青灰色シルト斑に含む しまりあり 粘性ややあり (掘り方)

第299図 ピット (11)



047 P23 1 黒褐色土	2. 5Y3/2 少し暗めの暗茶褐色土 炭化物粒子・黄褐色土ローム粒子(φ1mm) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり	048 P9 1 暗オリーブ褐色土	2. 5Y3/3 黄褐色土ブロック(φ10~15mm) 多量 しまりあり 粘性ややあり
2 黒褐色土	2. 5Y3/2 1層と同じ土主体 黄褐色土粒子(φ2~10mm)少～中量 しまりあり 粘性ややあり	2 暗オリーブ褐色土	2. 5Y3/3 烧土粒子(φ3mm)・炭化物粒子(φ3mm) 微量 しまりあり 粘性ややあり
3 黄灰色土	2. 5Y4/1 暗灰色でしまりと少し粘性のある土 黄褐色土ロームブロック(φ10~15mm) 多量 しまりあり 粘性ややあり	3 黒褐色土	2. 5Y3/1 黒っぽい暗茶褐色土主体 黄褐色土粒子(φ2mm)・暗青灰色シルト少量 しまりややあり 粘性あり
047 P24 1 暗灰黄色土	2. 5Y4/2 茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子(φ1mm) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり	048 P10 1 黒褐色土	2. 5Y3/2 炭化物ブロック(φ5mm) 多量 しまりあり 粘性ややあり
2 暗灰色土	N3/0 暗灰色粘質土主体 黄褐色土ブロック(φ10mm) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり (1層より強)	2 黑褐色土	2. 5Y3/2 烧土粒子(φ2mm)・炭化物粒子(φ3mm) 微量 しまりあり 粘性ややあり
3 暗青灰色土	5B3/1 暗灰色粘土主体 青灰色土粒子(φ5mm) 少量 炭化物ブロック(φ5mm) 微量 しまりややあり 粘性あり	3 暗オリーブ褐色土	2. 5Y3/3 黄褐色土粒子(φ3mm) 少量 層上部に斑 しまりあり 粘性ややあり
047 P25 1 黒褐色土	2. 5Y3/1 黄褐色土粒子(φ1~10mm)多量 しまり・粘性あり	P34 P1 1 黒褐色土	10YR3/1 黒褐色のしまりある土主体 烧土粒子(φ2~5mm)・炭化物粒子(φ2~5mm)多量 しまりあり 粘性なし
2 黒褐色土	2. 5Y3/1 黄褐色土粒子(φ1~5mm)少量 しまり・粘性あり	2 黑色土	10YR2/1 黒っぽい灰色のやや粘性のある土主体 黄褐色土粒子(φ5mm) 多量 炭化物斑に含む しまりあり 粘性ややあり
3 黒色土	2. 5Y2/1 黄褐色土粒子(φ1~2mm)少量 しまり・粘性あり	P35 P1-2.5 P1 P5 P2	1 黑色土 10YR2/1 黑褐色のしまりある土 青褐色土ブロック(φ10mm)・烧土粒子(φ1~3mm) 斑に含む 炭化物粒子(φ2mm) 微量 しまりあり 粘性なし 2 黑色土 10YR2/1 黑褐色の粘質土 暗灰色粘土斑に含む 酸化鉄少量 しまりなし 粘性強い 3 黑色土 10YR2/1 黑褐色のしまりある土 青褐色土ブロック(φ10mm)・烧土粒子(φ1~3mm) 斑に含む 炭化物 4 黑色土 10YR2/2 黄褐色土ブロック混入
4 黄褐色土	2. 5Y5/4 地山土主体 2層土(φ1~2mm)微量 しまり・粘性あり	P35 P11 1 暗灰色土	N3/0 暗灰色粘土主体 暗灰色シルト少量 しまりなし 粘性あり
048 P5 1 暗オリーブ褐色土	2. 5Y3/3 黄褐色土ブロック(φ3~10mm)多量 しまりあり 粘性ややあり	2 暗灰色土	N3/0 暗灰色粘土主体 緑灰色シルト層上部に斑に少量 しまりなし(1層よりは少しあり) 粘性あり
2 黄褐色土	2. 5Y5/3 黄褐色の粘性のややある土主体 しまり・粘性ややあり	P35 P12 1 暗灰色土	N3/0 暗灰色粘質土主体 灰色粘質土粒子(φ2~10mm) 斑に含む しまりややあり 粘性あり
3 暗青灰色土	5B4/1 暗青灰色シルト多量 暗青灰色シルト少量 しまり・粘性なし	2 暗灰色土	N3/0 暗灰色粘質土主体 灰色粘質土粒子(φ2mm)微量 しまりややあり 粘性あり

第300図 ピット (12)

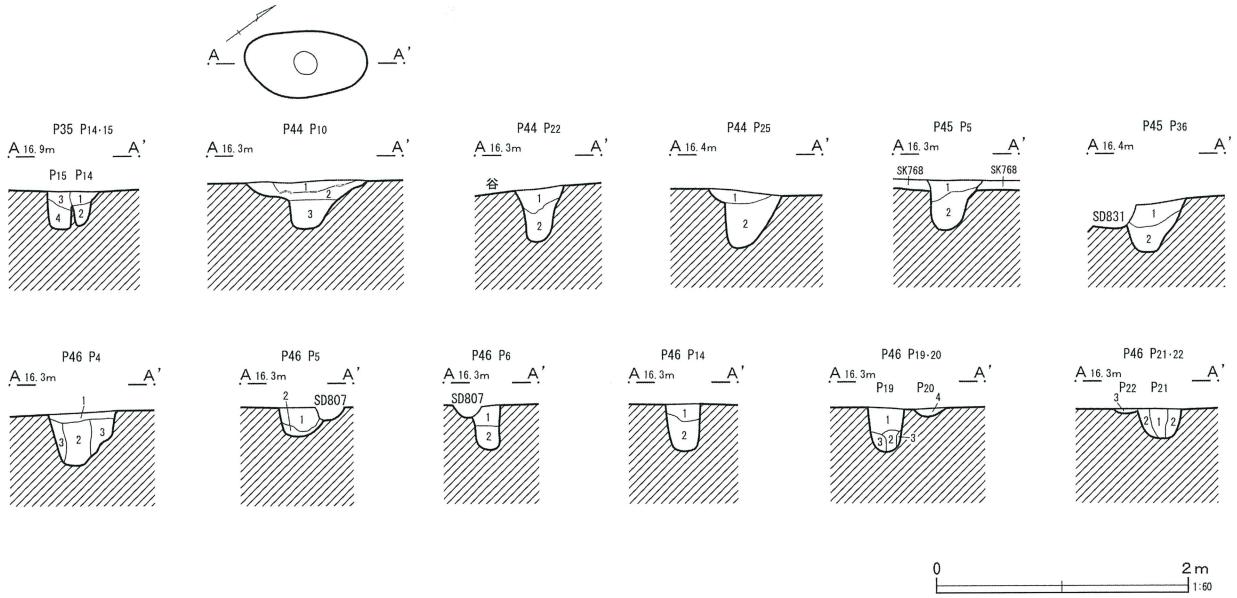
9は、P46グリッドのピット58から出土した吉ヶ谷式の甕である。外面には5段の輪積み痕を残し、R L縄文が施される。口縁端部には小口状工具による刻み目が施される。胎土には白色針状物質を含んでいる。

10は、P48グリッドのピット15から出土した土師器の有段口縁环である。完形で、内外面に黒色処理が施される。

11は、Q44グリッドのピット11から出土した土器ミニチュア甕の底部片である。

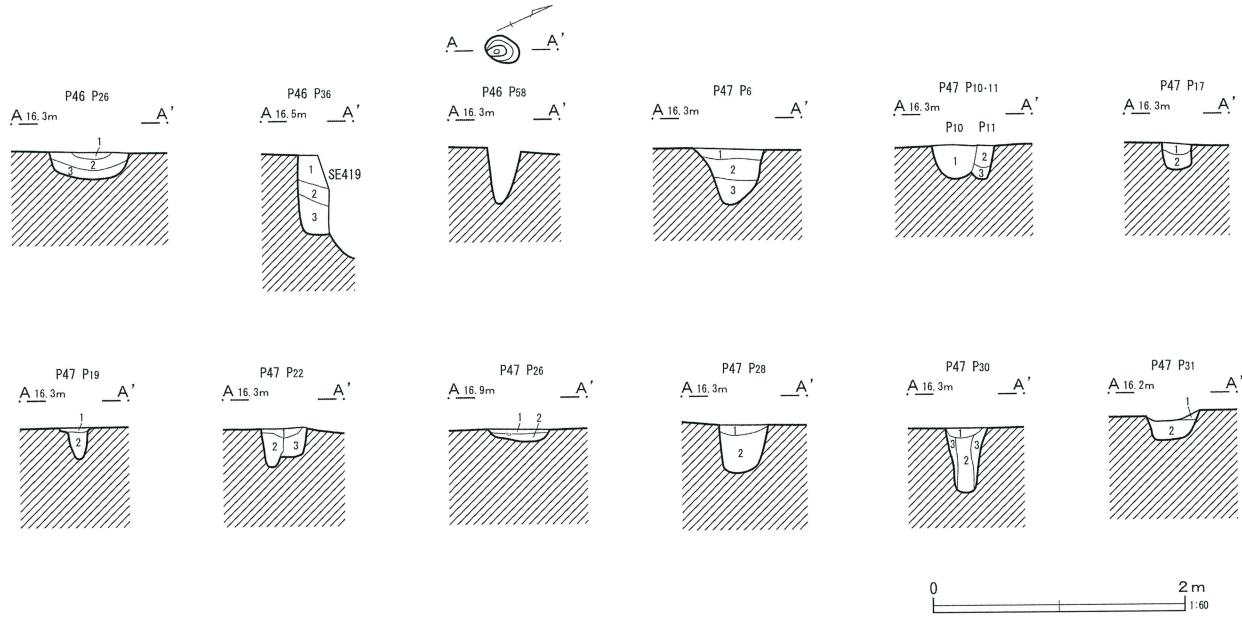
12は、Q45グリッドのピット13から出土した鉄製品である。直径が約5cmで、下半部を欠損している。鈴と思われるが、時期は不明である。

13は、Q46グリッドのピット101から出土した吉ヶ谷式の甕で、口縁部を欠損している。輪積み痕の部分にR L縄文が施されている。胴部は、内外面とも



P35 P14-15 1 黒褐色土 2 暗灰色土 3 黒褐色土 4 暗灰色土	2.5Y3/1 黒褐色にちかい暗灰色の粘性のややある土斑に含む 黄褐色土粒子(Φ2~3mm) 少量 しまりあり N3/0 暗灰色粘質土主体 青灰色シルト微量 しまり弱い 粘性あり 2.5Y3/1 黒褐色にちかい暗灰色の粘性のややある土・黄褐色土粒子(Φ2~3mm) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり N3/0 暗灰色粘質土主体 青灰色シルト微量 しまり弱い 粘性あり
P44 P10 1 灰黄褐色土 2 灰黄褐色土 3 オリーブ黒色土	10YR4/2 2cm大の炭化物含む 黄褐色土ブロック少量 土器小片多量 しまり・粘性あり 10YR4/2 黄褐色土ブロック多量 しまり・粘性あり 7.5Y3/2 地山土に近い 黄褐色土ブロック少量 しまり・粘性あり
P44 P22 1 黄灰色土 2 暗灰色土	2.5Y4/1 暗灰茶色のしまりある土 黄褐色土粒子(Φ3~5mm) 斑に含む 炭化物粒子(Φ2mm) 微量 しまりあり 粘性ややあり N3/0 暗灰色粘土主体 青灰色土粒子(Φ5mm) 少量 しまりなし 粘性あり
P44 P25 1 オリーブ黒色土 2 黒褐色土	10Y3/1 緑灰色シルトブロック(Φ3~20mm)・鉄分多量 10YR3/1 緑灰色シルトブロック(Φ3~20mm)・鉄分多量 炭化物粒子(Φ2~3mm) 少量
P45 P5 1 黒褐色土 2 黒褐色土	10YR2/3 緑灰色粘土ブロック(Φ5~10mm) 少量 土器片を含む 10YR2/3 緑灰色粘土ブロック(Φ20~30mm) 多量
P45 P36 1 暗褐色土 2 オリーブ黒色土	10YR3/3 黄褐色土粒子(Φ50mm) を含む 緑灰色粒子(Φ50mm) 少量 7.5Y3/2 粘性強 混入物なし
P46 P4 1 黒褐色土 2 黑褐色土 3 暗オリーブ褐色土	2.5Y3/2 黒っぽい暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子(Φ2~5mm) 少量 しまりあり 粘性なし 2.5Y3/2 黒っぽい暗茶褐色のしまりある土主体 層下半は青灰色に変色している 黄褐色土ブロック(Φ10mm) 少量 炭化物粒子(Φ3mm) 微量 3 暗オリーブ褐色土 2.5Y3/3 やや明るめの暗茶褐色土主体 黄褐色土ブロック(Φ2~10mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり (掘り方)
P46 P5 1 黑褐色土 2 黑褐色土	2.5Y3/1 黒っぽい暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック(Φ5~10mm)・焼土ブロック(Φ5mm)・炭化物粒子(Φ2mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり 2.5Y3/1 主体となるのは3層と同じ土 黄褐色土粒子(Φ1~2mm) 中~多量 しまりあり 粘性ややあり
P46 P6 1 黄灰色土 2 暗青灰色土	2.5Y4/1 やや明るめの茶褐色土でしまりある土 黄褐色土粒子(Φ2~5mm) 多量 烧土粒子(Φ2mm)・炭化物ブロック(Φ5mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり 5B4/1 暗灰色粘質土主体 暗青灰色粘質土少量 しまりあり 粘性ややあり
P46 P14 1 黑褐色土 2 暗灰色土	2.5Y3/2 暗茶褐色のしまりある土 黄褐色土粒子(Φ2~3mm) 斑に含む しまりあり 粘性ややあり (柱痕) N3/0 暗灰色粘質土主体 黄褐色土ブロック(一部変色しているところがあり青灰色になっている) (Φ3~5mm) 少~中量
P46 P19-20 1 黑褐色土 2 暗灰色土 3 暗青灰色土 4 灰オリーブ色土	2.5Y3/2 暗茶褐色 しまりある土主体 黄褐色土ブロック(Φ50mm) 少量 しまりあり 粘性ややあり N3/0 暗灰色粘土主体 青灰色土粒子(Φ2mm) 斑に含む しまり・粘性ややあり (柱痕) 5B3/1 青灰色粘質土主体 暗青灰色 粘質土斑に含む しまり・粘性ややあり (掘り方) 5Y4/2 オリーブ灰色のしまりある土主体 しまりあり 粘性なし
P46 P21-22 1 黑褐色土 2 黑褐色土 3 灰オリーブ色土	2.5Y3/2 黒っぽい暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック(Φ20~50mm) 多量 しまりあり 粘性ややあり 2.5Y3/2 主体となる土は1層と同じ 黄褐色土ブロック(Φ10mm) 微量 しまりあり 粘性ややあり 5Y4/2 オリーブ灰色のしまりある土主体 しまりあり 粘性なし

第301図 ピット (13)



P46 P26

1 黒褐色土 2.5Y3/2 暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子（ $\phi 3\text{mm}$ ）少量 しまりあり 粘性なし
2 暗オリーブ褐色土 2.5Y3/3 主体となるのは1層と同じ土 黄褐色土粒子（ $\phi 2\sim 3\text{mm}$ ）斑に含む 炭化物が下層に帶状に少量 しまりあり 粘性ややあり
3 暗灰色土 N3/0 暗灰色粘質土主体 青灰色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）少量 しまりややあり 粘性あり

P46 P36

1 黒褐色土 10YR3/2 黄褐色土粒子（ $\phi 10\text{mm}$ ）多量
2 灰色土 10YR5/1 黑色土粒子（ $\phi 5\text{mm}$ ）少量 しまり強い
3 黑褐色土 10YR2/2 黄褐色土粒子（ $\phi 5\text{mm}$ ）少量 しまり強い

P47 P6

1 黒褐色土 2.5Y3/2 黄褐色土粒子（ $\phi 2\sim 5\text{mm}$ ）・焼土ブロック（ $\phi 5\text{mm}$ ）微量 しまりあり 粘性なし
2 暗灰色土 N3/0 黄褐色土粒子（ $\phi 5\text{mm}$ ）・焼土ブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）少量 炭化物（1cm長）微量 しまりあり 粘性ややあり
3 暗青灰色土 5B3/1 暗灰色粘質土主体 青灰色シルト斑に含む しまり・粘性あり

P47 P10-11

1 暗オリーブ褐色土 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子（ $\phi 1\sim 5\text{mm}$ ）斑に含む しまりあり 粘性ややあり
2 暗オリーブ褐色土 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子（ $\phi 5\text{mm}$ ）少量 しまりあり 粘性ややあり
3 暗青灰色土 5B4/1 青灰色粘質土・暗灰色粘土多量 しまりなし 粘性あり

P47 P17

1 黒褐色土 2.5Y3/2 黒っぽい暗茶褐色のしまりある土主体 黄灰色土粒子（ $\phi 1\sim 5\text{mm}$ ）斑に含む しまりあり 粘性ややあり
2 暗灰色土 N3/0 暗灰色粘質土主体 黄褐色土ブロック（ $\phi 20\text{mm}$ ）斑に含む しまりあり 粘性ややあり

P47 P19

1 黒褐色土 2.5Y3/2 暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）斑に含む しまりあり 粘性なし
2 黑褐色土 2.5Y3/1 1層より黒い暗茶褐色の粒子ある土 黄褐色土粒子（ $\phi 3\sim 10\text{mm}$ ）斑に含む しまりあり 粘性ややあり

P47 P22

1 黑褐色土 2.5Y3/2 黑っぽい暗茶褐色土主体 黄褐色土ローム粒子（ $\phi 1\sim 3\text{mm}$ ）・炭化物粒子（ $\phi 3\text{mm}$ ）微量 しまりあり 粘性なし
2 黑褐色土 2.5Y3/2 1層と同じ土主体 黄褐色土ロームブロック（ $\phi 10\text{mm}$ ）斑に含む しまりあり 粘性ややあり（柱痕）
3 黑褐色土 2.5Y3/2 1層と同じ土主体 黄褐色土ロームブロック（ $\phi 10\sim 30\text{mm}$ ）・炭化物粒子・焼土粒子（ $\phi 3\text{mm}$ ）斑に含む しまりあり 粘性ややあり（掘り方）

P47 P26

1 黑褐色土 2.5Y3/1 黄褐色土粒子（ $\phi 1\sim 5\text{mm}$ ）・均等に含む しまり・粘性あり
2 黄褐色土 2.5Y5/4 地山土主体 1層土（ $\phi 1\sim 3\text{mm}$ ）微量 しまり・粘性あり

P47 P28

1 黑褐色土 2.5Y3/2 黄褐色土粒子（ $\phi 1\sim 5\text{mm}$ ）均等に少量 しまり・粘性あり
2 黑褐色土 2.5Y3/1 黄褐色土粒子（ $\phi 1\sim 10\text{mm}$ ）・綠灰色土（ $\phi 1\sim 10\text{mm}$ ）少量 しまり・粘性あり

P47 P30

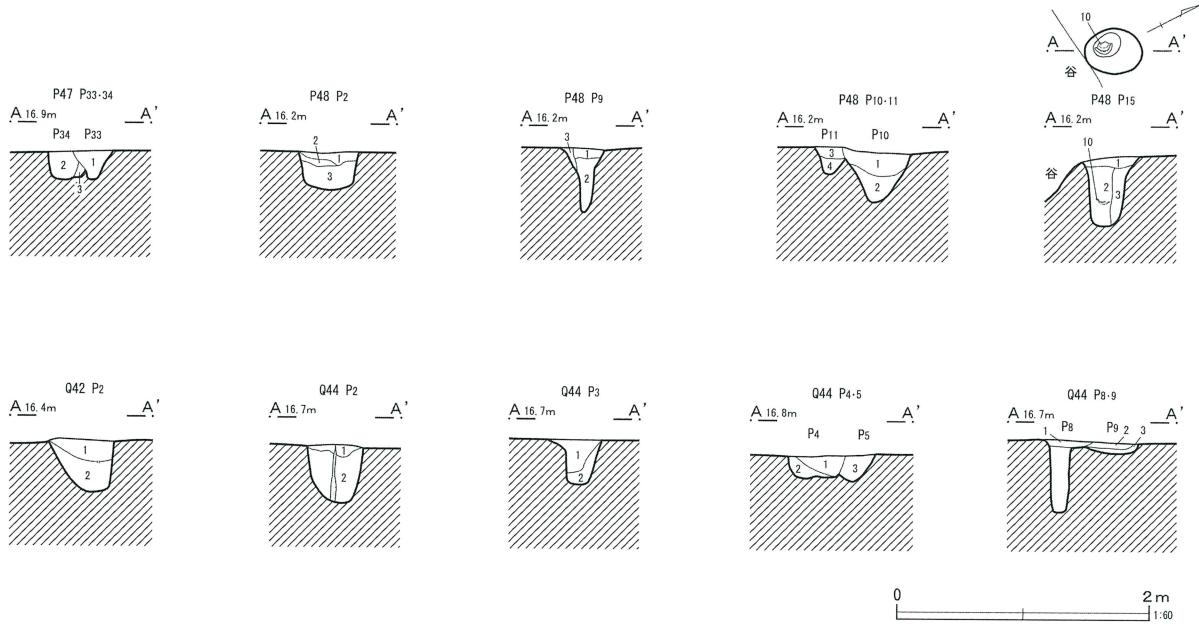
1 黑褐色土 2.5Y3/2 暗茶褐色のしまりある土・黒っぽい暗青灰色土多量 黄褐色土粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）少量 層の両端にしまりあり 粘性ややあり
2 暗オリーブ灰色土 5GY3/1 暗オリーブ灰色の粘質土主体 青灰色シルトブロック（ $\phi 5\text{mm}$ ）層部に斑に少量 炭化物粒子（ $\phi 2\text{mm}$ ）微量 しまりなし 粘性あり（柱痕）

3 オリーブ黒色土 5Y3/2 茶褐色粘質土主体 黄褐色シルト 斑に含む しまり・粘性ややあり

P47 P31

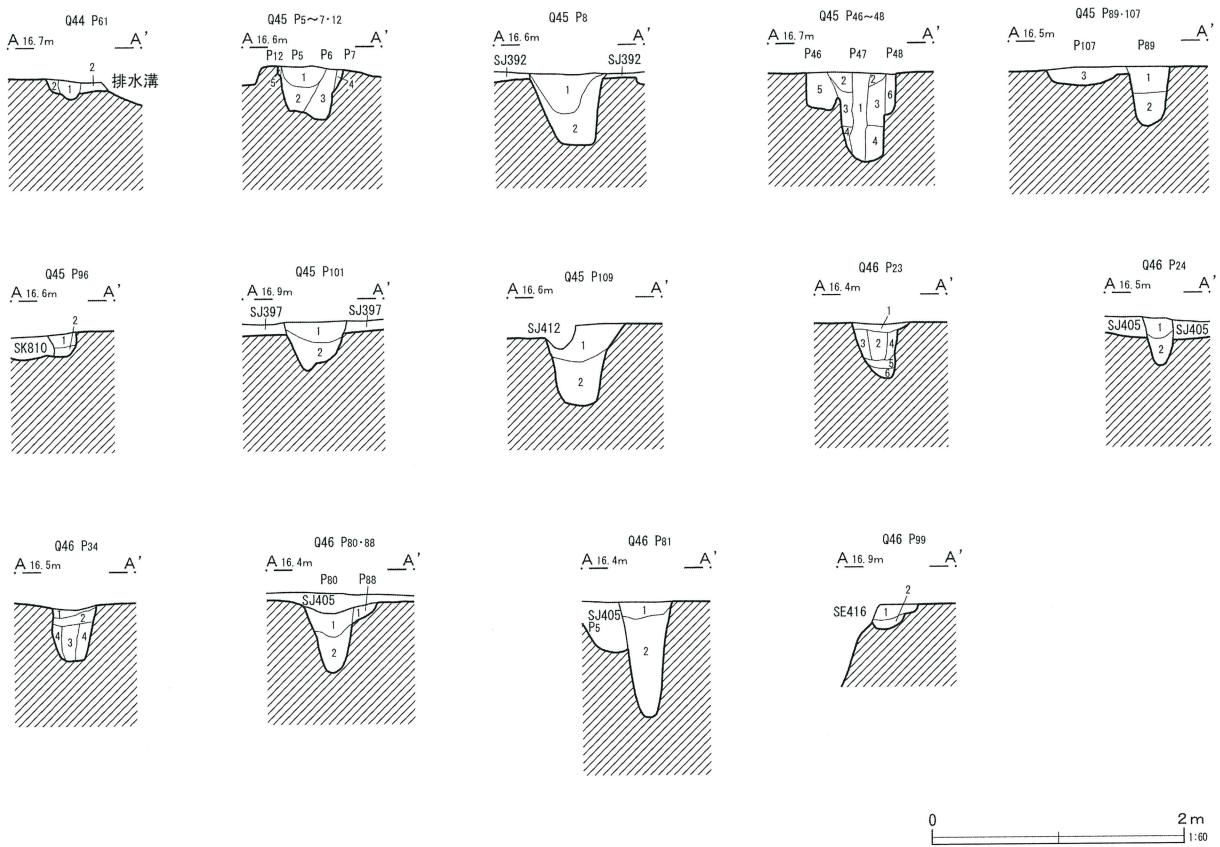
1 オリーブ褐色土 2.5Y4/3 明るめの暗茶褐色でしまりある土 黄褐色土粒子（ $\phi 2\sim 3\text{mm}$ ）斑に含む しまりあり 粘性ややあり
2 暗青灰色土 5B3/1 暗青灰色粘質土主体 青灰色シルト少量 しまりなし 粘性あり

第302図 ピット (14)



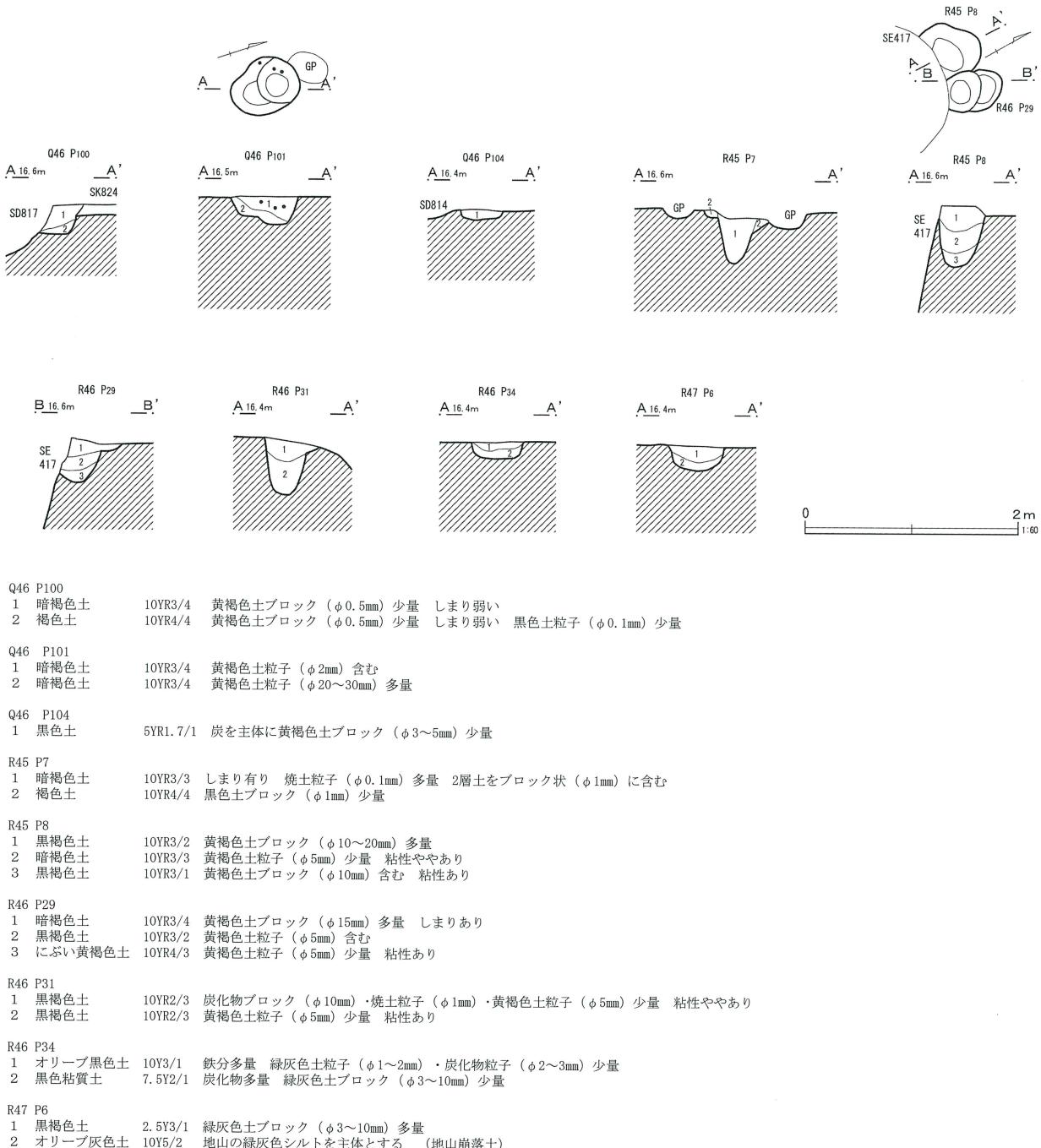
P47 P33-34	1 黒褐色土 2 黄灰色土 3 暗オリーブ褐色土	2.5Y3/3 2.5Y4/1 2.5Y3/3	暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子（φ2~3mm）斑に含む 暗灰色のしまりある土主体 黄褐色土ブロック（φ10~20mm）多量 暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子（φ2~3mm）斑に含む	しまりあり 粘性なし しまりあり 粘性なし しまりあり 粘性なし
P48 P2	1 暗オリーブ褐色土 2 オリーブ褐色土 3 暗灰色土	2.5Y3/3 2.5Y4/3 N3/0	黄褐色土粒子（φ3mm）微量 黄褐色土ブロック（φ20~30mm）多量 やや青黒みがかった暗灰色粘質土	しまりあり 粘性ややあり しまりあり 粘性ややあり しまりあり 粘性なし
P48 P9	1 暗オリーブ褐色土 2 暗オリーブ褐色土 3 黒褐色土	2.5Y3/3 2.5Y3/3 2.5Y3/1	暗茶褐色のしまりある土主体 炭化物ブロック（φ5mm）多量 焼土粒子（φ3mm）・炭化物粒子（φ3mm）微量 黒っぽい暗茶褐色土主体 黄褐色土粒子（φ2mm）・暗青灰色シルト少量	しまりあり 粘性ややあり しまりあり 粘性ややあり（柱痕） しまりややあり 粘性あり
P48 P10-11	1 黒褐色土 2 暗灰色土 3 暗オリーブ褐色土 4 暗青灰色土	2.5Y3/2 N3/0 2.5Y3/3 5B3/1	暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子（φ2mm）斑にふくむ 炭化物ブロック（φ10~20mm）少量 烧土粒子（φ3mm）微量 暗灰色粘土主体 青灰色土粒子（φ1~3mm）多量 炭化物粒子（φ1~5mm）含む しまりなし 粘性あり 暗茶褐色（少し明るめ）のしまりある土主体 黄褐色土粒子（φ2mm）斑に含む しまりあり 粘性ややあり 暗青灰色粘土主体 青灰色土ブロック（φ10mm）斑に含む しまりあり 粘性ややあり	しまりあり 粘性ややあり しまりなし 粘性あり しまりあり 粘性ややあり しまりあり 粘性ややあり
P48 P15	1 暗オリーブ褐色土 2 暗青灰色土 3 暗青灰色土	2.5Y3/3 5B3/1 5N3/1	暗茶褐色のしまりある土主体 黄褐色土粒子（φ1mm）斑に含む 暗灰色粘質土・青灰色シルト多量 暗灰色粘質土主体 青灰色シルト少～中量 炭化物ブロック（φ5mm）微量	しまりあり 粘性なし しまりあり 粘性ややあり しまりややあり 粘性あり
Q42 P2	1 褐灰色土 2 褐色土	10YR4/1 10YR4/1	褐灰色土ブロック（φ5~10mm）少量 烧土粒子（φ2~5mm）・炭化物粒子（φ2~5mm）微量 土器片少量 褐褐色土ブロック（φ2~5mm）少量	
Q44 P2	1 黒褐色土 2 にぶい黄褐色土	10YR3/2 10YR6/4	焼土粒子（φ2~5mm）微量 黄褐色土ブロック（φ2~5mm）多量	
Q44 P3	1 灰褐色土 2 にぶい黄褐色土	10YR6/2 10YR5/3	焼土粒子（φ2~5mm）・炭化物粒子（φ2~5mm）少量 黄褐色土ブロック（φ10~20mm）多量	
Q44 P4-5	1 灰褐色土 2 にぶい黄褐色土 3 にぶい黄褐色土	10YR6/2 10YR5/3 10YR5/3	焼土粒子（φ2~5mm）・炭化物粒子（φ2~5mm）少量 黄褐色土ブロック（φ10~20mm）多量 黄褐色土ブロック（φ10~20mm）多量	
Q44 P8-9	1 にぶい黄褐色土 2 にぶい黄褐色土 3 にぶい黄褐色土	10YR6/4 10YR6/4 10YR6/4	黄褐色土ブロック（φ2~5mm）多量 黄褐色土ブロック（φ2~5mm）多量 黄褐色土ブロック（φ2~5mm）少量	

第303図 ピット (15)



Q44 P61		Q45 P109	
1 黒色粘質土 2 黒褐色土	10YR2/1 炭化物粒子 ($\phi 1\sim 2mm$) 微量 10YR3/1 黄褐色土ブロック ($\phi 3\sim 10mm$) 多量	1 黒褐色土 2 にぶい褐色土	10YR2/2 黄褐色土ブロック ($\phi 20mm$) 多量・焼土粒子 ($\phi 2mm$) 多量 しまり強い 7.5YR5/3 焼土粒子 ($\phi 5mm$) 少量 やや砂っぽく鉄分が変色している しまり弱い
Q45 P5~7·12	10YR4/1 焼土粒子 ($\phi 1\sim 2mm$) 少量 10YR4/1 黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim 20mm$) 多量 10YR2/2 黄褐色土ブロック混入 焼土粒子 ($\phi 1\sim 2mm$) 多量	Q46 P23	10YR4/4 黒色土ブロック ($\phi 10mm$) 多量 しまり弱い 10YR3/1 黄褐色土粒子・緑灰色土粒子 ($\phi 5mm$) 含む (柱痕) 10YR3/3 黄褐色土ブロック ($\phi 20\sim 30mm$) 多量 しまり強い 10YR3/3 黄褐色土ブロック ($\phi 20mm$)・緑灰色土ブロック ($\phi 30mm$) 含む しまり強い
1 褐灰色土 2 褐灰色土 3 黒褐色土 4 褐灰色土 5 黒褐色土	10YR5/1 焼土粒子 ($\phi 1\sim 2mm$) 多量 10YR2/2 黄褐色土ブロック混入	5 灰オーリーブ土 6 黒褐色土	5Y5/3 黒色土粒子 ($\phi 1mm$) 少量 しまり強い 10YR3/2 混入物なし しまり強い
Q45 P8	10YR5/1 黄褐色土ブロック ($\phi 2\sim 10mm$) 少量 10YR4/1 黄褐色土ブロック ($\phi 2\sim 10mm$) 微量	Q46 P24	10YR3/3 黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 2mm$) ・ブロック ($\phi 3\sim 5mm$) 多量 10YR3/1 黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 2mm$) 少量
Q45 P46~48	1 にぶい黄褐色土 2 にぶい黄褐色土 3 明黃褐色土 4 黑褐色土 5 黑褐色土 6 暗褐色土	Q46 P34	10YR2/2 黄褐色土粒子 ($\phi 5mm$) 少量 10YR5/2 黑色土ブロック ($\phi 20\sim 30mm$) 含む 炭化物粒子 ($\phi 5mm$) 少量
1 暗褐色土 2 暗褐色土 3 黑褐色土	10YR4/3 黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim 20mm$) 多量 土器片多量 10YR6/4 黄褐色土ブロック ($\phi 10mm$) 含む 10YR6/4 明黃褐色土多量 褐色土少量 10YR3/2 黑色土少量 10YR4/1 黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 3mm$) 少量 10YR3/4 含有物を含まない	Q46 P81	10YR2/3 黄褐色土粒子 ($\phi 5mm$) 少量 粘性ややあり (柱痕) 10YR4/4 黄褐色土ブロック 多量 しまりあり
Q45 P89-107	10YR3/4 黄褐色土粒子 ($\phi 2mm$) 少量 10YR3/4 黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim 20mm$) 多量 しまりあり 10YR3/1 黄褐色土ブロック ($\phi 10\sim 20mm$)・焼土粒子 ($\phi 2mm$) 含む	Q46 P80-88	10YR3/2 黄褐色ブロック ($\phi 3\sim 10mm$) 多量 炭化物粒子 ($\phi 1\sim 2mm$) を微量 5YR2/1 緑灰色ブロック ($\phi 3\sim 10mm$) 多量 (地山崩落)
Q45 P96	1 暗褐色土 2 黑褐色土	Q46 P99	10YR3/3 黄褐色土粒子 ($\phi 1\sim 2mm$) 少量 10YR3/1 緑灰色土粒子 ($\phi 1\sim 2mm$) ・ブロック ($\phi 3\sim 5mm$)・炭化物粒子 ($\phi 1\sim 3mm$) 少量
Q45 P101	1 褐色土 2 にぶい黄褐色土	10YR7/6 黑色土ブロック ($\phi 20\sim 30mm$) 含む 烧土粒子 ($\phi 2mm$) 少量 10YR5/4 1層土をブロック状 ($\phi 10mm$) に含む	
	10YR4/4 黄褐色土ブロック・焼土粒子・炭化物粒子 少量 10YR5/4 黄褐色土ブロック (10mm大) 多量		

第304図 ピット (16)



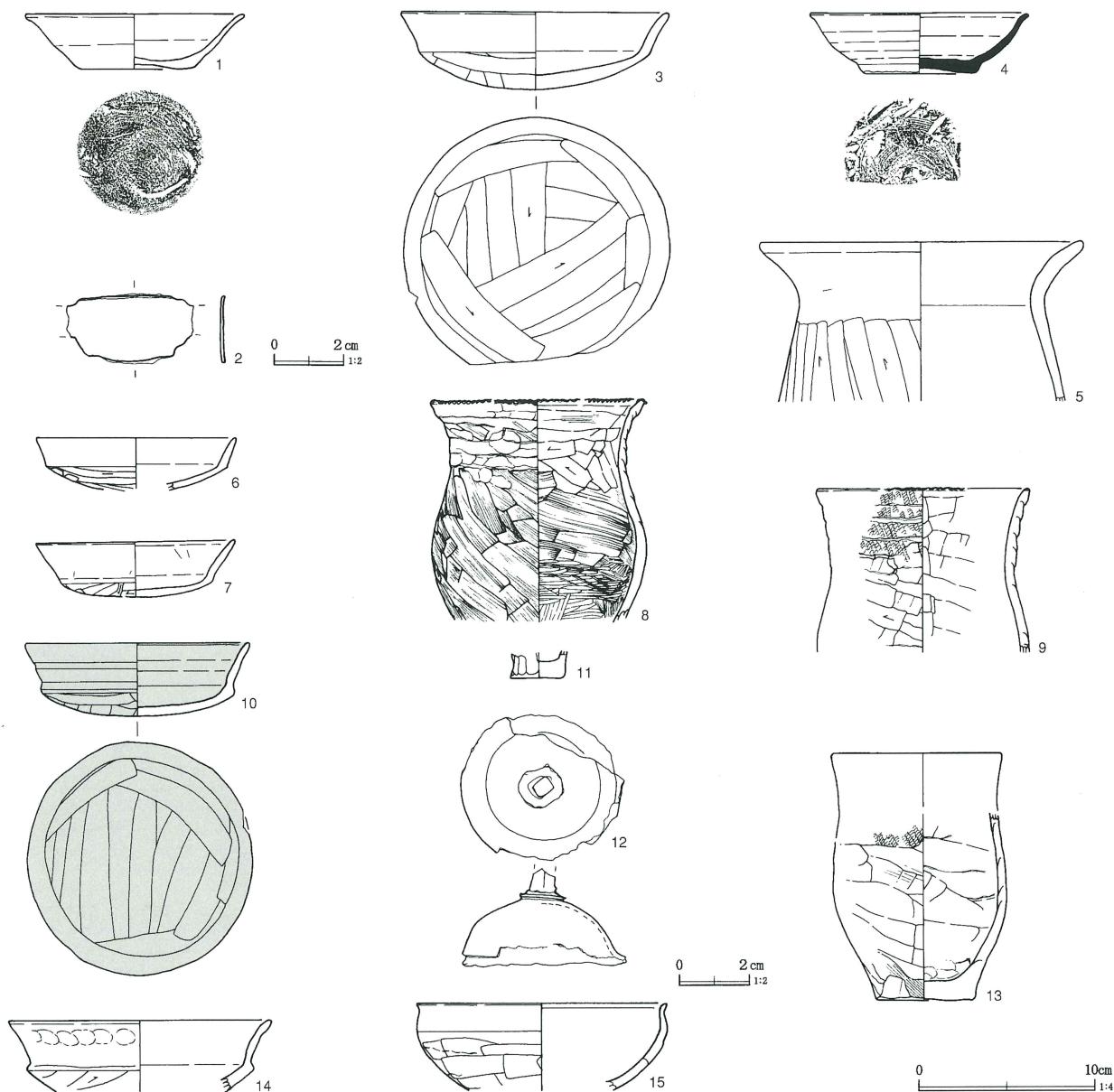
第305図 ピット (17)

ナデ調整であるが、底部外面には斜方向のハケメも認められる。

14は、R 45グリッドのピット 8 から出土した土師器の高壺である。口縁部外面と内面に赤彩が施され

る。

15は、R 45グリッドのピット 8 から出土した土師器の比企型壺である。口縁部外面と内面に赤彩が施される。



第306図 ピット出土遺物

第32表 ピット出土遺物観察表

挿図番号	遺構番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	備考	図版
306 1	M-27	P1	かわらけ	皿	12.2	3.1	6.4	3/4 破片	雲白粒	不良	橙	
306 2	O-32	P9	鉄製品	板状品	15.2	4.3	—	ほぼ完形 幅最大1.8長さ[3.5]	雲赤粒白粒	良好	赤褐	模倣坏
306 3	N-33	P7	土師器	坏	(18.4)	[9.0]	—	赤粒白粒針	良好	灰		
306 4	N-33	P56-67	須恵器	坏	(11.4)	[2.9]	—	砂粒赤粒	普通	にぶい橙		
306 5	N-34	P11	土師器	甕	(11.3)	3.2	—	白粒	普通	橙	模倣坏	
306 6	O-35	P27	土師器	坏	(12.0)	[12.5]	—	角赤粒白粒	良好	橙	模倣坏	
306 7	P-44	P10	土師器	坏	—	—	—	雲石英砂粒	良好	灰	模倣坏	
306 8	P-46	P14	土師器	甕	—	—	—	角砂粒白粒針	良好	褐色		
306 9	P-46	P58	土師器	甕	—	—	—	雲白粒	良好	明赤褐	RL多条	
306 10	P-48	P15	土師器	坏	12.3	4.1	—	雲黒粒	普通	明赤褐	黑色有段口縁坏	
306 11	Q-44	P11	土師器	ミニチュア	—	[1.5]	3.0	破片	1/2	130-1		
306 12	Q-45	P13	鉄製品	鈴?	大きさ[4.1×4.7]高さ[2.6]	—	—	片赤粒白粒	良好	褐色	RL多条	
306 13	Q-46	P101	土師器	小型甕	—	[10.5]	5.5	口縁	普通	にぶい黄橙	赤彩	
306 14	R-45	P8	土師器	高坏	(15.0)	[4.1]	—	雲赤粒白粒	良好	比企型坏、赤彩		
306 15	R-45	P8	土師器	坏	(14.4)	[4.9]	—	雲赤粒白粒	普通	橙		

報告書抄録

ふりがな	しもだまちいせき						
書名	下田町遺跡Ⅳ						
副書名	大里地区高規格堤防整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告						
卷次	IV (第1分冊)						
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書						
シリーズ番号	第320集						
編著者名	磯崎一・中山浩彦						
編集機関	財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団						
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台4-4-1 TEL 0493-39-3955						
発行年月日	西暦2006(平成18)年3月24日						
所収遺跡	所 在 地	コード	北 緯	東 経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
しもだまちいせき 下田町遺跡 だいじちょうさ 第4次調査	埼玉県熊谷市 つだ 津田1824-1番地 ほか 他	11401	55	36° 05' 33"	139° 25' 48" 20030408 ～ 20040324	9,000	高規格堤 防建設
しもだまちいせき 下田町遺跡 だいじちょうさ 第5次調査	埼玉県熊谷市 つだ 津田1828-1番地 ほか 他	11401	55	36° 05' 28"	139° 25' 48" 20040408 ～ 20050324	8,500	高規格堤 防建設
所 収 遺 跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
下田町遺跡 第4次調査 (東区)	集落跡	古墳時代前期 ～ 中世	方形周溝墓 竪穴住居跡 掘立柱建物跡 井戸跡 土坑 溝跡 円形周溝状遺構 ピット	2基 5軒 1棟 11基 23基 68条 1基 多数	土師器・須恵器 灰釉陶器・綠釉陶器 陶磁器・古銭 鉄製品・木製品 石製品・土製品	前方後方型周溝墓 子持勾玉	
下田町遺跡 第5次調査	集落跡	古墳時代前期 ～ 中世	方形周溝墓 竪穴住居跡 掘立柱建物跡 井戸跡 土坑 溝跡 竪穴状不明遺構 道路状遺構 焼土跡 ピット	6基 93軒 2棟 25基 117基 91条 2基 1条 1基 多数	土師器・須恵器 灰釉陶器・綠釉陶器 陶磁器・古銭 鉄製品・木製品 石製品・土製品	マウンドが残存した方形周溝墓	

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第320集

熊谷市

下田町遺跡IV

大里地区高規格堤防整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告

—IV—

(第1分冊)

平成18年3月15日 印刷

平成18年3月24日 発行

発行／財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台4-4-1

電話 0493(39)3955

印刷／株式会社太陽美術